

グループホームソレイユB新築工事

No.	図 種	No.	図 種	No.	図 種	No.	図 種
A-1	特記仕様書(1)	A-26	1階床伏図	E-1	電気設備特記仕様書	M-1	機械設備特記仕様書
A-2	特記仕様書(2)	A-27	1.2階天井伏図	E-2	盤結線図	M-2	給排水設備屋外配管図
A-3	特記仕様書(3)	A-28	1.2階建具記号図、LVSチェック	E-3	コンセント設備 1階平面図	M-3	衛生設備 凡例、器具表、機器表
A-4	特記仕様書(4)	A-29	アルミ製建具表	E-4	コンセント設備 2階平面図	M-4	給排水衛生設備 1階平面図
A-5	配置図	A-30	木質建具表	E-5	照明器具姿図	M-5	給排水衛生設備 2階平面図
A-6	敷地求積図、付近見取り図	A-31	地盤改良特記仕様書	E-6	電灯設備 1階平面図	M-6	浄化槽設備図
A-7	面積表(建築基準法)	A-32	地盤改良伏図	E-7	電灯設備 2階平面図	M-7	消火設備 1階平面図
A-8	部屋別面積表	A-33	基礎伏図、基礎詳細図	E-8	防災照明設備 1階平面図	M-8	消火設備 2階平面図
A-9	特記事項、内外部仕上表	A-34	2階梁伏図	E-9	防災照明設備 2階平面図	M-9	換気空調設備 機器表
A-10	1階平面図	A-35	小屋伏図	E-10	弱電設備機器姿図	M-10	換気設備 1階平面図
A-11	2階平面図	A-36	軸組伏図	E-11	弱電設備 1階平面図	M-11	換気設備 2階平面図
A-12	立面図-1	A-37	外構工事詳細図-1	E-12	弱電設備 2階平面図	M-12	空気調和設備設備 1階平面図
A-13	立面図-2	A-38	外構工事詳細図-2	E-13	自動火災報知設備 1階平面図	M-13	空気調和設備設備 2階平面図
A-14	断面図	A-39	その他の工事	E-14	自動火災報知設備 2階平面図		
A-15	1階平面詳細図-1	A-40	構造設計条件及び躯体工事特記仕様				
A-16	1階平面詳細図-2	A-41	木造軸組接合部標準図(1)				
A-17	2階平面詳細図	A-42	木造軸組接合部標準図(2)				
A-18	断面詳細図-1	A-43	木造軸組接合部標準図(3)(3A)				
A-19	断面詳細図-2	A-44	木造軸組接合部標準図(3B)				
A-20	1階展開図-1	A-45	木造軸組接合部標準図(4)				
A-21	1階展開図-2	A-46	仮設計画図(外部足場)				
A-22	1階展開図-3						
A-23	1階展開図-4						
A-24	2階展開図-1						
A-25	2階展開図-2						

グループホームレイ B 新築工事 仕様書			⑥環境への配慮 (1.4.1)		建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。		⑦材料の品質等 (1.4.2)		1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル（タイル工用）、既調合目地材、ルーフトレイン、吸水調整材、防水剤、錠前類、クローザー類、自動ドア開閉装置、自閉式上吊り引戸装置（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、現場発泡断熱材（特定フロンによるものを除く）、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切（スライディングドア）、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、トップライト、鋳鉄製ふた 6) 建築材料等品質性能表に記載のある材料は、当該資料の品質、性能、試験方法による。		⑧技能士 (1.5.2)		技能士の適用 ・適用する ・適用しない 適用する技能士の種別 ※下記による 級別 ⑨1級 ⑩1級又は2級 <table><tr><th>工事別</th><th>適用種別</th><th>工事別</th><th>適用種別</th></tr><tr><td>仮設</td><td>・とび</td><td>防水</td><td>・防水施工</td></tr><tr><td>鉄筋</td><td>・鉄筋施工</td><td></td><td>・アスファルト防水</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td>・型枠施工 ・コンクリート圧送施工</td><td></td><td>・ウレタンゴム系塗膜防水 ・合成ゴム系シート防水 ・シーリング防水)の各工事作業</td></tr><tr><td>鉄骨</td><td>・鉄工</td><td>タイル</td><td>・タイル張り</td></tr><tr><td>ブロック ALCパネル</td><td>・ブロック建築 ・ALCパネル施工</td><td>塗装</td><td>・塗装(建築塗装作業)</td></tr><tr><td>石</td><td>・石材施工</td><td>内装</td><td>・内装仕上げ施工 (・プラスチック系床仕上げ ・カーペット系床仕上げ ・ボード仕上げ)の各仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業) ・畳製作</td></tr><tr><td>木</td><td>・建築大工</td><td></td><td>・造園</td></tr><tr><td>屋根及びとい</td><td>・建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工</td><td>植栽</td><td>・カーテンウォール施工</td></tr><tr><td>金属</td><td>・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・建築板金(内外装板金作業)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>左官</td><td>・左官</td><td></td><td></td></tr><tr><td>建具</td><td>・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工</td><td></td><td></td></tr></table>		工事別	適用種別	工事別	適用種別	仮設	・とび	防水	・防水施工	鉄筋	・鉄筋施工		・アスファルト防水	コンクリート	・型枠施工 ・コンクリート圧送施工		・ウレタンゴム系塗膜防水 ・合成ゴム系シート防水 ・シーリング防水)の各工事作業	鉄骨	・鉄工	タイル	・タイル張り	ブロック ALCパネル	・ブロック建築 ・ALCパネル施工	塗装	・塗装(建築塗装作業)	石	・石材施工	内装	・内装仕上げ施工 (・プラスチック系床仕上げ ・カーペット系床仕上げ ・ボード仕上げ)の各仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業) ・畳製作	木	・建築大工		・造園	屋根及びとい	・建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工	植栽	・カーテンウォール施工	金属	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・建築板金(内外装板金作業)			左官	・左官			建具	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工			⑨室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.5.9)		次の化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※スチレン ※エチルベンゼン ・パラジクロロベンゼン <table><tr><th>測定対象室</th><th>測定箇所数</th><th>測定対象室</th><th>測定箇所数</th></tr><tr><td>1階居室</td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>2階居室</td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> パッシブ型採取機器を用いて、次の要領で測定及び分析を行う。 (1) 30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む。)を開放し、30分換気する。 (2) 5時間閉鎖 (1)の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分は開放したままとする。 (3) 測定 イ (2)の状態のままで測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。 なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 (4) 分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、測定を分析する。(なお、上記によりがたい場合等は、監督職員に協議する)		測定対象室	測定箇所数	測定対象室	測定箇所数	1階居室	1			2階居室	1						
工事別	適用種別	工事別	適用種別																																																																															
仮設	・とび	防水	・防水施工																																																																															
鉄筋	・鉄筋施工		・アスファルト防水																																																																															
コンクリート	・型枠施工 ・コンクリート圧送施工		・ウレタンゴム系塗膜防水 ・合成ゴム系シート防水 ・シーリング防水)の各工事作業																																																																															
鉄骨	・鉄工	タイル	・タイル張り																																																																															
ブロック ALCパネル	・ブロック建築 ・ALCパネル施工	塗装	・塗装(建築塗装作業)																																																																															
石	・石材施工	内装	・内装仕上げ施工 (・プラスチック系床仕上げ ・カーペット系床仕上げ ・ボード仕上げ)の各仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業) ・畳製作																																																																															
木	・建築大工		・造園																																																																															
屋根及びとい	・建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工	植栽	・カーテンウォール施工																																																																															
金属	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業) ・建築板金(内外装板金作業)																																																																																	
左官	・左官																																																																																	
建具	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工																																																																																	
測定対象室	測定箇所数	測定対象室	測定箇所数																																																																															
1階居室	1																																																																																	
2階居室	1																																																																																	
I 工 事 概 要 1. 工 事 場 所 香川県小豆郡土庄町洲崎甲518-12 2. 敷 地 面 積 1,033.98 m2 3. 工 事 内 容 グループホーム新築工事:木造2階建 延べ面積358.55m2(1階201.22m2 2階157.33m2) 建築面積206.36m2 構内舗装:コンクリート舗装、一部砕石敷均し 電気設備工事 機械設備工事			⑩完成写真		次のものを監督職員に提出する <table><tr><th>分類・規格</th><th>撮影箇所数</th><th>提出部数</th></tr><tr><td>カラー ※キャビネ版 ・サービス版</td><td>外観 2 箇所 内観 4 箇所</td><td>2 部 2 部</td></tr><tr><td>カラー ※A2版(アルミ額縁パネル ・有 ※無)</td><td>箇所</td><td>部</td></tr></table> すべての撮影箇所を電子データ(CD-R)で提出する。 画像形式等 フォーマット:JPEG 画質:標準 画像サイズ:1024×768ピクセル以上 完成写真等の撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者 ・その他		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	カラー ※キャビネ版 ・サービス版	外観 2 箇所 内観 4 箇所	2 部 2 部	カラー ※A2版(アルミ額縁パネル ・有 ※無)	箇所	部																																																																			
分類・規格	撮影箇所数	提出部数																																																																																
カラー ※キャビネ版 ・サービス版	外観 2 箇所 内観 4 箇所	2 部 2 部																																																																																
カラー ※A2版(アルミ額縁パネル ・有 ※無)	箇所	部																																																																																
II 建築工事仕様 1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）により、標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」及び同解説 令和2年版」（以下、「解体共通仕様書」という）による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 受注者は、特定行政庁（建築主事等）が求める完了検査（中間検査を含む）時に必要な資料等（報告書等）を用意すること。 2. 特記仕様 (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。 (2) 特記事項は◎印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 ◎印と◎印のついた場合は共に適用する。 (3) 項目、特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) ☐印は「国等による環境物品等の調達に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断基準）を満たすものを示す。 (5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令（条例を含む）の改正等により、関係法令（条例を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。 (6) 材料及び製造所の記載は順不同である。 (7) その他共通的な事項は、別冊特記仕様（共通編）による。			⑪完成時の提出図書 (1.7.1～3) (表1.7.1)		※完成図（作成方法 ※CAD (CD-R共提出) ・) ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・ 部）																																																																													
			⑫著作権の譲渡		受注者は、完成写真、工事写真、完成図、竣工図、施工図及び施工計画書に関する一切の著作権（著作権法に規定する著作権者の権利。第27条及び第28条に規定する権利を含む）を発注者に譲渡し、著作権者人格権についてはこれを行使しない。																																																																													
			⑬設備工事との取り扱い		施工区分（ ※図示による ・工事区分表による ） 施工図 設備機器の位置、取り扱い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																																																																													
			14 統括安全衛生責任者の指名		労働安全衛生法第30条に基づき県から特定元方事業者として指名された場合は、必要に応じて労働安全衛生法第15条に基づき統括安全衛生責任者を指名すること。																																																																													
			15 創意工夫・地域社会への貢献の提案		対象：工事成績評定を行う工事 受注者は、創意工夫・地域社会への貢献の提案を自ら立案し実施することができる。 ※工事成績評定の対象となる条件 1) 提案は原則として実施前に行い、所定の様式により工事監督員の承認を得ること。 2) 工事完成の10日前までに所定の様式により履行報告を行うこと。																																																																													
			16 週休2日制モデル工事		香川県週休2日制モデル工事実施要領（営繕編）に基づき実施するものとし、取組の結果は、経費の補正及び工事成績評定の対象となる。 ※発注者がモデル工事として指定する工事（要領第2条第1項第1号） ・受注者がモデル工事としたい旨を申し出ることのできる工事（同項第2号）																																																																													
			17 耐荷重及び耐外力		建築基準法に基づき定められた区分等 ※基準風速 V0 = (※34 ・)m/s ※地表面粗度区分 ・11 ⑩11																																																																													
			⑱電子納品等		・電子納品の実施（香川県電子納品ガイドライン（建築編）による。） ○電子データの提出（工事関係書類のうち、電子データの提出を要するものについては着手時協議シートによる。） 情報共有システムの利用（ ・適用する ※適用しない）																																																																													
1 各章共通事項			2 仮設工事		①手すり先行足場 (2.2.4) ②監督職員事務所 (2.3.1)		※適用する ・適用しない 手すり先行工法の種類（「手すり先行工法等に関するガイドライン」による。） ・(1)手すり先送り方式 ※(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式 ※設ける ・設けけない 監督職員事務所の規模(単位：㎡) <table><tr><th>種別</th><th>・1号</th><th>・2号</th><th>・3号</th><th>・4号</th><th>・5号</th></tr><tr><td>面積</td><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></table> 監督職員事務所の仕上げ標準 <table><tr><td>部位等</td><td>仕上げ</td></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁、天井</td><td>合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr><tr><td>休憩室</td><td>畳敷き</td></tr></table> ※備品等は監督職員の指示を受けて設置すること 構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない 構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない		種別	・1号	・2号	・3号	・4号	・5号	面積	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部位等	仕上げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り	屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	休憩室	畳敷き																																																				
種別	・1号	・2号	・3号	・4号	・5号																																																																													
面積	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																																													
部位等	仕上げ																																																																																	
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																																																	
内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り																																																																																	
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																																	
休憩室	畳敷き																																																																																	
記 事			年 度 6		部長 次長 室長		年 月 R6.12		図面番号 A - 1 /																																																																									
木下建築設計事務所 香川県小豆郡土庄町洲崎甲2563-5 1級建築士(大臣)登録第135647号 木下博義			工事名称 グループホームレイ B 新築工事 図面名称 特記仕様書(1) 縮尺																																																																															

3 土工事	① 埋戻し及び盛土 (3.2.3)	種別　・A種　※B種　・C種　・D種　(表3.2.1)	6 コン クリ ート 工 事	① コンクリートの種類等 (6.2.1)	コンクリートの類別 ※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類 (上記以外のJIS A 5308に適合したコンクリート)	4 アンカーボルトの材質 及び設置 (7.2.4) (7.10.3)	種類　構造用アンカーボルト　※ABR400　・ABR490　・図示による () 建方用 (及び付属鉄骨) アンカーボルト　※SS400　・図示による () 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法　※図示による 建方用保持及び埋込み方法　・A種　※B種　(表7.10.1)						
	② 建設発生土の処理 (3.2.5)	建設発生土については、以下の場所に指定処分するものとし、処分条件を変更する場合は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。 受入場所： 運搬距離： km 処分方法：　※構外指定の場所に処分　○構内指定の場所に敷き均し ○構内指定の場所に堆積 実施条件： また、処分条件を変更する場合は、次の区域において処分してはならない。 1) 災害の防止を図るために法律により規制された区域 2) 良好な自然環境の保全を図るために法律により規制された区域 3) 災害を誘発する恐れのある区域 4) その他捨土によって第三者と紛争の生ずる恐れのある区域 建設発生土を利用する場合 (工事間流用する場合) は下記による。 ・盛土材料については、以下の工事からの建設発生土を利用するものとする。なお、搬出側との協議等で使用が困難な場合は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。 搬出工事： 運搬距離： km 実施条件： 使用工種：		② コンクリートの強度 (6.2.2)	普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度 (F _c) ◎ 21 N/mm ² フェンス基礎、付属建物基礎 ※ 24 N/mm ² 基礎、土間 ・ 27 N/mm ² 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外すべて　・) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする。 ・高炉セメントB種 ◎　適用箇所 () ・フライアッシュセメントB種 ◎　適用箇所 () 種類 ・1種　・2種　(表6.10.1) 構造体強度補正值 (S) (単位: N/mm ²) S　3　6 標準適用期間　4月1日～12月4日　2月15日～3月31日　12月5日～2月14日 上記は標準的な地域における適用期間を示すものであり、適用に際しては現場条件等を勘案して監督職員と協議の上、現場の状況に応じた構造体強度補正值を適用すること。 目地寸法　※図示による　・標準仕様書 9.7.3による ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する。 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ※図示による　・20mm 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ※図示による　・10mm　・20mm ※合板 (厚さ12mm)　・合板 (厚さ15mm) ◎ 合板せき板を用いた打放し仕上げの種別 ※表6.2.4による (・A種　・B種　・C種)　適用箇所は図示による コンクリートの仕上りの平たんさ ※表6.2.5による (・a種　・b種　・c種)　適用箇所は図示による ・床型枠用鋼製デッキプレート () ・メッシュ型枠 () ・断熱材兼用型枠 25mm以下かつ熱抵抗値1m ² ・K/kcal 以上 ・MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート) ※コンクリートの圧縮強度試験に係る試験機関については、原則としてJIS A 5308レディミクストコンクリートの個別審査事項に規定された外部試験機関で行うものとする。 適用箇所　※外部土間コンクリート　※捨てコンクリート コンクリートの種類　※普通コンクリート レディミクストコンクリートの種類　※Ⅰ類　・Ⅱ類 配合　※18-15-20　・ ○行わない　・行う 実施要領 ・構造関係共通図 (構造関係共通事項) 3_コンクリートの単位水量測定による。		5 ターンバックル (7.2.6)	種類　建築用ターンバックル咽　※割持式　・ 建築用ターンバックルボルト　※羽子板ボルト　・					
4 地業工事	1 試験杭 (4.2.2)	仕様は、本杭と同じとする。	6 ひび割れ誘発目地、 打継目地 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)	⑦ 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)	打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ※図示による　・20mm 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ※図示による　・10mm　・20mm	7 柱底均しモルタルの厚み 及び工法 (7.2.9) (7.10.3)	モルタルの種類 ※無収縮モルタル 工法の種別　※A種　・						
	② 地盤改良地業	工法:スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法「セミバ」同等工法 杭先端深度:設計GL-6.1m 杭頭深度　外周:設計GL-0.85m 施工数量:N=81本 設計基準強度:700KN/m ² 長期地耐力度:30KN/m ²		⑧ 型枠のせき板 (6.2.5) (6.8.2)	※合板 (厚さ12mm)　・合板 (厚さ15mm) ◎ 合板せき板を用いた打放し仕上げの種別 ※表6.2.4による (・A種　・B種　・C種)　適用箇所は図示による コンクリートの仕上りの平たんさ ※表6.2.5による (・a種　・b種　・c種)　適用箇所は図示による ・床型枠用鋼製デッキプレート () ・メッシュ型枠 () ・断熱材兼用型枠 25mm以下かつ熱抵抗値1m ² ・K/kcal 以上 ・MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート) ※コンクリートの圧縮強度試験に係る試験機関については、原則としてJIS A 5308レディミクストコンクリートの個別審査事項に規定された外部試験機関で行うものとする。 適用箇所　※外部土間コンクリート　※捨てコンクリート コンクリートの種類　※普通コンクリート レディミクストコンクリートの種類　※Ⅰ類　・Ⅱ類 配合　※18-15-20　・ ○行わない　・行う 実施要領 ・構造関係共通図 (構造関係共通事項) 3_コンクリートの単位水量測定による。		8 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状　・図示による ()　・ エンドタブを切断する箇所及び切断範囲　図示による ()　・ 切断面の仕上げ　※標準仕様書7.6.7による　・ スカラップの形状　・図示による ()　・					
5 鉄筋工事	③ 砂利地業 (4.6.2)	材料　※再生クラッシャーラン ◎ ・切込砂利及び切込砕石	10 無筋コンクリート (6.14.1～3)	⑨ コンクリートの強度試験 (6.9.3)	※コンクリートの圧縮強度試験に係る試験機関については、原則としてJIS A 5308レディミクストコンクリートの個別審査事項に規定された外部試験機関で行うものとする。 適用箇所　※外部土間コンクリート　※捨てコンクリート コンクリートの種類　※普通コンクリート レディミクストコンクリートの種類　※Ⅰ類　・Ⅱ類 配合　※18-15-20　・ ○行わない　・行う 実施要領 ・構造関係共通図 (構造関係共通事項) 3_コンクリートの単位水量測定による。	9 溶接部の試験 (7.6.12)	外観試験 平成12建第1464号第二号に関する試験 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による。 ※抜き取り検査②　・抜き取り検査① JASS6附則6[鉄骨精度検査基準]付表3「溶接」に関する試験 JASS6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 溶接部の外観検査の採取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。 不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 外観試験以外の試験 ※行う (※超音波探傷試験　・浸透探傷試験　・磁粉探傷試験　・) 完全溶込み部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 AQL (%)　※4.0　・2.5 節　※全て　・ 検査水準　※第6水準　・ ・工事現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による ()　・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2による　・ ・図示による ()　・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種別　・ 性　能　材　料　適用部位 A種　最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 B種　最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板 C種　普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板 素地ごしらは、JIS H 8641による						
	④ 床下防湿層 (4.6.2)	材料　※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・		⑩ コンクリートの単位水量測定 (6.5.1)	○行わない　・行う 実施要領 ・構造関係共通図 (構造関係共通事項) 3_コンクリートの単位水量測定による。		12 溶融亜鉛めっき (7.2.2) (7.12.4)	高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛メッキ高力ボルト　・ 摩擦面の処理方法等 溶融亜鉛メッキ面以外　※標準仕様書7.4.2による　・ 溶融亜鉛メッキ面 ・プラスト処理 (表面粗度50μm Rz 以上) ・プラスト処理以外の特別な処理工法　・図示による ()　・ すべり試験 ・行わない ・行う　試験方法等　※すべり係数試験　・すべり耐力試験　・図示による ()					
記 事	・		7 鉄骨 工 事	1 鉄骨製作工場 (7.1.3)	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※ [] グレード以上　・グレードの指定なし ○監督職員の承諾する工場	部長	次長	室長	室 長 係	年 月	R6.12	図面 番号	A - 2 /
	・			2 鉄骨製作工場における 施工管理技術者 (7.1.3～4) (7.12.2)	※配置する　○配置しない								
	・			3 高　力　ボ　ル　ト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.1～7.4.9) (7.12.5)	高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛メッキ高力ボルト　・ 摩擦面の処理方法等 溶融亜鉛メッキ面以外　※標準仕様書7.4.2による　・ 溶融亜鉛メッキ面 ・プラスト処理 (表面粗度50μm Rz 以上) ・プラスト処理以外の特別な処理工法　・図示による ()　・ すべり試験 ・行わない ・行う　試験方法等　※すべり係数試験　・すべり耐力試験　・図示による ()								
	・												
	・												
	・												
木下建築設計事務所 香川県小豆郡土庄町洲崎甲2563-5 1級建築士 (大臣) 登録第135647号　木下博義			年度	工事 名称	グループホームR10 B 新築工事								
			6	図面 名称	特記仕様書 (2)	縮 尺							

9

防水工事

①

FRP系塗膜防水
公共建築木造工事標準仕様書

11.2.2 材料

防水用ポリエステル樹脂は、日本建築学会材料規格 JASS 8 M-101（防水用ポリエステル樹脂）に適合するものとする。
防水用ガラスマットは、日本建築学会材料規格 JASS 8 M-102（防水用ガラスマット）に適合するものとする。
プライマー、絶縁用ブチルゴムテープ、パテ材、硬化剤、トナー、歩行用仕上げ塗料、FRP系塗膜防水用ルーフトレン等は、製造所の指定する製品とする。
FRP系塗膜防水の取合い部に施工するシーリングは、変成シリコン系とする。
オーバーフロー管はつば付とし、製造所の指定する製品とする。

11.2.3 防水層の工程

表11.2.1 FRP系塗膜防水の工程

部 位	平 場		立 上 り	
工 程	材料・工程	使用量 (Kg/m2)	材料・工程	使用量 (Kg/m2)
1	プライマー塗り	0.2	プライマー塗り	0.2
2	防水用ポリエステル樹脂塗り	0.4	防水用ポリエステル樹脂塗り	0.2
	防水用ガラスマット#380張り付け	1.4	防水用ガラスマット#380張り付け	1.2
	防水用ポリエステル樹脂塗布含浸		防水用ポリエステル樹脂塗布含浸	
	防水用ガラスマット#380張り付け	1.4	防水用ガラスマット#380張り付け	1.2
3	防水用ポリエステル樹脂塗布り(トナー入り)	0.4	防水用ポリエステル樹脂塗布り(トナー入り)	0.2
4	歩行用仕上塗料	0.4	歩行用仕上塗料	0.4

注4 歩行用仕上塗料は、不飽和ポリエステル樹脂を主成分とした仕上塗料とする。

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による (表 9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外壁窓枠系サッシ等	変性シリコン（サッシ等への推奨する色）
他部材取合い部分	変性シリコン

仕上げを行わない施工箇所 ※図示
接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験（部位） ・行わない

⑥

シーリング
(9.7.2、3、5)

12

木工事

①

公共建築工事木造工事
共通仕様書

①

木材 (12.2.1)

②

造作用集成材 (12.2.1)

3

造作用単板積層材 (12.2.1)

④

合板等 (12.2.1)

4章 木造工事

5章 軸組構法

10章 木工事

材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
間伐材等 ・使用する (使用箇所)
木材の含水率 ※A種 ・B種
造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種

・集成材の日本農林規格による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
階段	階段部材	材	36*240		※1等 ・2等	・
玄関	玄関框	材	100*100			・

・集成材の日本農林規格による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※1等 ・2等	・
							・

・単板積層材の日本農林規格による造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質 (表面の化粧加工)	防虫処理	間伐材等の適用
			・有り (・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・無し(等級:・1等 ・2等 ・3等)	・する ・しない	・

・合板の日本農林規格による普通合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理	間伐材等の適用
		※5.5	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等・1等 針葉樹 ※C-D・		・する ○しない	・

・合板の日本農林規格による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
屋根下地	野地板	※12.0	・特類 ※1類	○級 ※2級	※C-D ・	針葉樹	・する ○しない	・適用する () ・適用しない	・
2階床	副床	※18.0							

13

屋根及び
とい工事

①

屋根スレート葺き葺

②

材料
(14.6.2)

③

とい
(13.5.2、3)

14

金属工事

⑤

アルミニウム製笠木
(14.7.2、3)

種類 ○ 200形 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 (表 14.2.1) (表 14.7.1)

表面処理 種別 () 種
色合い等 ※標準色 (・シルバー ・アンバー ・ブラック系 ・ステンカラー) ・特注色
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

15

左官工事

①

モルタル塗り
(15.3.2、5)

2

仕上塗材仕上げ
(15.6.2)

モルタル ・ 現場調査材料 ・ 既調合材料
既製目地材 ・ 設ける 施工箇所、形状 (※図示による)
・ 設けない
床の目地 ・ 設ける 工法 ※ 押し目地 ・
目地割 ※ 2m程度 (最大目地間隔3m程度) ・
・ 設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・ 適用する ・ 適用しない

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

仕上塗材の種類

種 類	呼 び 名	防火材料	仕上りの形状等
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 S i	・	・ 砂壁状
	・ 可とう形外装薄塗材 S i	・	・ ゆず肌状 (・ 吹付け ・ ローラー)
	・ 外装薄塗材 E	・	・ さざ波状
	・ 可とう形外装薄塗材 E	・	・ 平たん状
	・ 防水形外装薄塗材 E	・	・ 凹凸状 (・ 吹付け ・ こて塗り)
	・ 外装薄塗材 S	・	・ 着色骨材砂壁状
	・ 内装薄塗材 C	・	・ (・ 吹付け ・ こて塗り)
	・ 内装薄塗材 L	・	・ 砂壁状じゅらく
	・ 内装薄塗材 S i	・	・ 京壁状じゅらく
	・ 内装薄塗材 E	・	・ 吸放湿性・適用する ・ 適用しない
	・ 内装薄塗材 W	・	
	・ 厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材 C	・
・ 外装厚塗材 S i		・	・ 平たん状 ・ 凹凸状
・ 外装厚塗材 E		・	・ ひき起こし ・ かき落とし
・ 内装厚塗材 C		・	・ 吸放湿性・適用する ・ 適用しない
・ 内装厚塗材 L		・	・ 上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない
・ 内装厚塗材 G		・	
・ 内装厚塗材 S i		・	
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E	・	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様耐候性 ※耐候形 3 種
	・ 複層塗材 R E	・	・ 上塗材
	・ 複層塗材 S i	・	・ 溶媒 ※水系 ・ 弱溶剤系 ・ 溶剤系
	・ 複層塗材 E	・	・ 樹脂 ※アクリル系 ・ ポリウレタン系
	・ 可とう形複層塗材 C E	・	・ アクリル系系 ・ ふっ素系
・ 防水形複層塗材 C E	・	・	・ 外観 ※つやあり ・ つやなし
	・ 防水形複層塗材 R E	・	・
	・ 防水形複層塗材 E	・	・
・ 軽量骨材仕上塗料	・ 吹付け軽量塗材	・	
	・ こて塗用軽量塗材	・	

16

建具工事

①

見本の製作等
(16.1.4)

②

防犯建物部品
(16.1.6)

③

耐震性能

④

アルミニウム製建具
(16.2.2、4、5)

⑤

網戸等
(16.2.3)

8

鋼製軽量建具
(16.2.2) (16.5.2~4)

⑩

木製建具
(16.7.2~4)

⑪

建具用金物
(16.8.2)

⑫

鍵
(16.8.4)

⑬

ガラス
(9.7) (16.14.2~4)

建具見本の製作 ・ 行う (建具符号:) ※行わない
建具見本の程度 ・ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号:) ※行わない

※適用する (※ 建具表による) ・ 適用しない

※建築非構造部材耐震性能表による

性能値等 (表16.2.1、2)

外部に面する建具の種類 ・ A 種 (建具符号: ・ 建具表による ・)
・ B 種 (建具符号: ・ 建具表による ・)
・ C 種 (建具符号: ・ 建具表による ・)
・ D 種 (建具符号: ・ 建具表による ・)
・ E 種 (建具符号: ・ 建具表による ・)
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 (・ 建具表による ・)
断熱ドア、断熱サッシ ㊦ の断熱性の等級 (・ 建具表による ・)

表面処理

外部に面する建具
※BB-1種 (標準色 (シルバー))
・ BB-2種 (※標準色 (・アンバー ・ブラック系 ・ステンカラー) ・特注色)

屋内の建具
※BC-1種 (標準色 (シルバー))
・ BC-2種 (※標準色 (・アンバー ・ブラック系 ・ステンカラー) ・特注色)

種類	材質	線径	網目
・ 防虫網	・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ ステンレス (SUS316) 製	○ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm

鋼板の種類
・ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板
召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ ステンレス ・ アルミニウム

建具材の加工、組立時の含水率 ※ A 種 ・ B 種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による ・

マスターキー ○ 製作する ・ 製作しない
その他の鍵の制作本数等 ※ 各室3本1組 (室名札付き、鍵箱有り) ・

・ 合わせガラス
特性による種類 ・ I 類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類

・ 強化ガラス
特性による種類 ・ I 類 ・ III類

・ 熱線吸収板ガラス
性能による種類 ・ 1種 ・ 2種

○ 複層ガラス
断熱性能による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ○ T4 ・ T5 ・ T6
日射取得性日射遮へい性による区分 ・ G ○ S
乾燥気体の種類 ・ 空気 ○ アルゴン

・ 熱線反射ガラス
日射遮へい性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
耐久性 ・ A種 ・ B種

耐震性能 ※建築非構造部材耐震性能表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット ※ グレージングチャンネル	※ 建具製造所の仕様による ・ 図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材 ・	※ 建具製造所の仕様による ・ 図示 ・
ステンレス製	※ シーリング材 ・	※ 建具製造所の仕様による ・ 図示 ・
樹脂製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングビード	※ 建具製造所の仕様による ・ 図示 ・

記 事

・
・
・
・
・

木下建築設計事務所
香川県小豆郡土庄町測崎甲2563-5
1級建築士(大臣)登録第135647号 木下博義

年 度
6

工事
名称
グールホームリユ B 新築工事

図面
名称
特記仕様書 (3)

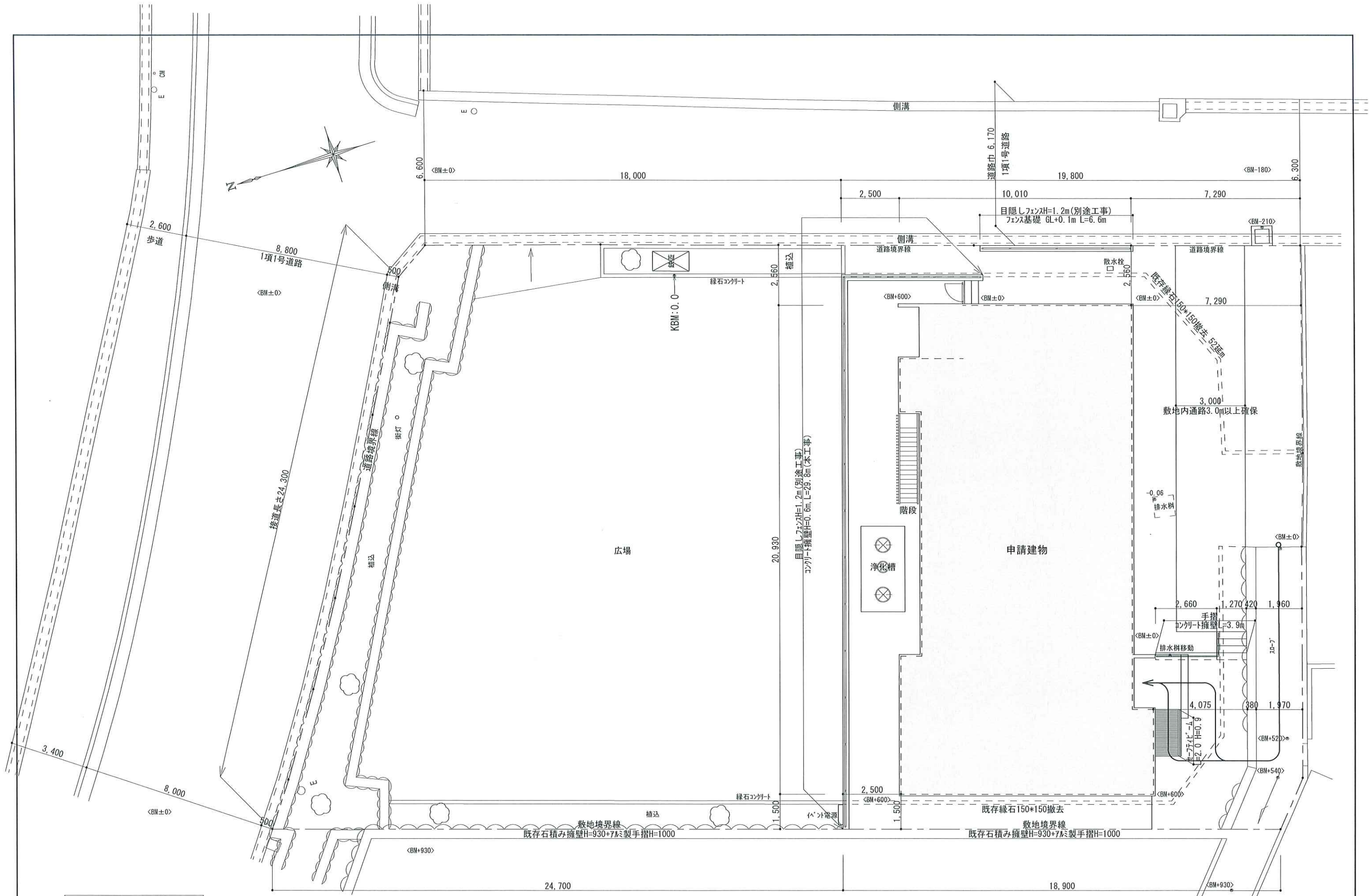
縮
尺

部長
次長
室長

常
務
係

年 月
R6.12

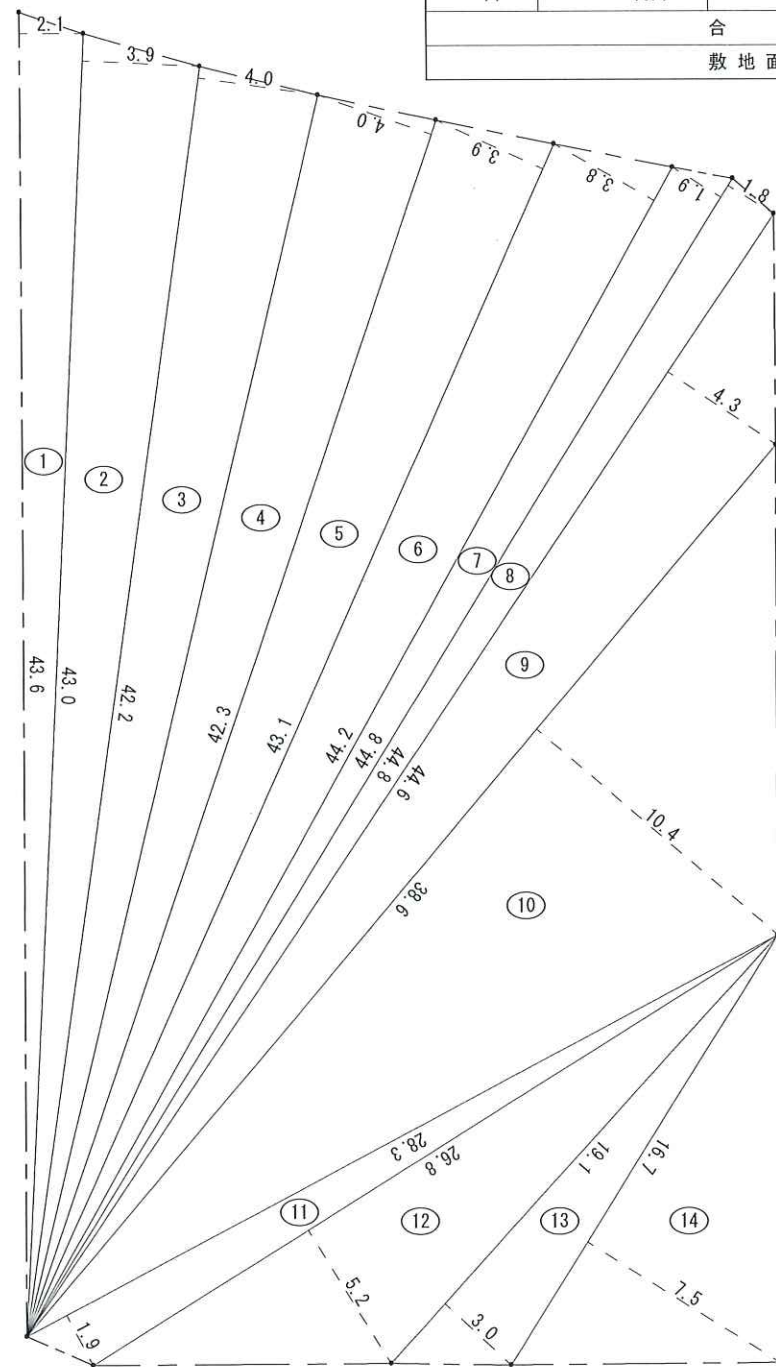
図面
番号
A - 3 /



				件名	ゲルブホーム ヴィー-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-M kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義			A-5
				図種	配置図						
				SCALE	1/150	年 度	R6				



敷地面積求積図 1/250

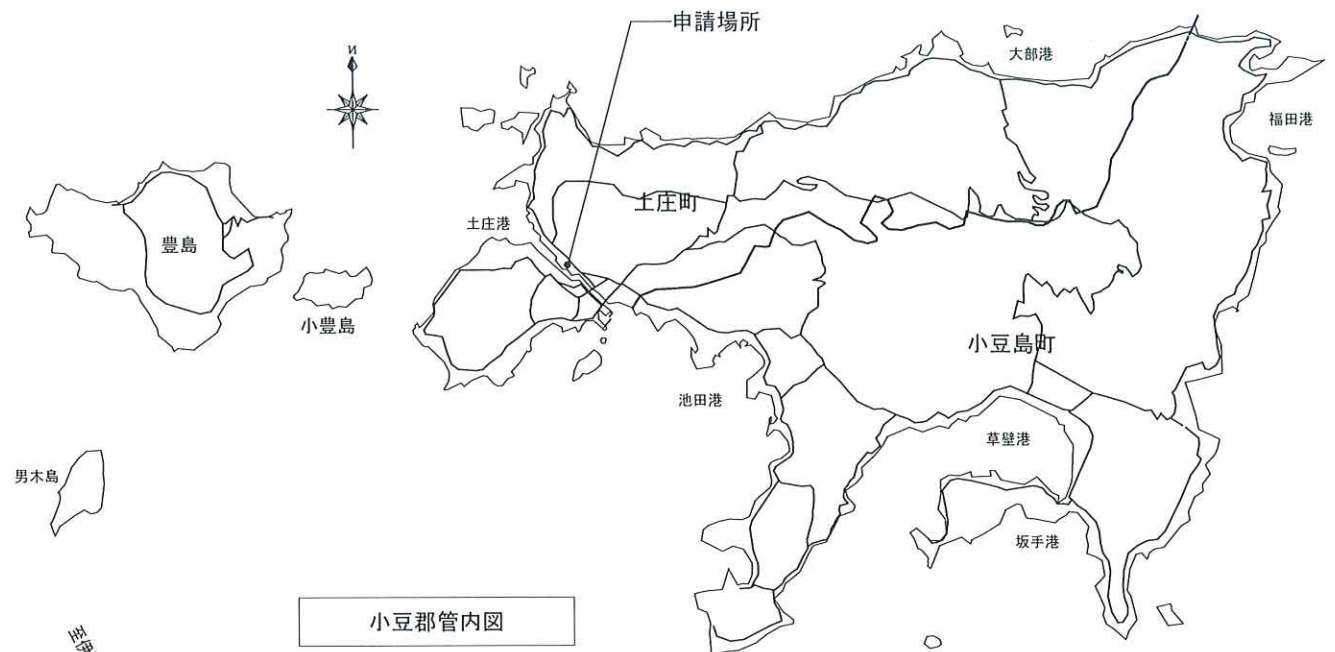
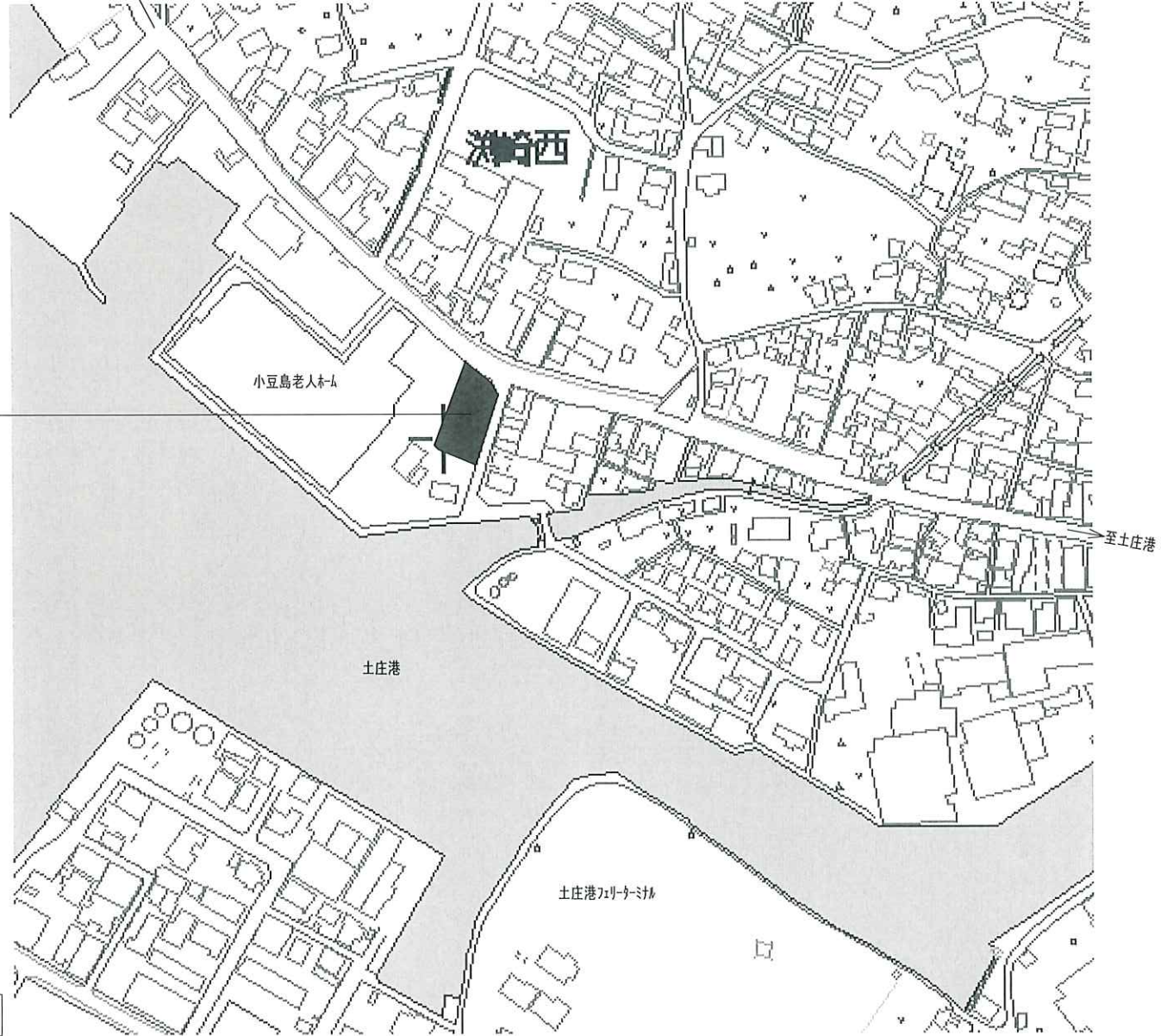


番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	43.6	2.1	91.56	45.780
2	43.0	3.9	167.70	83.850
3	42.2	4.0	168.80	84.400
4	42.3	4.0	169.20	84.600
5	43.1	3.9	168.09	84.045
6	44.2	3.8	167.96	83.980
7	44.8	1.9	85.12	42.560
8	44.8	1.8	80.64	40.320
9	44.6	4.3	191.78	95.890
10	38.6	10.4	401.44	200.720
11	28.3	1.9	53.77	26.885
12	26.8	5.2	139.36	69.680
13	19.1	3.0	57.30	28.650
14	16.7	7.5	125.25	62.625
合 計				1,033.985
敷地面積				1,033.98 m ²

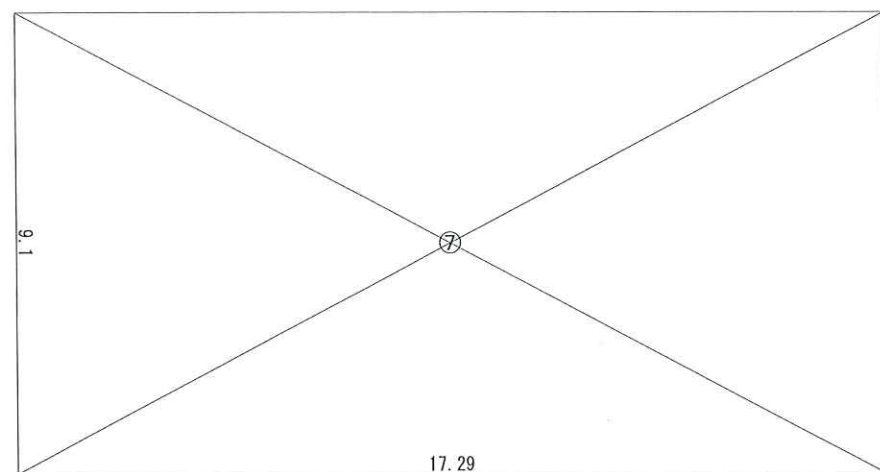


建設予定場所(小豆郡土庄町湊崎甲518-12)

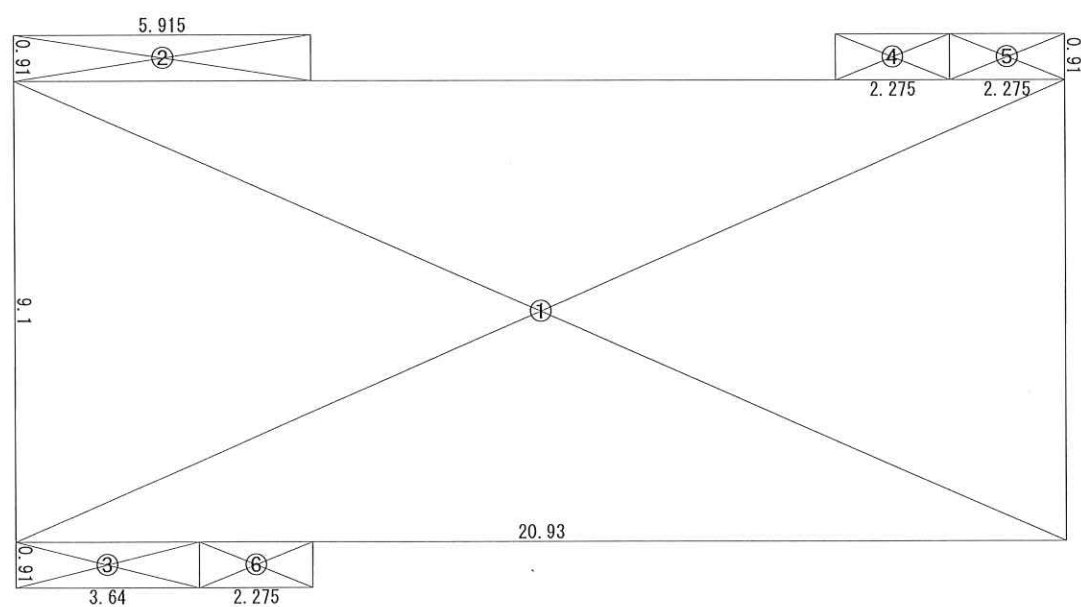
付近見取り図



小豆郡管内図

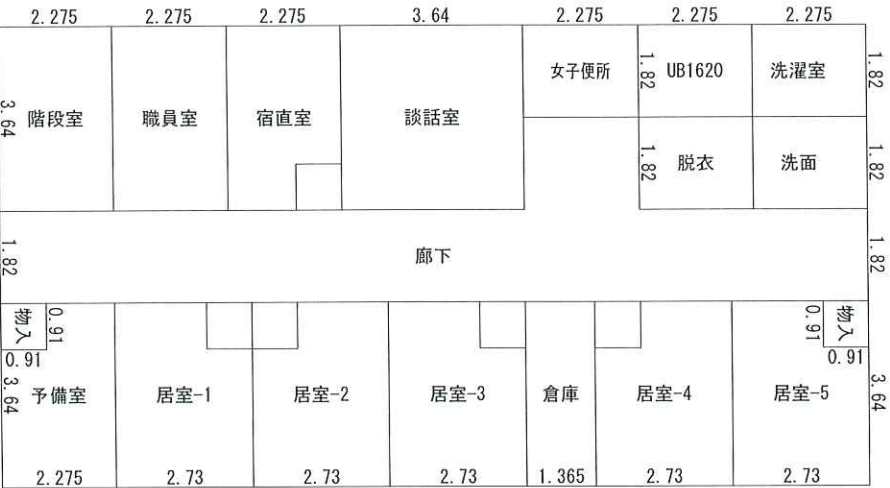


2階求積図 1/150

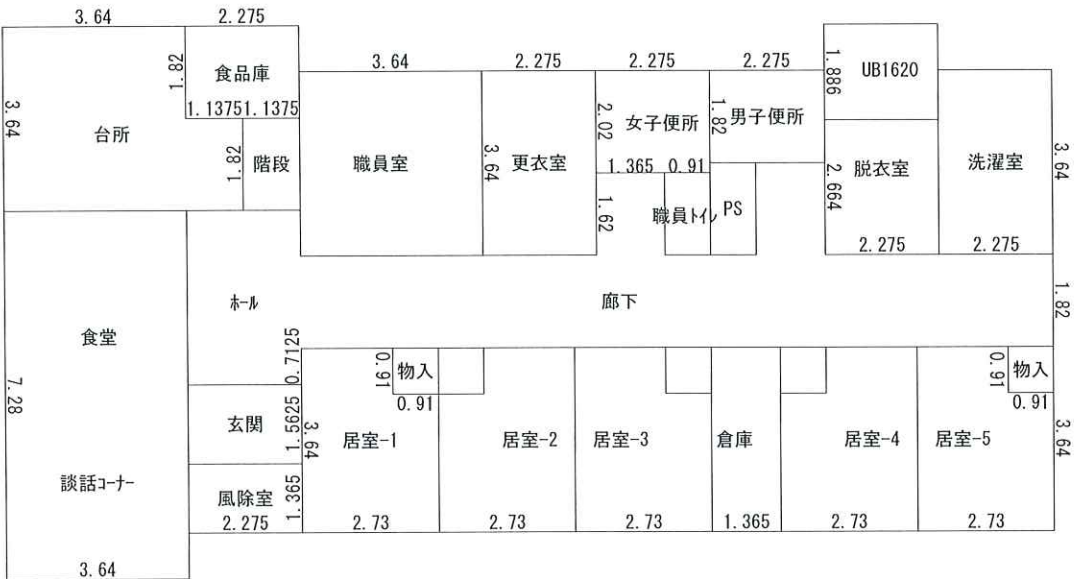


1階求積図 1/150

Vレユ-B求積表(建築基準法)			m2
番号	計算式		面積
①	20.93	9.1	190.463000
②	5.915	0.91	5.382650
③	3.64	0.91	3.312400
④	2.275	0.91	2.070250
⑤	2.275	0.91	2.070250
⑥	2.275	0.91	2.070250
⑦	17.29	9.1	157.339000
1階床面積	①～④		201.22
2階床面積	⑦		157.33
延べ面積			358.55
建築面積	①～⑥		205.36
敷地面積			1,033.98m2

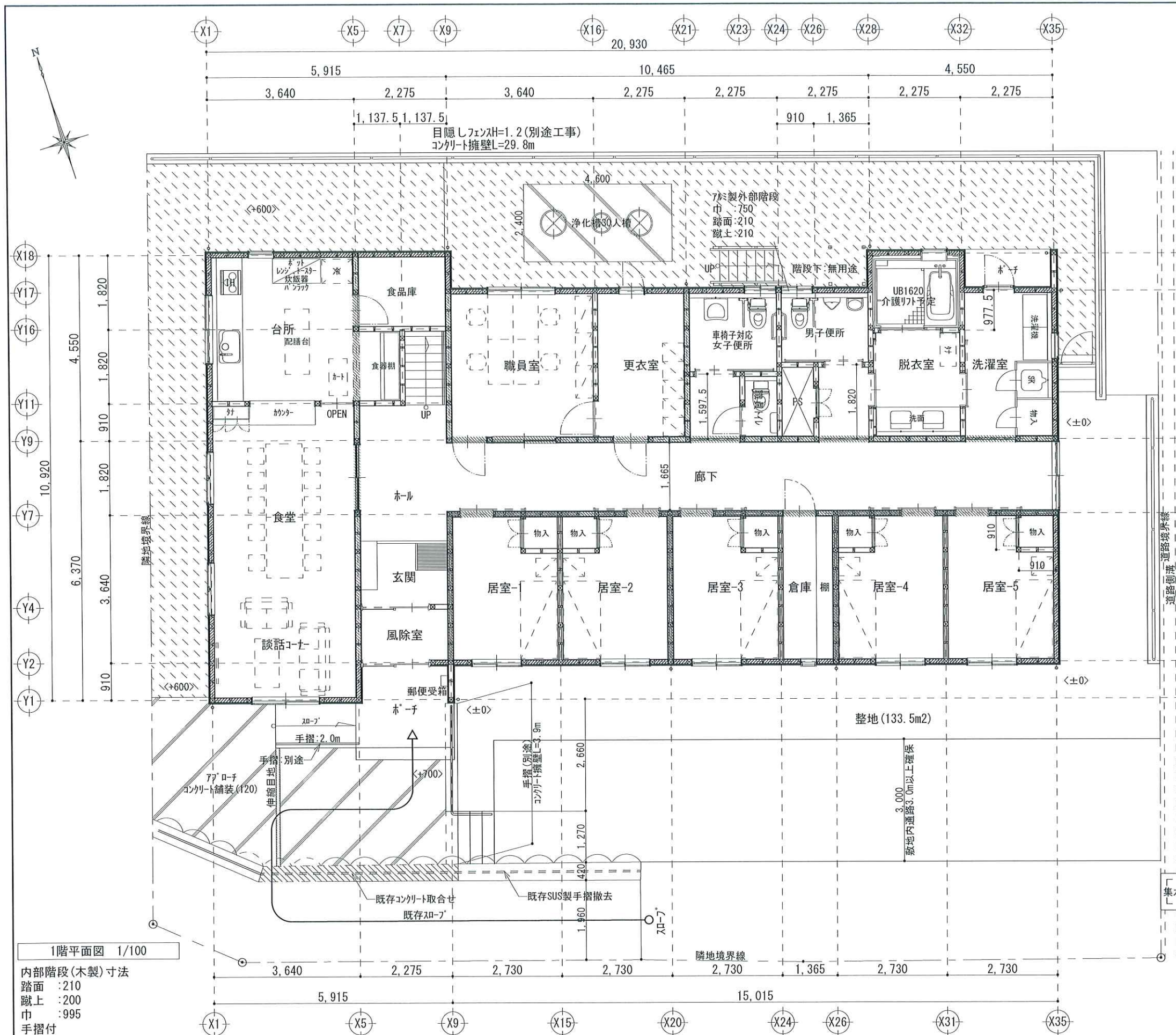


2階部屋別求積図 1/150



1階部屋別求積図 1/150

部屋別面積表					m2
階	室	計算式		面積	備考
1	食堂・談話コーナー	3. 64	7. 28	26. 49920	
	台所	3. 64	3. 64	13. 24960	
		1. 1375	1. 82	2. 07025	
	食品庫	2. 275	1. 82	4. 14050	
	職員室	3. 64	3. 64	13. 24960	
	更衣室	2. 275	3. 64	8. 28100	
	職員トイレ	0. 91	1. 62	1. 47420	
	女子便所	2. 275	2. 02	4. 59550	
	男子便所	2. 275	1. 82	4. 14050	
	脱衣室	2. 275	2. 664	6. 06060	
	U B	2. 275	1. 886	4. 29065	
	洗濯室	2. 275	3. 64	8. 28100	
	倉庫	1. 365	3. 64	4. 96860	
	居室-1	2. 73	3. 64	9. 93720	物入0. 83m2含む
	居室-2	2. 73	3. 64	9. 93720	物入0. 83m2含む
	居室-3	2. 73	3. 64	9. 93720	物入0. 83m2含む
	居室-4	2. 73	3. 64	9. 93720	物入0. 83m2含む
	居室-5	2. 73	3. 64	9. 93720	物入0. 83m2含む
	玄関廊下階段共用部分			50. 23280	
	1階合計			201. 22	
2	職員室	2. 275	3. 64	8. 281000	
	宿直室	2. 275	3. 64	8. 281000	
	談話室	3. 64	3. 64	13. 249600	
	女子便所	2. 275	1. 82	4. 140500	
	脱衣室	2. 275	1. 82	4. 140500	
	U B	2. 275	1. 82	4. 140500	
	洗面	2. 275	1. 82	4. 140500	
	洗濯室	2. 275	1. 82	4. 140500	
	倉庫	1. 365	3. 64	4. 968600	
	予備室	2. 275	3. 64	8. 281000	物入0. 83m2含む
	居室-1	2. 73	3. 64	9. 937200	物入0. 83m2含む
	居室-2	2. 73	3. 64	9. 937200	物入0. 83m2含む
	居室-3	2. 73	3. 64	9. 937200	物入0. 83m2含む
	居室-4	2. 73	3. 64	9. 937200	物入0. 83m2含む
	居室-5	2. 73	3. 64	9. 937200	物入0. 83m2含む
	廊下階段共用部分			43. 88	
	2階合計			157. 33	
	延べ面積	1階+2階		358. 55	



	仕様	面積
浄化槽頂版(本工事)	コンクリート(150)金銀+D13-@200打33+砂埋戻し(600)	11.0m ²
北側砂利敷(本工事)	不陸整正+砂利敷(再生材60)	74.5m ²
駐車場舗装(別途工事)	コンクリート(120)刷毛引溶接金網φ4-150砕石(100)	130.0m ²
玄関アプローチ床(本工事)	コンクリート(120)刷毛引溶接金網φ4-150砕石(100)	23.0m ²

コンクリート舗装勾配は現場指示による。

- 本工事**
- 砕石敷(60)
 - コンクリート舗装: Con120刷毛引+溶接金網+φ4-100*100 砕石地業(100)
 - 浄化槽床版: Con(200)+D13-@200打33+砕石地業(100) 金銀仕上(詳細は設備図参照)
 - 伸縮目地: 砕石充填W100



平均の地盤面			
	長さ	高さ	面積
南面	5.915	0	0.0000
	15.015	0.6	9.0090
東面	7.515	0.6	4.5090
	0.6	0.3	0.1800
	2.805	0	0.0000
北面	20.93	0	0.0000
西面	10.92	0	0.0000
合計	63.7000		13.6980
平均の地盤面	13.698/63.7	0.2150	設計GL-215 mm

1階平面図 1/100

内部階段(木製)寸法
路面 : 210
蹴上 : 200
巾 : 995
手摺付

- 外壁廻り断熱: グラスウール断熱材(100)16K
- 間仕切り遮音: グラスウール断熱材(50)24K
- 防火上主要な間仕切り: 木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張 天井裏又は小屋裏迄達せしめる 1枚目の両面石膏ボード(12.5)は、構造用面材(壁倍率0.9*両面1.8)とする。

件名	ゲルブホーム ヴィーユ-B 新築工事
図種	1階平面図
SCALE	年度 R6

木下建築設計事務所
小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626
Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義



2階平面図 1/100

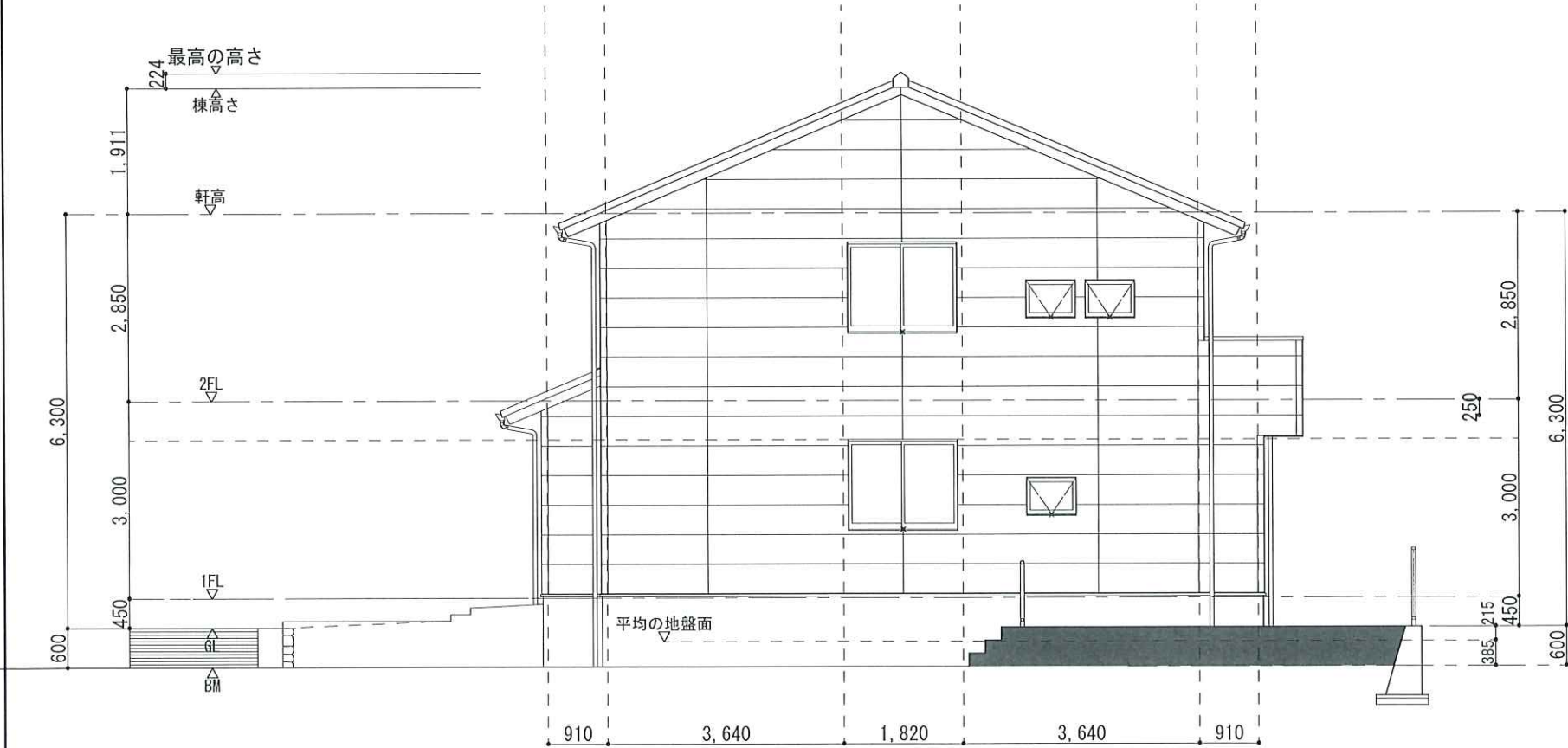
外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K	床遮音工事:遮音マット(6.0)		件名	ケルブホーム ヴィレ-B 新築工事
間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K			図種	2階平面図
防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張 天井裏又は小屋裏迄達せしめる 1枚目の両面石膏ボード(12.5)は、構造用面材(壁倍率0.9*両面1.8)とする。			SCALE	年度 R6

木下建築設計事務所
小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626
E: kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義

A-11

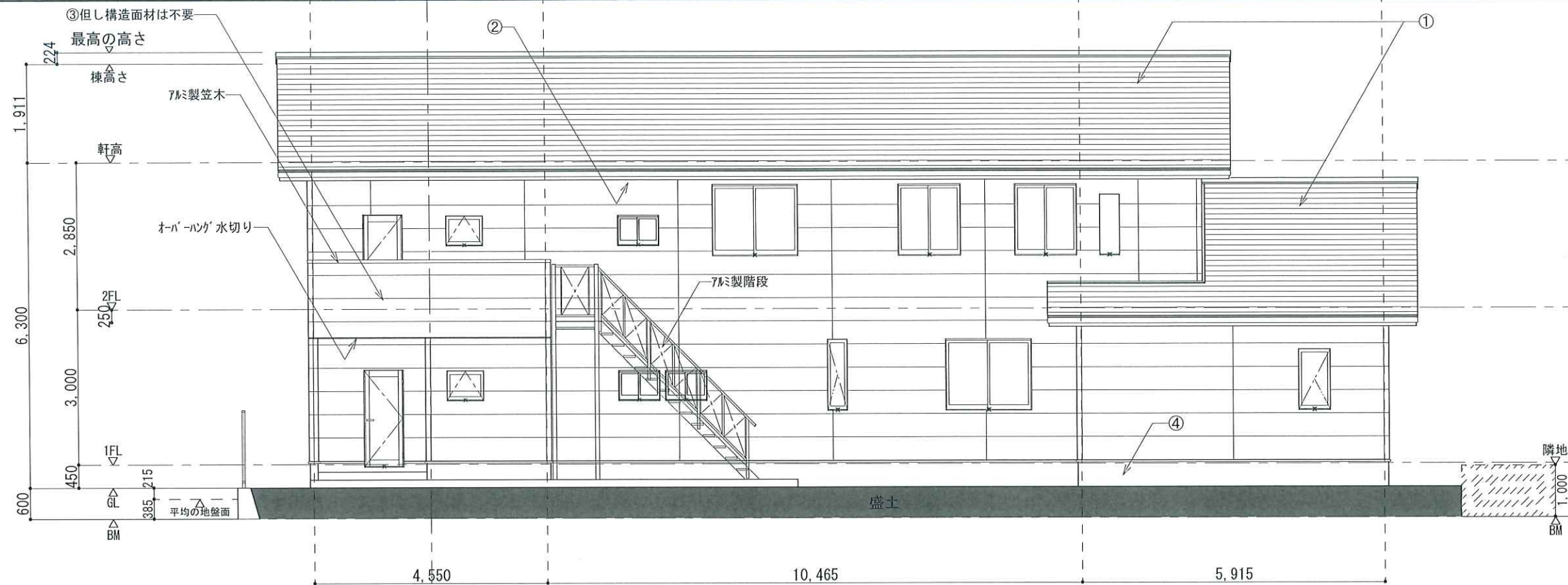


南立面図 1/100

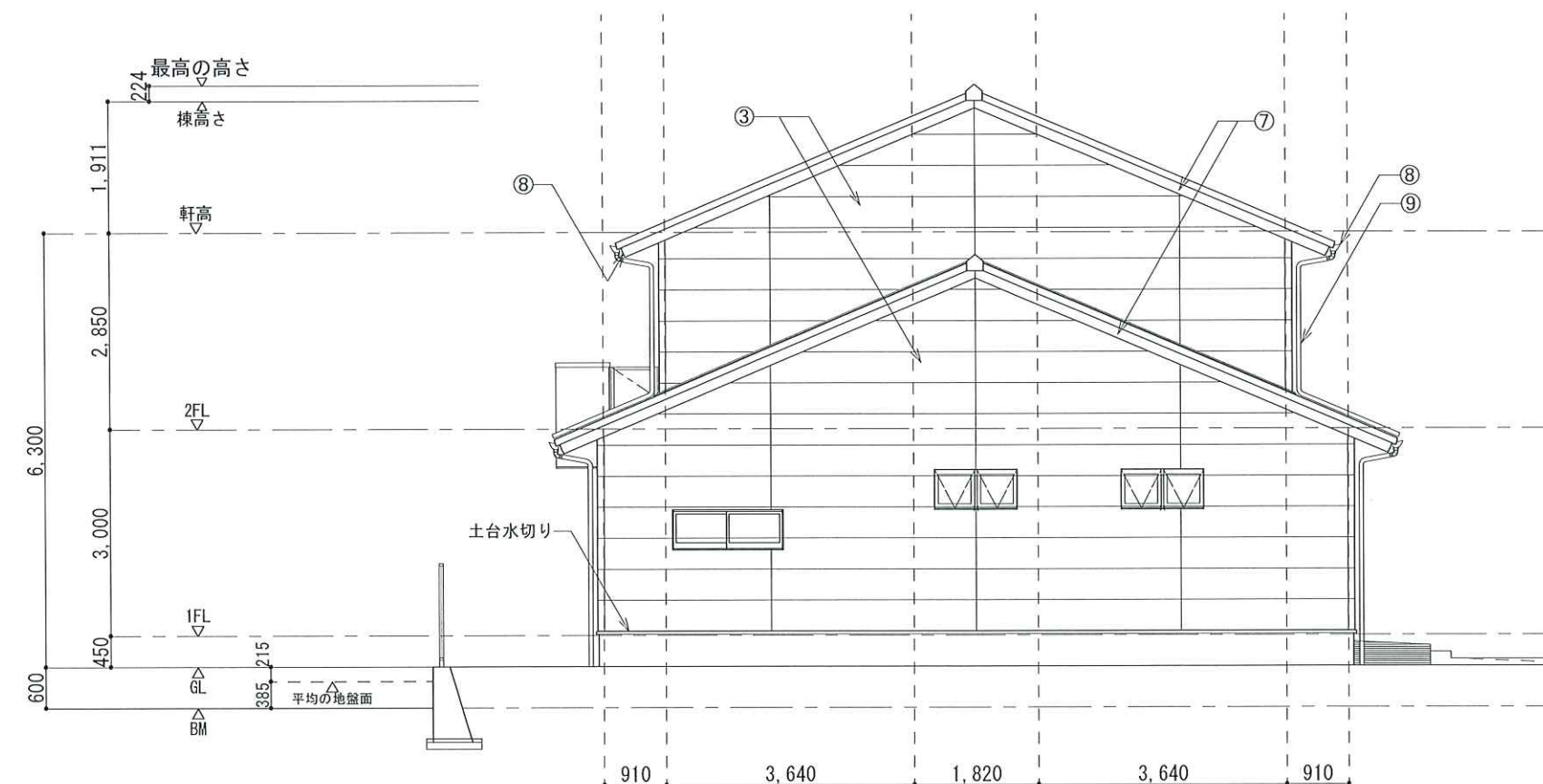


東立面図 1/100

外部仕上表		
①	屋根	構造用合板(12.0)+Asルーフing 940+セメント系平瓦(セラート・リム同等)換気棟
②	軒天	木製下地+サイカ板(6.0)+EP塗 通気見切(メーカー品)
③	外壁	構造用パネティックボード(耐力壁9.0)直張+透湿防水シート+窯業系サイディング(16.0金物張)
		同質コーナ、土台水切り、通気見切
④	基礎立上り	コンクリート打放し
⑤	ポーチ	100角磁器タイル貼 段鼻タイル使用
⑥	バルコニー	構造用合板(28.0)+勾配根太+構造用合板(12.0)+FRP防水(ガラスマット2層)勾配1/50
		木付用バルコニーレイン65φ、オーバードレーン40φ、7ミリ笠木W200
⑦	破風・鼻隠し	押出成型版塗装品H=240
⑧	軒樋	サフェス7FS-1型(ステンレス金物)同等
⑨	軒樋	カーVU65φ(ステンレス金物)



北立面図 1/100



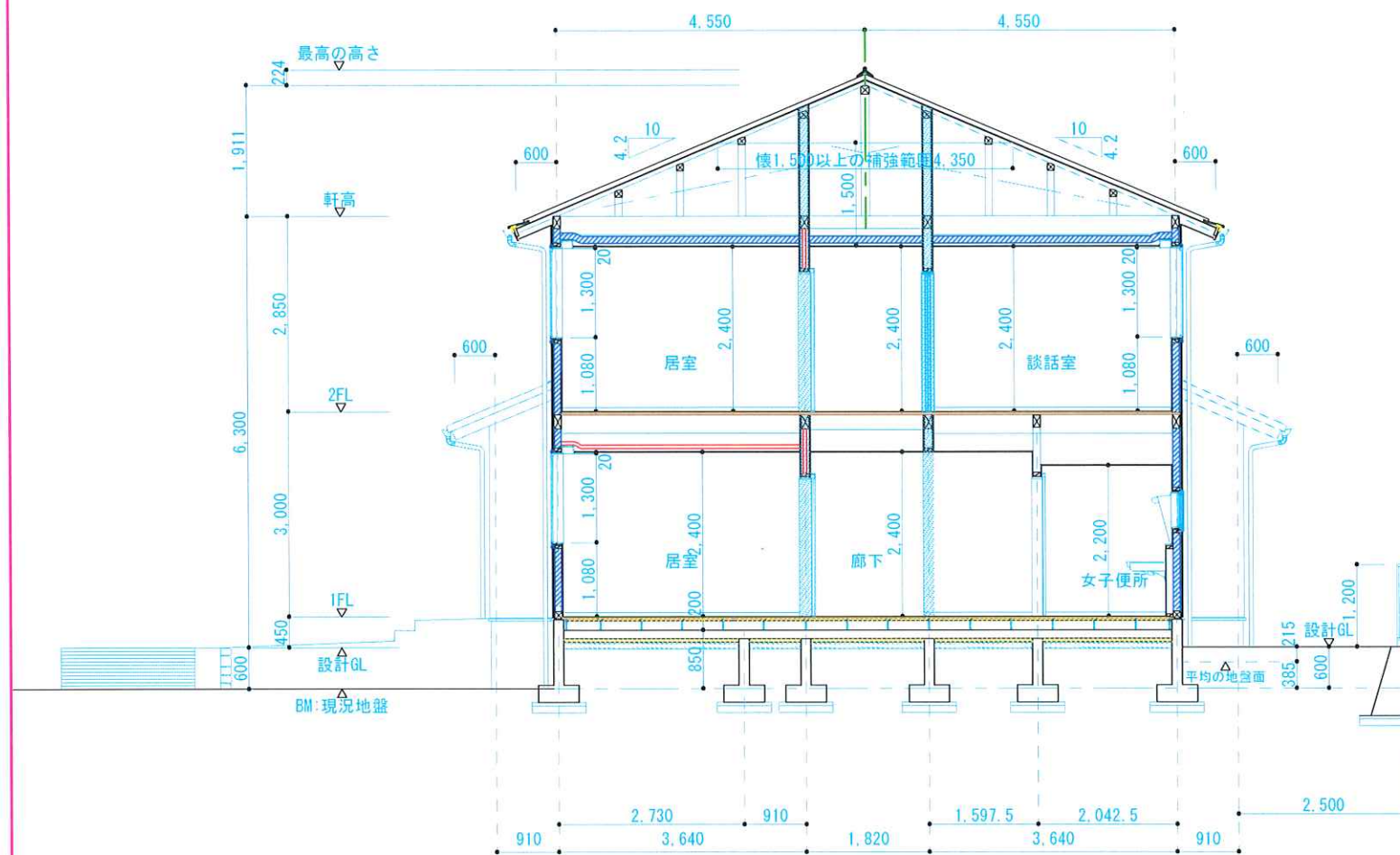
西立面図 1/100

外部仕上表

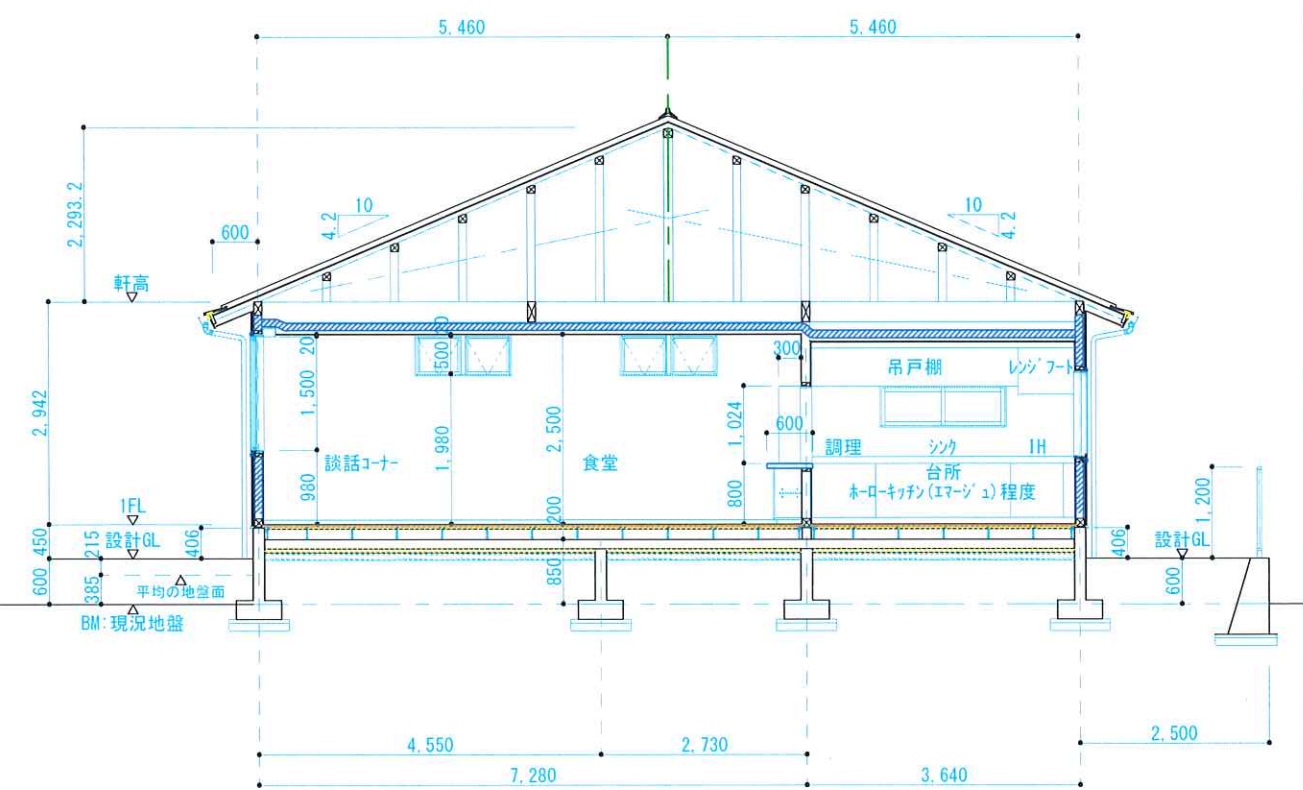
①	屋根	構造用合板(12.0)+Asルーフing 940+セメント系平瓦(セラルーフ・リム同等) 換気棟
②	軒 天	木製下地+ケイカル板(6.0)+EP塗 通気見切(メーカー品)
③	外 壁	構造用パネティックボード(耐力壁9.0)直張+透湿防水シート+窯業系サイディング(16.0金物張) 同質コーナ、土台水切り、通気見切
④	基礎立上り	コンクリート打放し
⑤	ボーチ	100角磁器タイル貼 段鼻タイル使用
⑥	バルコニー	構造用合板(28.0)+勾配根太+構造用合板(12.0)+FRP防水(ガラスマット2層) 勾配1/50 木付用パネティックボード65φ、オーバーフロー管40φ、7mm製笠木W200
⑦	破風・鼻隠し	押出成型版塗装品H=240
⑧	軒 樋	サファスカ7FS-1型(ステンレス金物)同等
⑨	軒 樋	カラーVU65φ(ステンレス金物)

件名	グループホーム ユニ-B 新築工事
図種	立面図-2
SCALE	1/100
年 度	R6

木下建築設計事務所
小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626
Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義



断面図-1 1/100

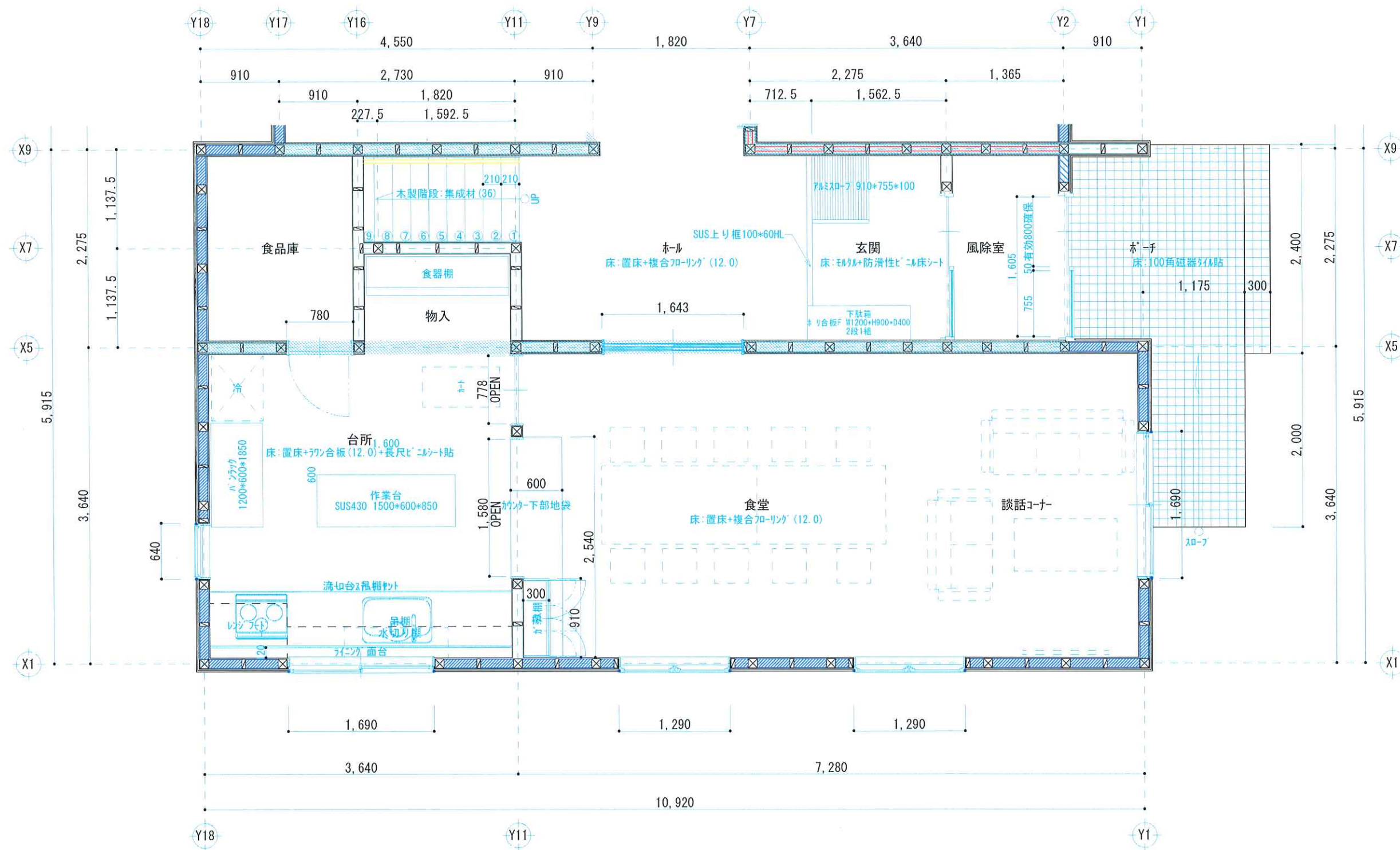
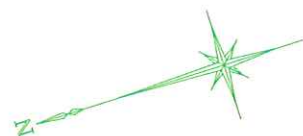


断面図-2 1/100

- 外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K
- 間仕切り壁遮音工事:グラスウール断熱材(50)24K
- 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張

件名	グレイブホーム ユニ-B 新築工事		
図種	断面図		
SCALE	年度	R6	

木下建築設計事務所
 小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626
 E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp
 1級建築士登録135647 木下博義

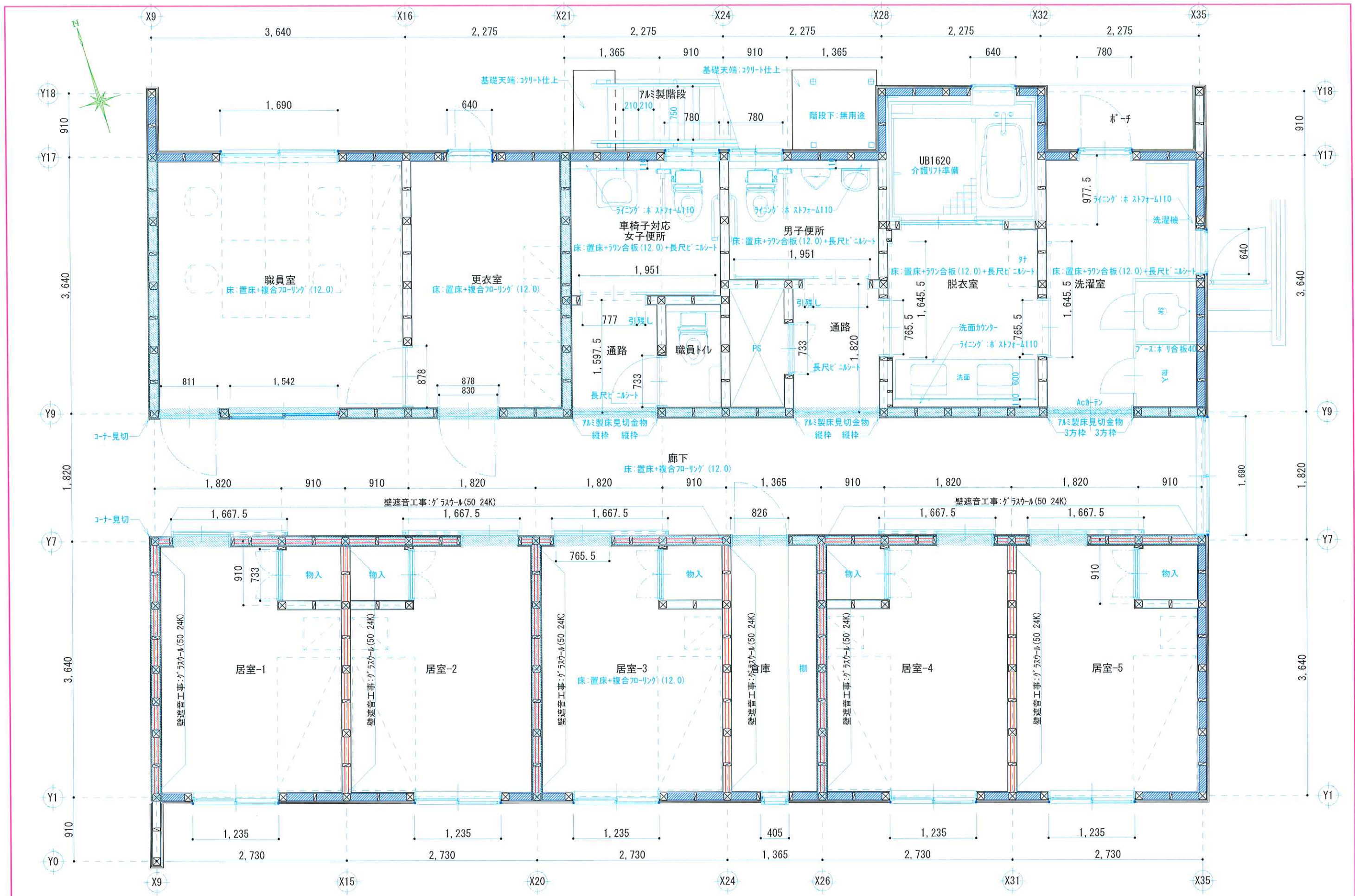


1階平面詳細図-1 1/50

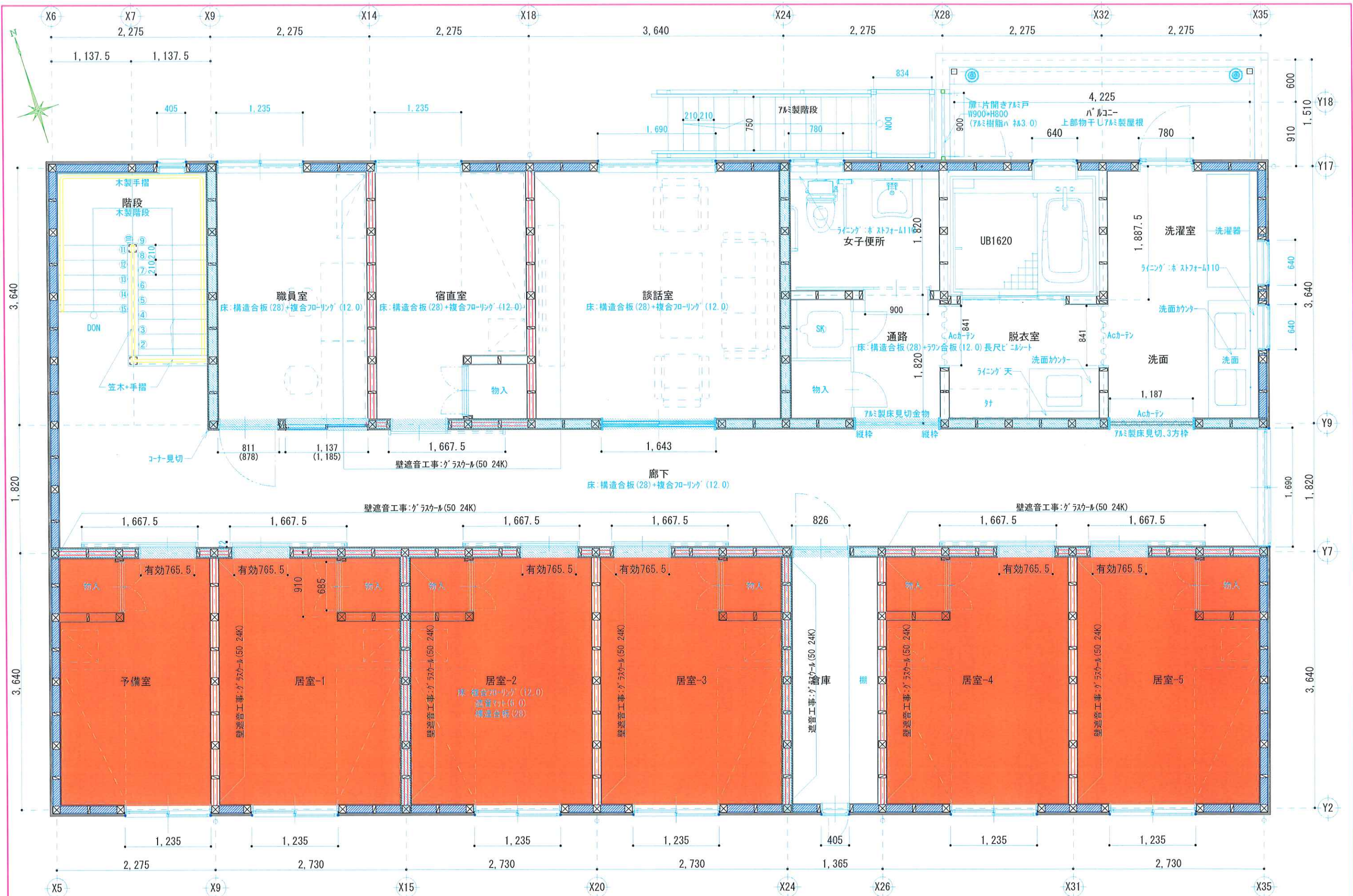
外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K	件名	グムフホーム ヴィレユ-B 新築工事
間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K	図種	1階平面詳細図-1
防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張	SCALE	年度 R6

木下建築設計事務所
小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626
E: kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義

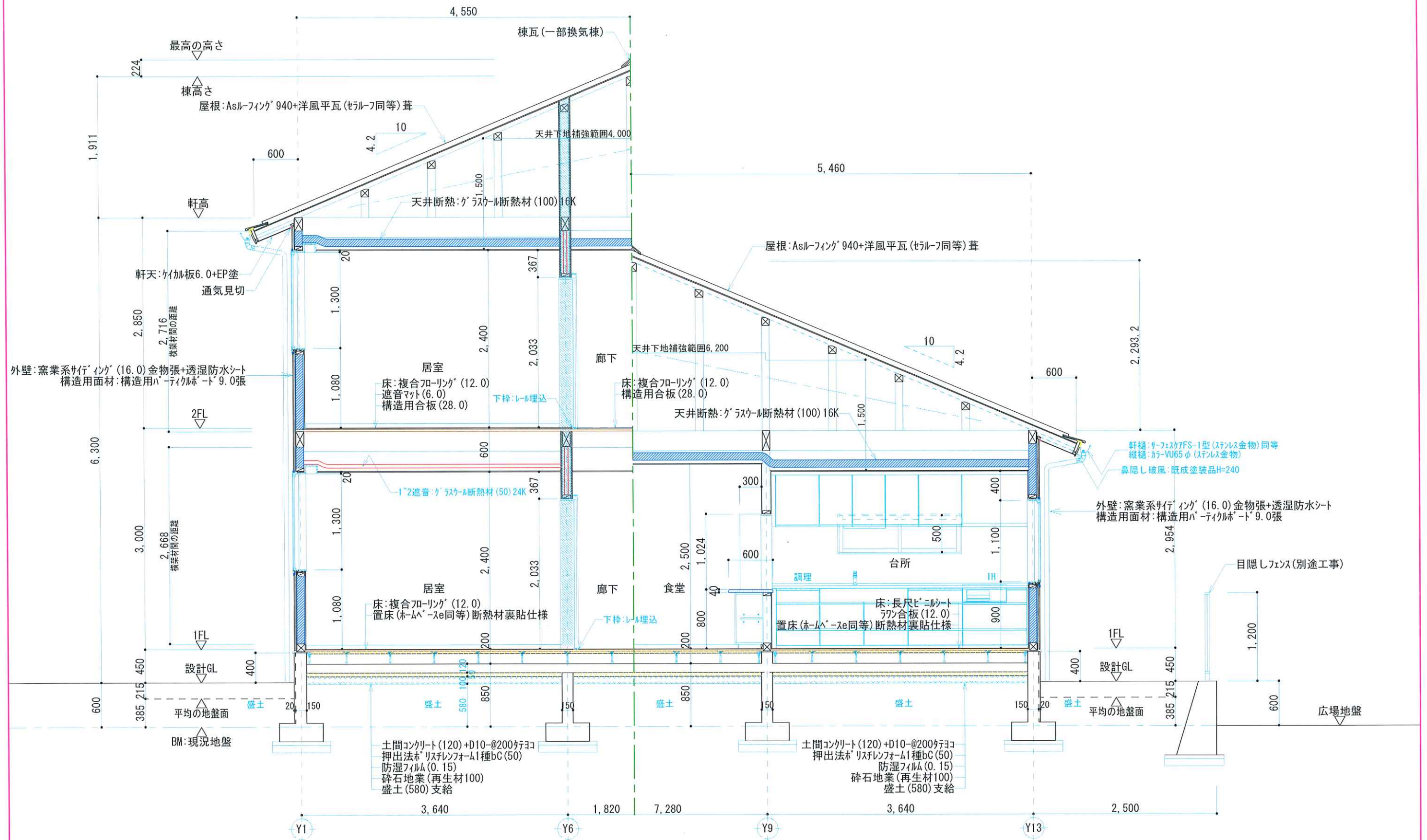
A-15



 外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K	件名	ケルブホーム ヴィレ1-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626 E: k. kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	A-16
 間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K	図種	1階平面詳細図-2				
 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張	SCALE	年 度	R6			

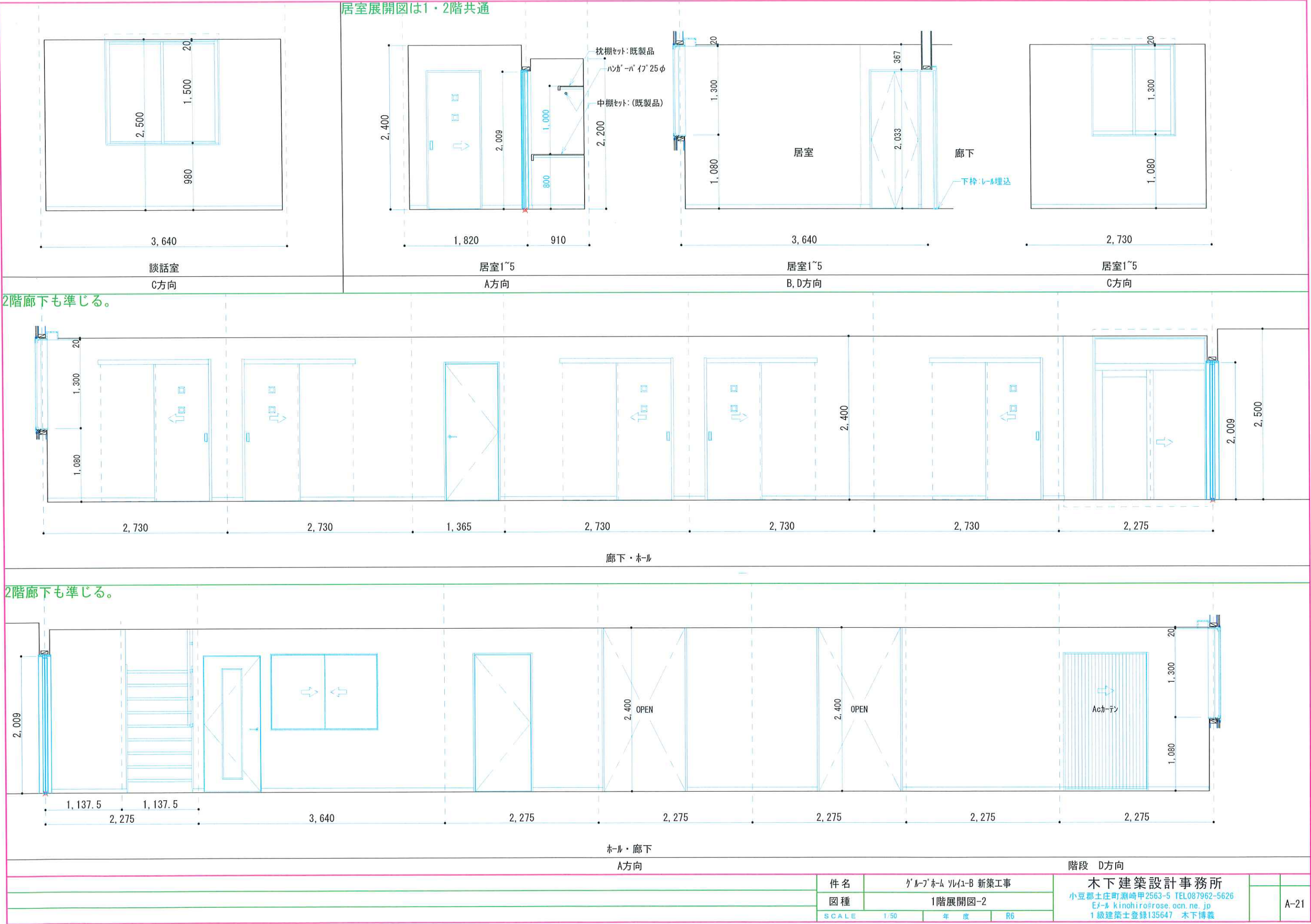


 外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K	 床遮音工事:遮音マット(6.0)	件名	グループホーム ⅡB 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	A-17
 間仕切り壁遮音工事:グラスウール断熱材(50)24K		図種	2階平面詳細図				
 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張		SCALE	1/50	年度	R6		

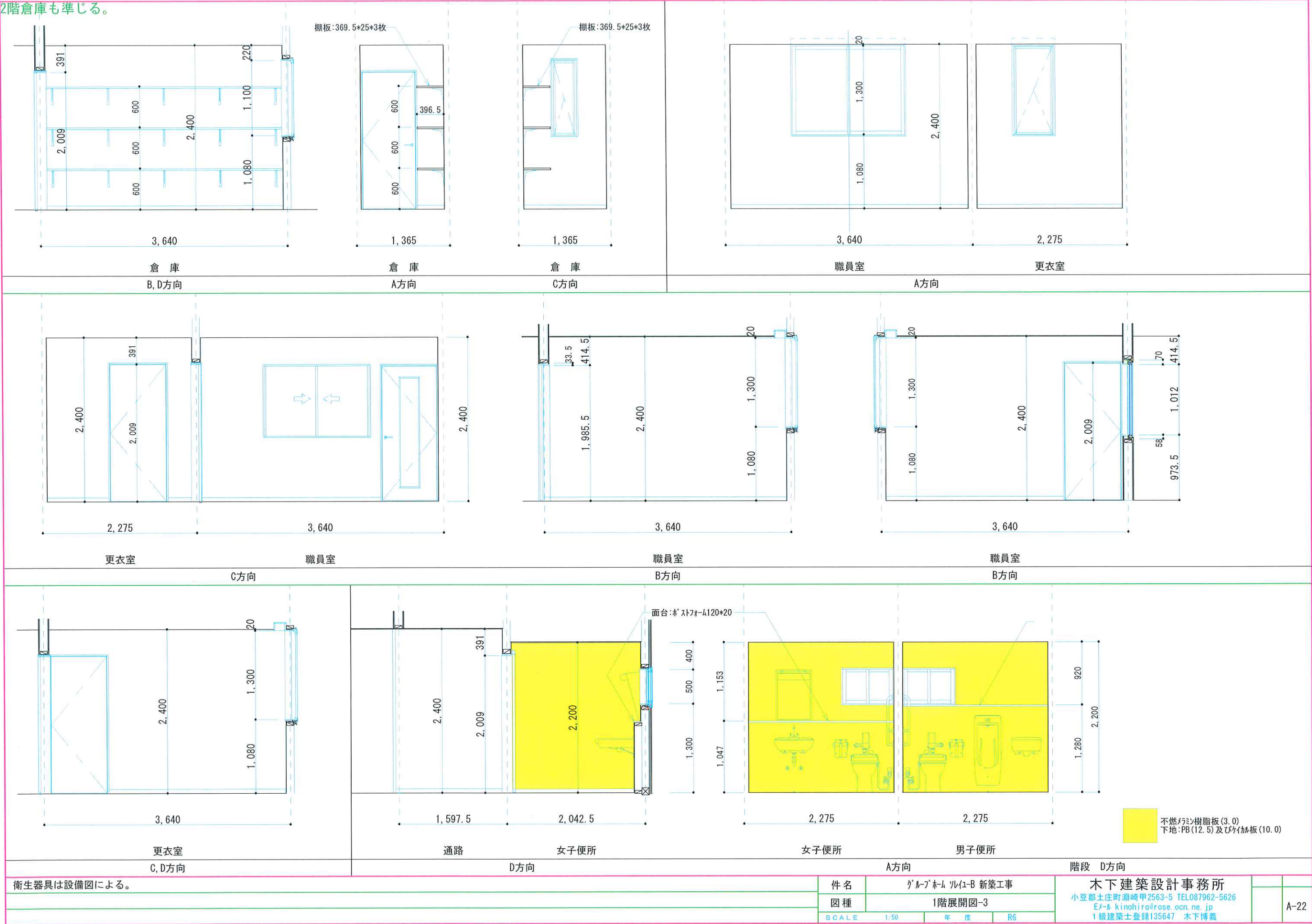


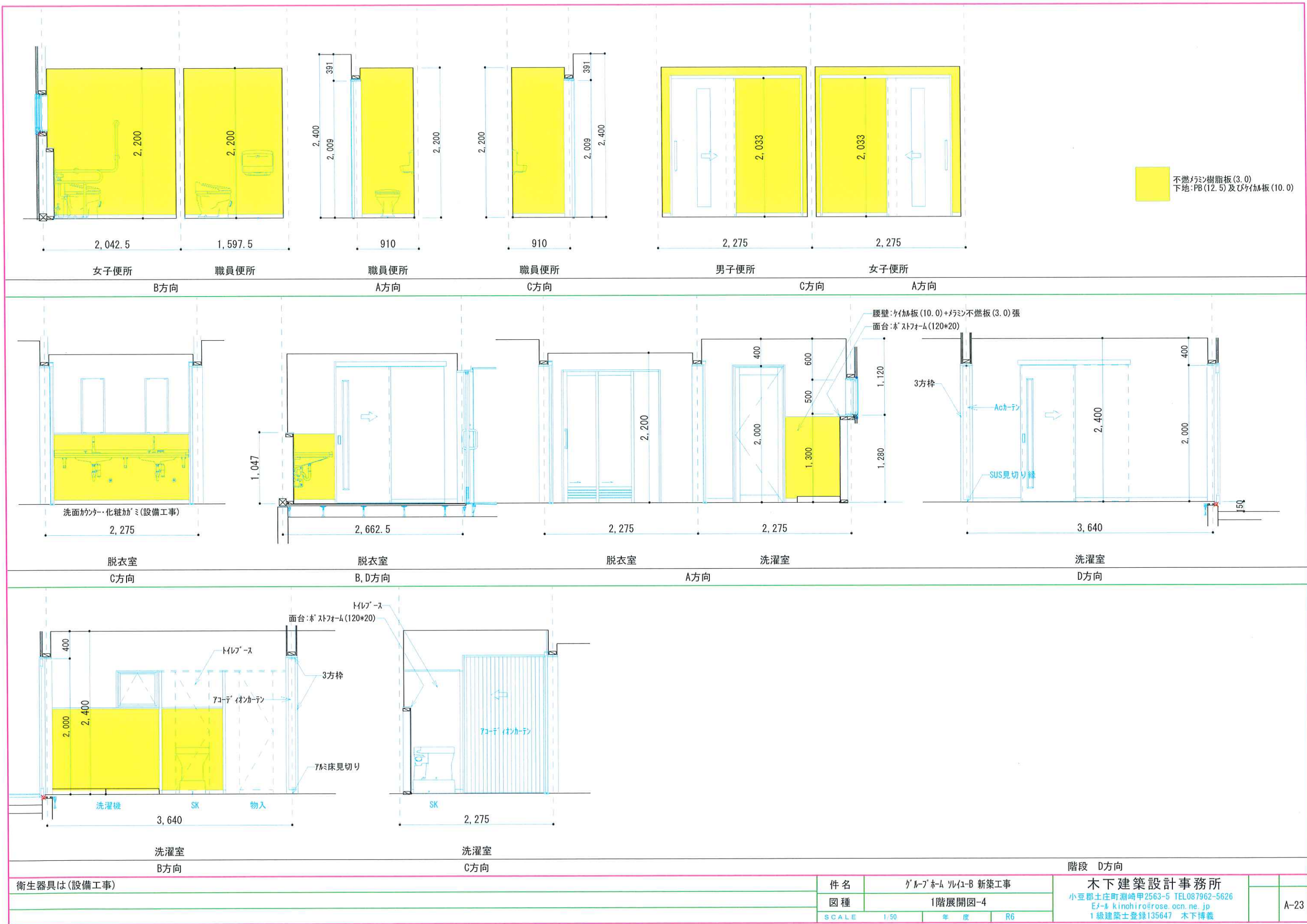
断面詳細図-1 1/50

	外壁廻り断熱:ｸﾞﾗｽｰﾙ断熱材(100)16K	件 名	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ ﾖﾚｰﾑ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626 E: kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	A-18
	間仕切り壁遮音工事:ｸﾞﾗｽｰﾙ断熱材(50)24K	図 種	断面詳細図-1				
	防火上主要な間仕切り:木造+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(12.5+9.5)両面二重張(天井裏小屋裏迄達せしめる。)	SCALE	年 度	R6			



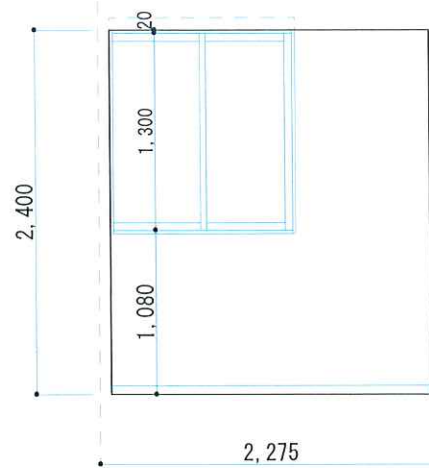
2階倉庫も準じる。



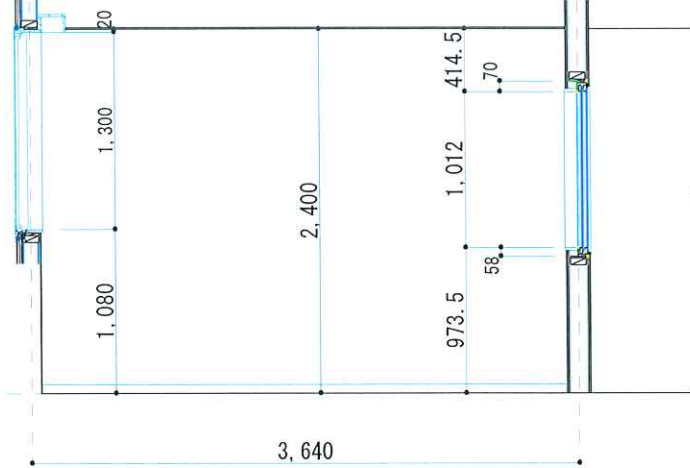


衛生器具は(設備工事)	件名	グループホーム ⅴⅴⅴ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	A-23
	図種	1階展開図-4				
	SCALE	1/50	年 度	R6		

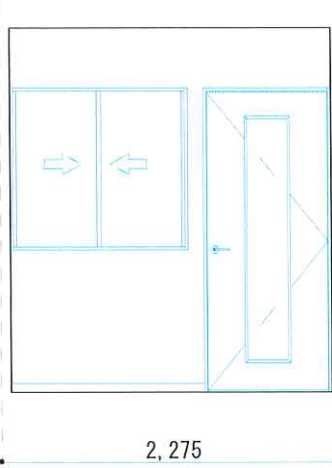
2階展開図



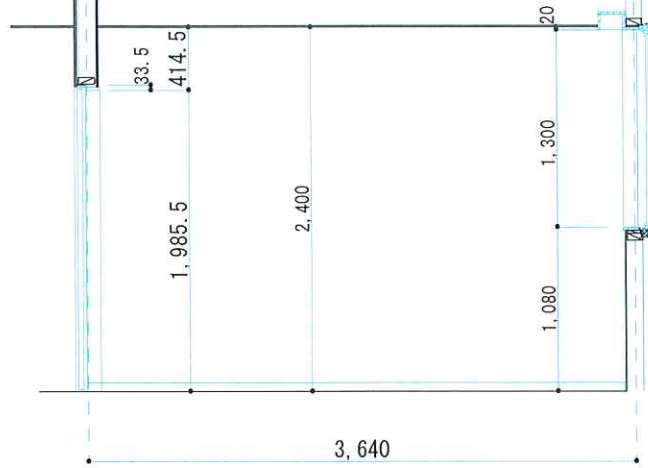
職員室
A方向



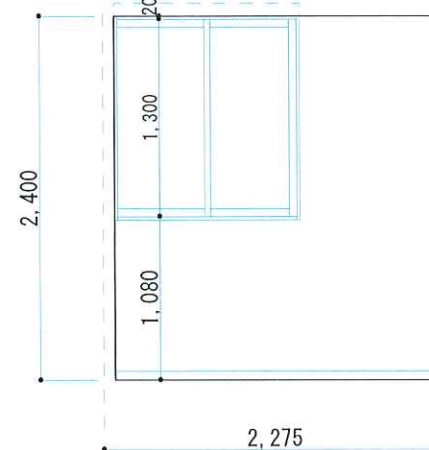
職員室
B方向



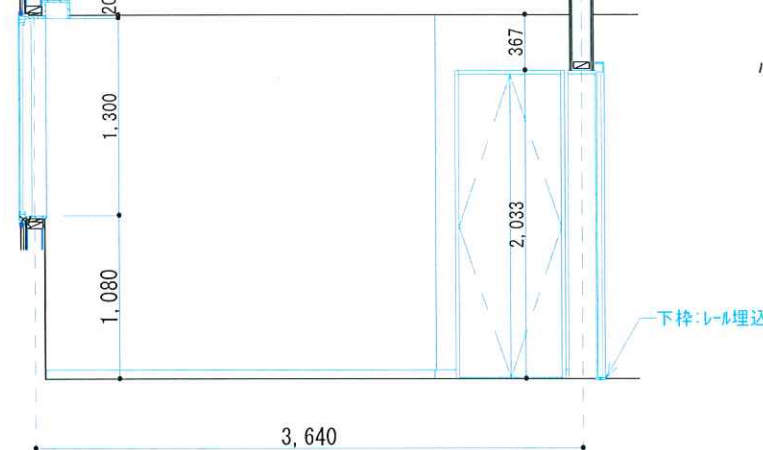
職員室
C方向



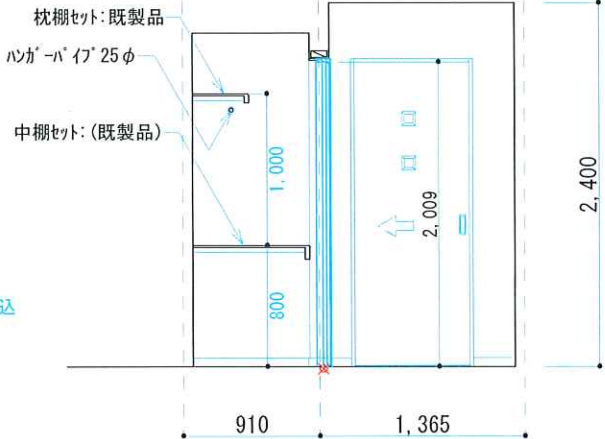
職員室
D方向



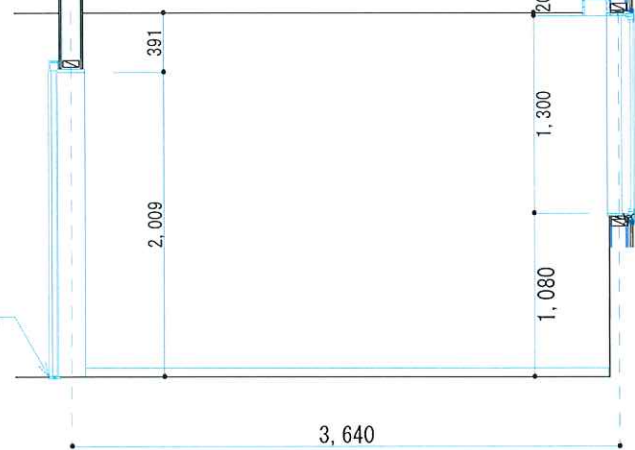
宿直室・(予備室)
A方向



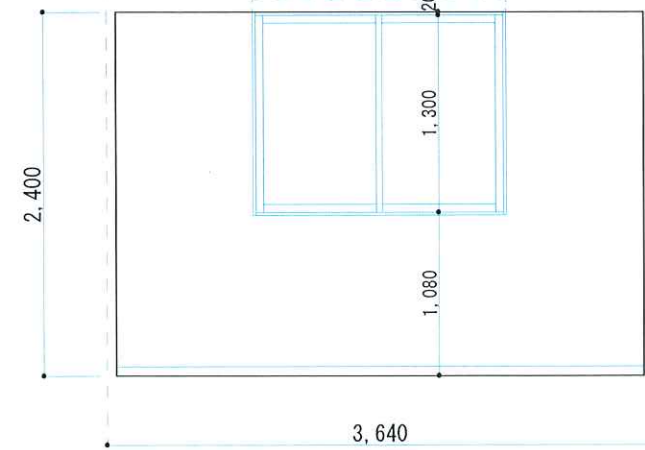
宿直室・(予備室)
B方向



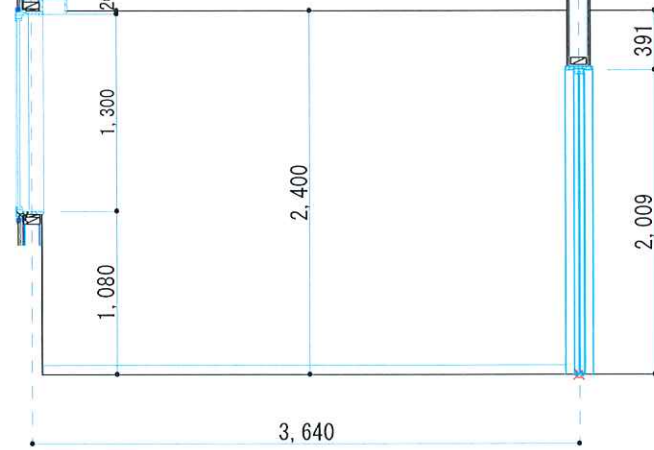
宿直室・(予備室)
C方向



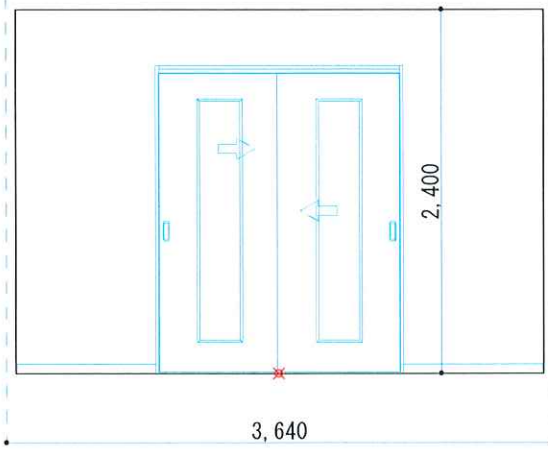
宿直室・(予備室)
D方向



談話室
A方向

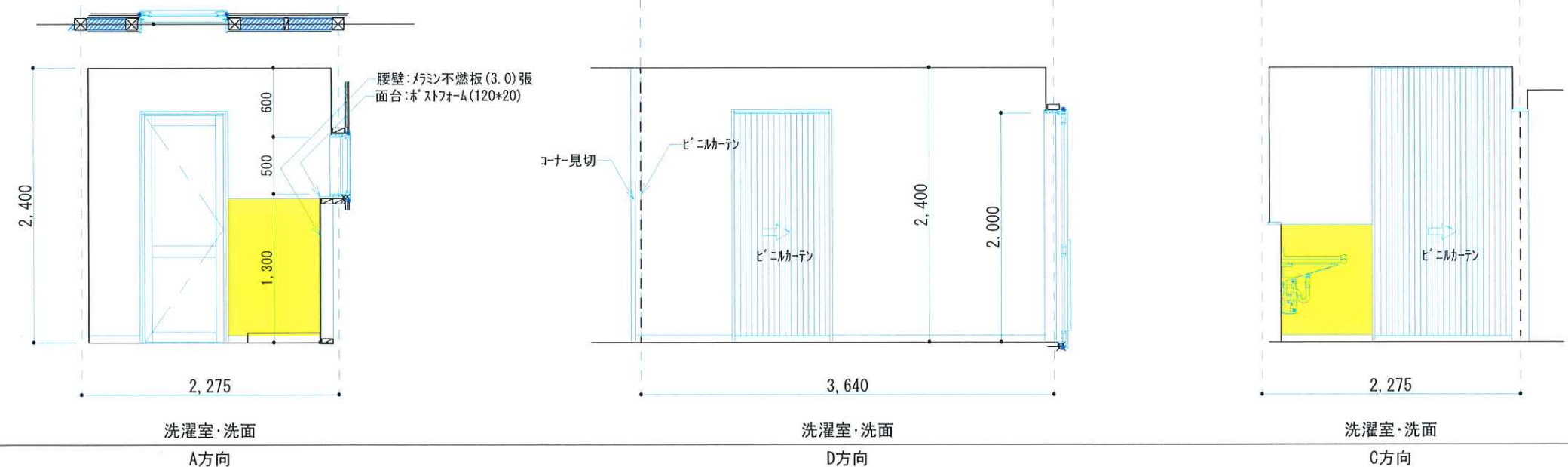
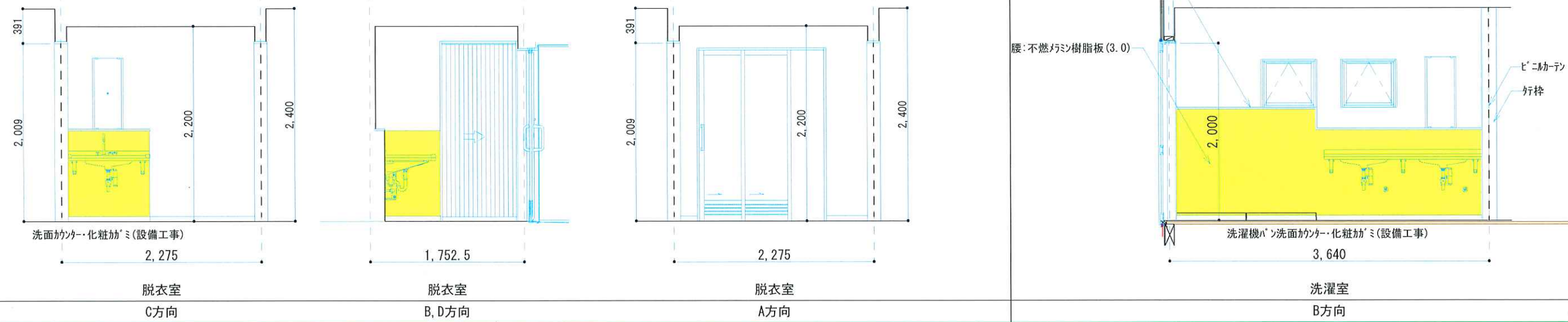
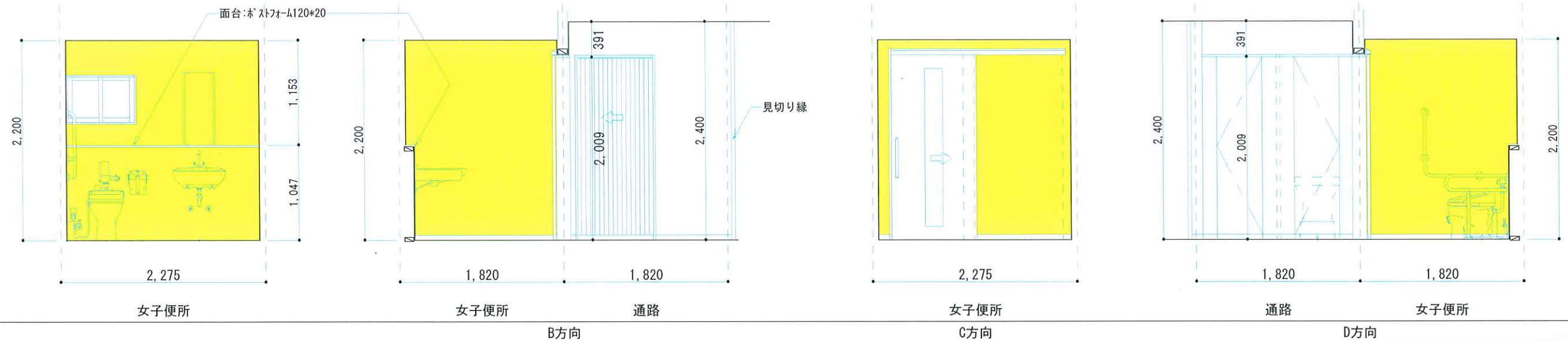


談話室
BC方向



談話室
C方向

2階展開図



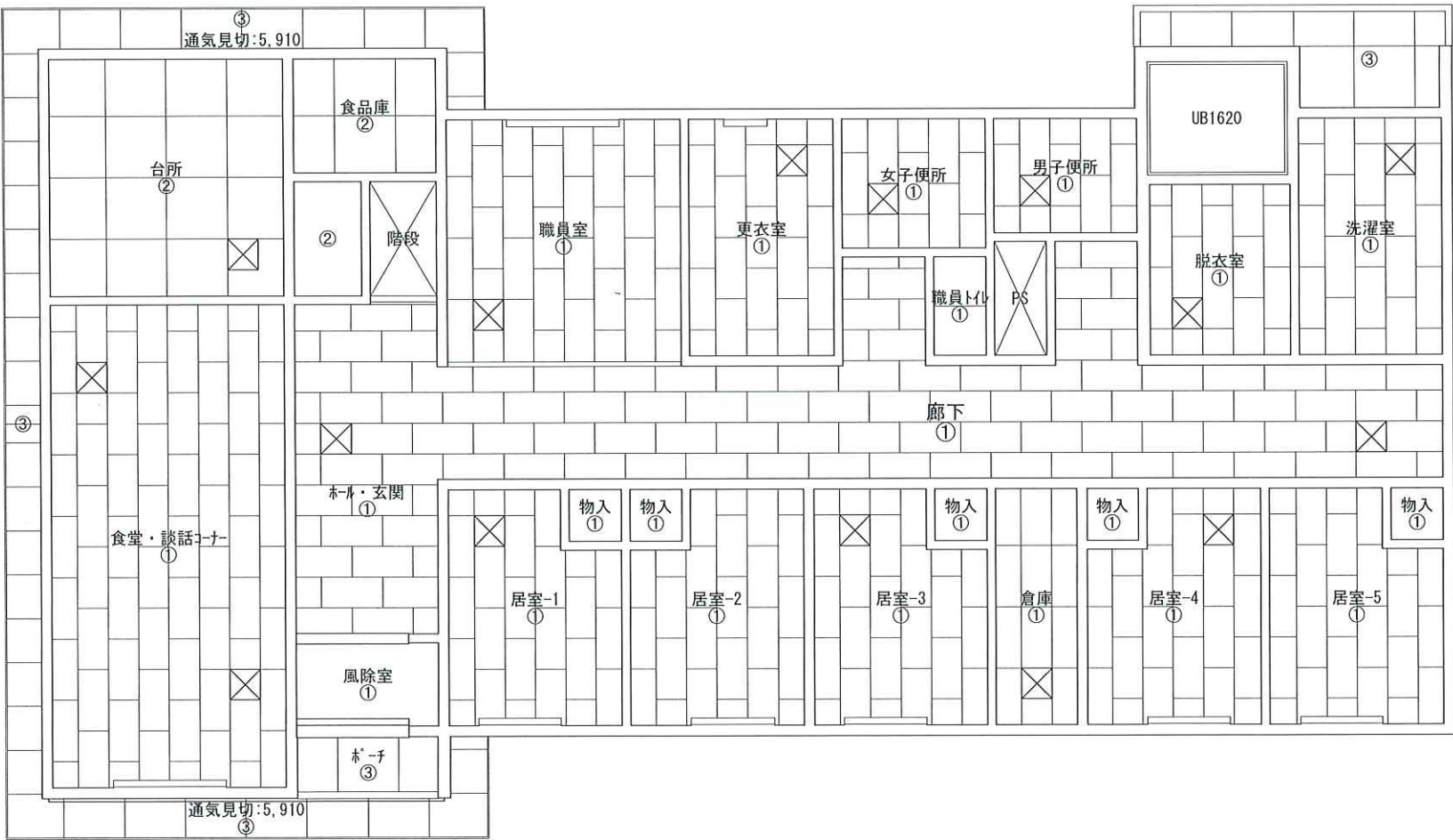
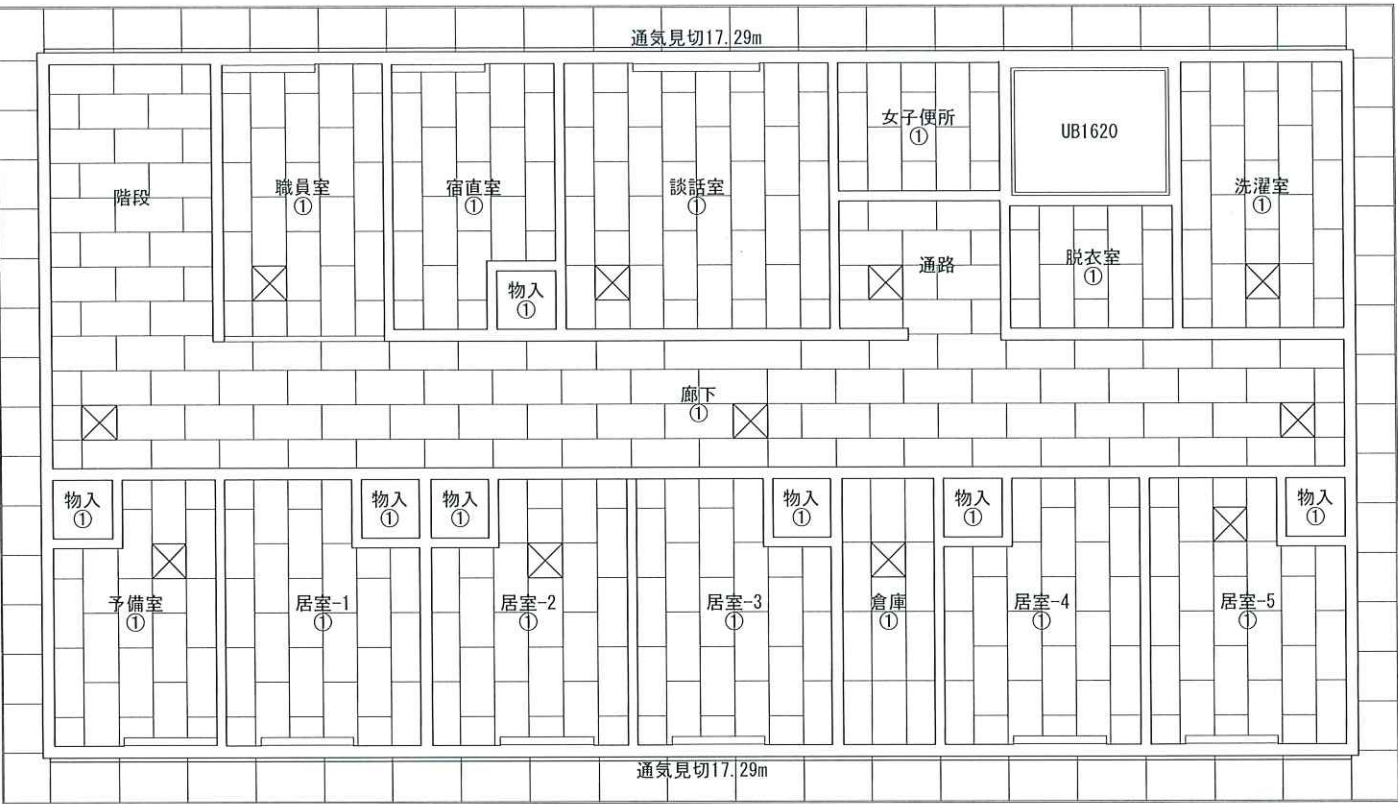
不燃樹脂板(3.0)
下地:PB(12.5)及びケイカル板(10.0)



乾式置床伏図 1/100

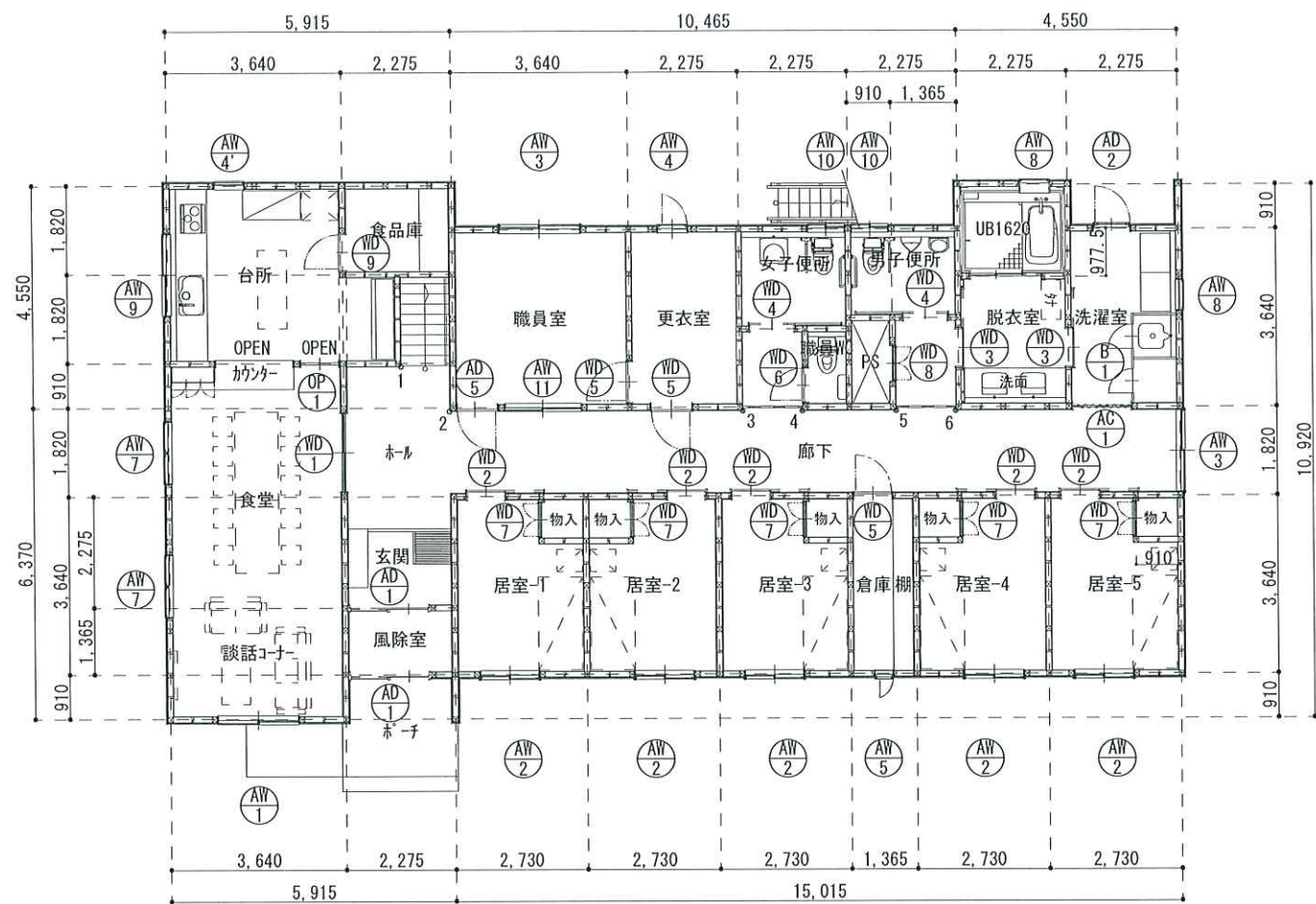
ホーム・スレ同等
際根太システム

	件 名	ゲルブホーム 3F1-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義		
	図 種	1階床伏図					A-26
	SCALE		年 度	R6			

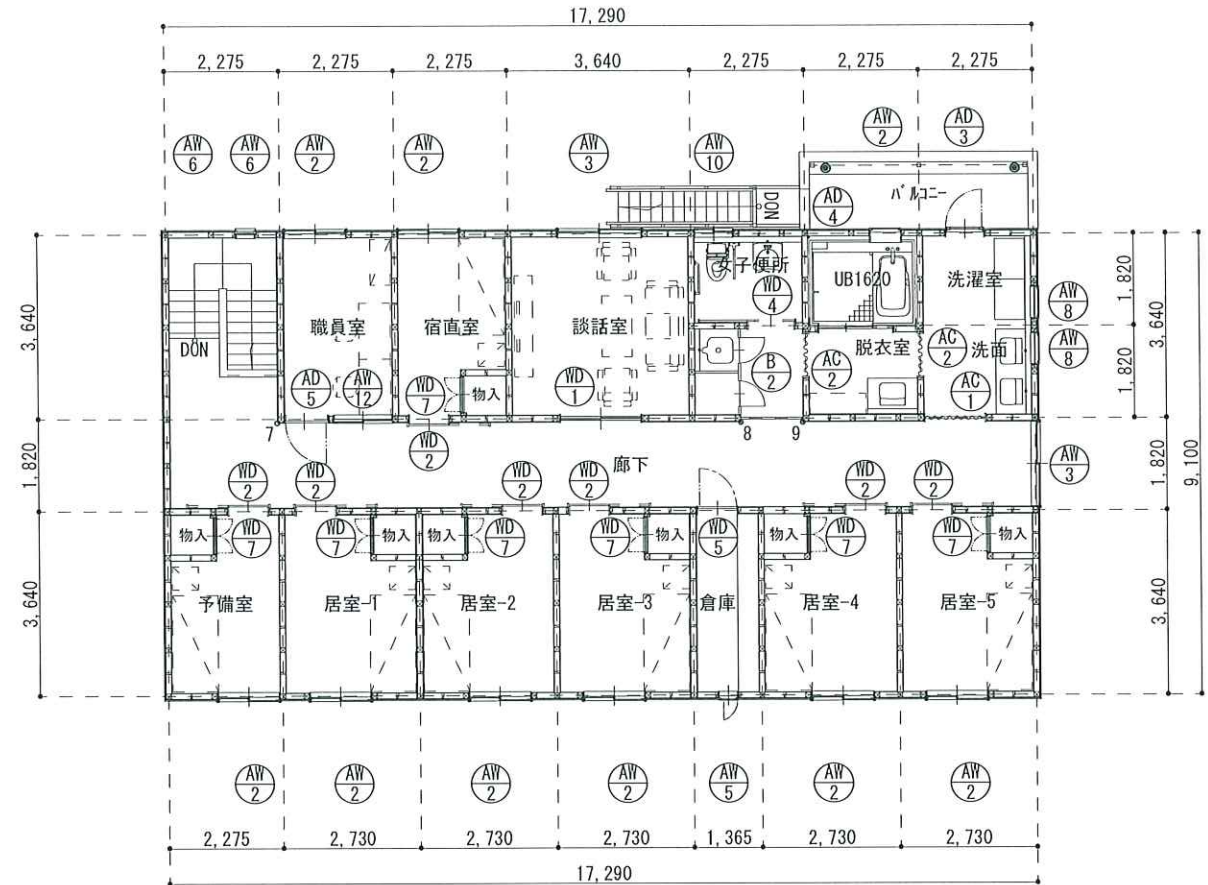


1階平面図 1/100

天井仕上表	
①	LGS19型+化粧石膏ボード (ｼﾌﾞﾄｰﾝ9.5 900*450)
②	LGS19型+化粧板 (6.0 900*900)面取り突付+EP塗
③	木製下地+窯業系軒天ボード (12.0)
✕	7/8製天井点検口450*450
内部天井見切	7/8製 (コ型)
軒天通気見切	図示の範囲 (メーカ品)
その他の軒天見切	メーカ標準品 (役物共)



1階建具記号図 1/150



2階建具記号図 1/150

居室のLVSチェック						
階	室名	食堂・談話コーナー	台所	職員室	更衣室	洗濯室
1	A	7.28*3.64=26.50	(3.64*3.64)+(1.1375*1.82)=15.32	3.64*3.64=13.25	3.64*2.275=8.28	非居室
	LA	AW-1 (1.65*1.5)=2.475 > (26.5/20)=1.325	AW-4'+AW-9 (0.562*1.1)+(1.65*0.5)=1.443 > 15.32/20=0.766	AW-3 1.65*1.3=2.145 > 13.25/20=0.663	AW-4 0.562*1.3=0.73 > 8.28/20=0.414	AW-2 1.195*1.3=1.55 > 9.11/7=1.30
	VA	AW-1+AW-7*2 (0.825*1.50)+(0.562*0.478*2)*2=2.312 > (26.5/20)=1.325	AW-4'+AW-9 (0.562*1.1)+(0.825*0.5)=1.03 > 15.32/20=0.766	AW-3 0.825*1.3=1.072 > 13.25/20=0.663	AW-4 0.562*1.3=0.73 > 8.28/20=0.414	AW-2 0.597*1.3=0.776 > 9.11/20=0.456
	SA	AW-1+AW-7*2 (0.825*0.78)+(0.562*0.478*2)*2=1.718 > 26.5/50=0.53	AW-4'+AW-9 (0.562*0.58)+(0.825*0.2)=0.49 > 15.32/50=0.30	AW-3 0.825*0.78=0.643 > 13.25/50=0.265	AW-4 0.562*0.78=0.438 > 8.28/50=0.166	AW-2 0.597*0.78=0.465 > 9.11/50=0.182
	備考					
階	室名	職員室	宿直室	談話室	洗濯・洗面	予備室
2	A	3.64*2.275=8.28	(3.64*2.275)-(0.91*0.91)=7.45	3.64*3.64=13.25	非居室	(3.64*2.275)-(0.91*0.91)=7.45
	LA	AW-2 1.195*1.3=1.553 > 8.28/20=0.414	AW-2 1.195*1.3=1.553 > 7.45/20=0.373	AW-3 1.65*1.3=2.145 > 13.25/20=0.663		AW-2 1.195*1.3=1.553 > 7.45/7=1.064
	VA	AW-2 0.597*1.3=0.776 > 8.28/20=0.414	AW-2 0.597*1.3=0.776 > 7.45/20=0.373	AW-3 0.825*1.3=1.072 > 13.25/20=0.663		AW-2 0.597*1.3=0.776 > 7.45/20=0.373
	SA	AW-2 0.597*0.78=0.465 > 8.28/50=0.165	AW-2 0.597*0.78=0.465 > 7.45/50=0.149	AW-3 0.825*0.78=0.643 > 13.25/50=0.265		AW-2 0.597*0.78=0.465 > 7.45/50=0.149
	備考					

記号	(1 AD)	(1' AD)	(2 AD)	(3 AD)	(1 AW)	(2 AW)	(3 AW)
形状・寸法							
1:100							
名称	ラン袖FIX アルミ製片引き自動ドア	ラン袖FIX アルミ製片引き自動ドア	片開き勝手口アルミドア	片開き勝手口アルミドア	引違いアルミ窓	引違いアルミ窓	引違いアルミ窓
場所	玄関・風除室	玄関・風除室	1階洗濯室	2階洗濯室	1階食堂・談話コーナー	1.2階居室1~5、2階予備室、職員室、宿直室	12階廊下、1階職員室、2階談話室
金物	タッチスイッチ、3方アルミ額縁、アルミカーテンボックス	タッチスイッチ、3方アルミ額縁	レバーハンドル、CL、DC、網戸	レバーハンドル、CL、DC、網戸	網戸	網戸	網戸
ガラス (Loeガラス:日射遮蔽型)	Loe5+A15+FL5	Loe5+A15+FL5	Loe3+A15+F4	Loe3+A15+F4	Loe3+A15+FL3	Loe3+A15+FL3	Loe3+A15+FL3
数量	見込100、1ヶ所	見込100、1ヶ所	1ヶ所、下枠土間仕様	1ヶ所、下枠木造仕様	1ヶ所	13ヶ所	4ヶ所
インテリア造材			3方額縁	3方額縁	4方額縁、カーテンボックス	4方額縁、カーテンボックス	4方額縁、カーテンボックス

記号	(4 AW)	(4' AW)	(5 AW)	(6 AW)	(7 AW)	(8 AW)	(9 AW)	(10 AW)	(4 AD)
形状・寸法									
1:100									
名称	片開きアルミ窓	片開きアルミ窓	片開きアルミ窓	FIXアルミ窓	外倒し排煙アルミ窓	スライド出しアルミ窓	引違いアルミ窓	引違いアルミ窓	片開きアルミ戸
場所	1階更衣室	1階台所	1.2階倉庫	階段	食堂	1.2階洗濯室、UB	台所	1.2階男女便所	2階バルコニー屋外階段
金物	網戸	網戸	網戸		開閉装置	網戸	網戸	網戸	取付支柱40×40、掴み金物、錠、丁番
ガラス (Loeガラス:日射遮蔽型)	Loe3+A15+F4	Loe3+A15+F4	Loe3+A15+F4	Loe3+A15+FL3	Loe3+A15+F4	Loe3+A15+F4	Loe3+A15+F4	Loe3+A15+F4	アルミ樹脂複合板 (3.0)
数量	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	5ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	1ヶ所
インテリア造材	4方額縁、カーテンボックス	4方額縁	4方額縁	4方額縁	4方額縁	4方額縁	4方額縁	4方額縁	

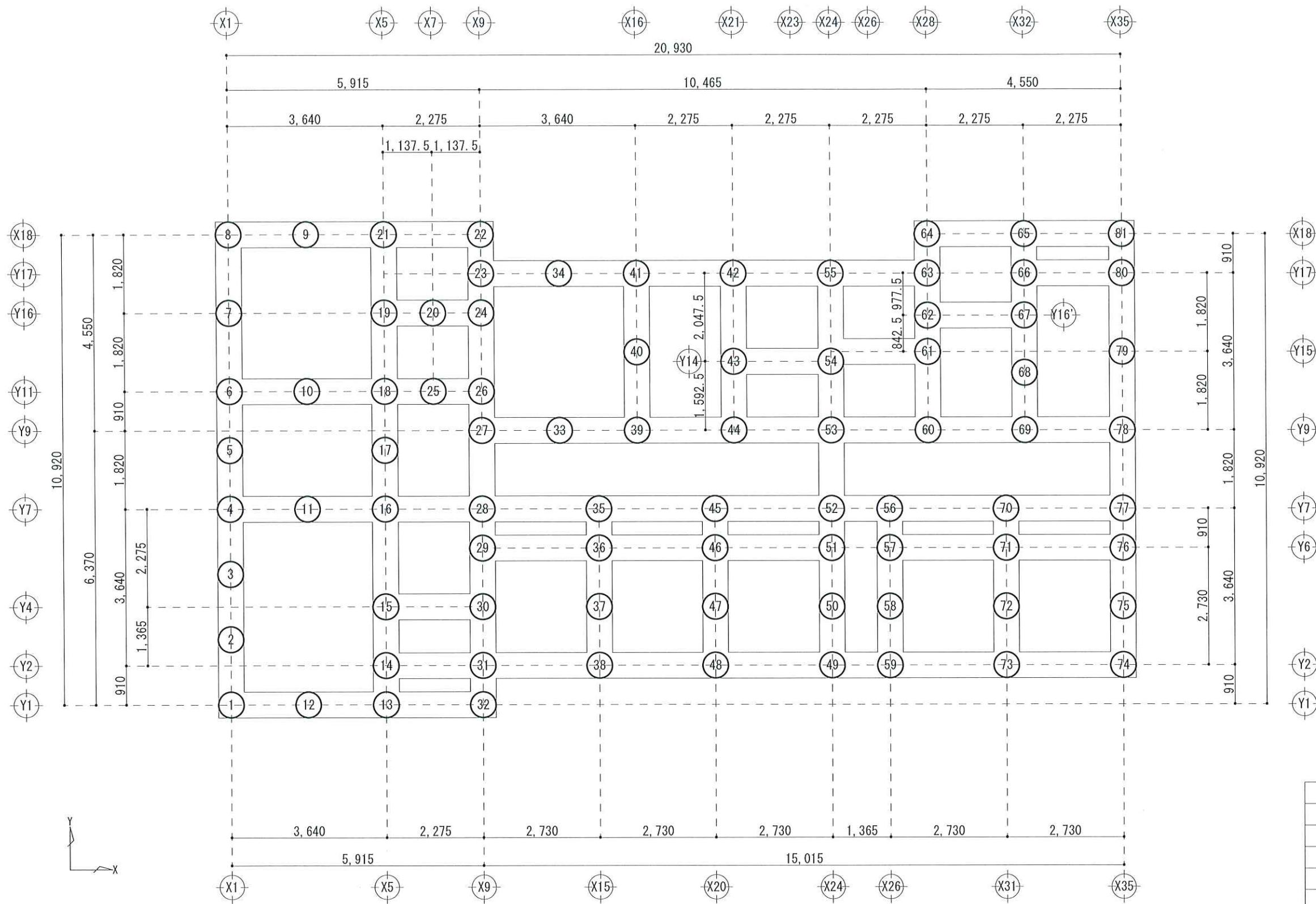
記号	(5 AD)	(11 AW)	(12 AW)
形状・寸法			
1:100			
名称	片開き室内ドア (アルミ枠)	引違い室内窓 (アルミ枠)	引違い室内窓 (アルミ枠)
場所	1.2階職員室	1階職員室	2階職員室
金物	CL、DC、レバーハンドル		
ガラス	FL3 飛散防止フィルム	FL3 飛散防止フィルム	FL3 飛散防止フィルム
数量	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
備考	3方インテリア額縁	4方インテリア額縁	4方インテリア額縁

消防法による無窓リスク m2					
1階床面積	201.22		201.22/30		6.71
AW-1	1.65*1.5*0.5	1.2375	1	1.238	
AW-2	1.195*1.3*0.5	0.77675	5	3.884	7.267>6.71 OK
AW-3	1.65*1.3*0.5	1.0725	2	2.145	
2階床面積	157.33		157.33/30		5.24
AW-2	1.195*1.3*0.5	0.77675	8	6.214	8.359>5.24 OK
AW-3	1.65*1.3*0.5	1.0725	2	2.145	
1ヶ所					
4方インテリア額縁					

	件名	ケルブホーム リレイ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義		
	図種	7mm製建具表					
	SCALE		年 度	R6			A-29

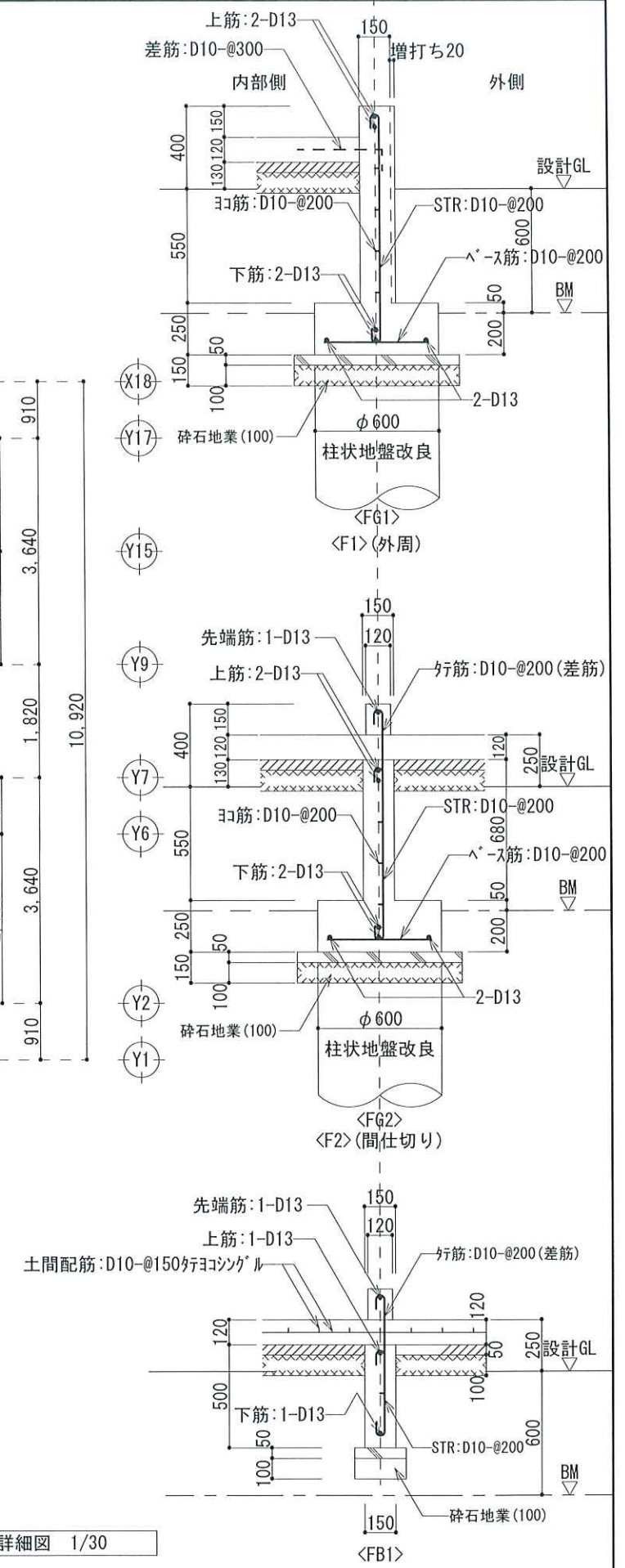
記号	WD 1 形状・寸法 1:100	WD 2 形状・寸法 1:100	WD 3 形状・寸法 1:100	WD 4 形状・寸法 1:100	WD 5 形状・寸法 1:100	WD 6 形状・寸法 1:100				
名称	引違い戸 (YKKAP) 2,009 x 1,591	7セット片引戸 (同左)	7セット片引戸 (同左)	7セット自閉式片引戸 (同左)	片開き戸 (同左)	片開き戸 (同左)				
場所	食堂、2階談話室	1. 2階居室1~5、2階予備室、宿直室	1階脱衣室	12階男女便所	1階更衣室、12階倉庫	職員便所				
金物	7mm製直付数居、鴨居レール、付属金物一式	埋込レール、引戸錠、鴨居レール、付属金物一式	直付レール、引戸錠、鴨居レール、付属金物一式	標示錠、上吊自閉レール、付属金物一式	CL、DC、レール、戸当り、AL床見切、付属金物一式	表示錠、DC、レール、付属金物一式				
ガラス	F4	F4	F4	F4		F4				
数量	2ヶ所	12ヶ所	2ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	1ヶ所				
インテリア造作材	ノンケーシング 3方枠 (壁厚155)	ノンケーシング 3方枠 (壁厚155)+戸当り枠、下枠レール埋込	ノンケーシング 3方枠 (壁厚130)+戸当り枠	ノンケーシング 3方枠 (壁厚130)+戸当り枠	ノンケーシング 3方枠 (壁厚155、130)	ノンケーシング 3方枠 (壁厚130)				
記号	WD 7 形状・寸法 1:100	WD 8 形状・寸法 1:100	WD 9 形状・寸法 1:100	B 1 形状・寸法 1:100	B 2 形状・寸法 1:100	AC 1 形状・寸法 1:100	AC 2 形状・寸法 1:100			
名称	両開き戸 (同左)	両開き戸 (同左)	片開き戸 (同左)	SK, 物入れ (7mmエッジ)	SK, 物入れ (7mmエッジ)	7コーデーションカーテン				
場所	1. 2階居室、2階宿直室 (カセット)	1階PS	階段下食品庫	1階洗濯室	2階便所前通路	1. 2階 廊下~洗濯室	2階 通路~脱衣室、洗濯室~脱衣室			
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	SUS巾木、7mm笠木、付属金物一式	SUS巾木、7mm笠木、付属金物一式	防災、防汚、抗菌、7mm床見切り、付属金物一式				
ガラス										
数量	12ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1セット	1セット	2ヶ所	2ヶ所			
インテリア造作材	ノンケーシング 3方枠 (壁厚130)	ノンケーシング 4方枠 (壁厚130)	ノンケーシング 3方枠 (壁厚130)	表面: 木リ合板、芯材: MDF	表面: 木リ合板、芯材: MDF	ノンケーシング 3方枠 (壁厚155)	ノンケーシング 3方枠 (壁厚130)			
記号	OP 1 形状・寸法 1:100	OP 2 形状・寸法 1:100	OP 3 形状・寸法 1:100	OP 4 形状・寸法 1:100	OP 5 形状・寸法 1:100	OP 6 形状・寸法 1:100	OP 7 形状・寸法 1:100			
名称	OPEN	壁見切40*40	その他							
場所	食堂~台所	1. 2階廊下								
金物	7mm床見切り		7mm床見切り: 1235*3本							
ガラス										
数量	1ヶ所	9本								
インテリア造作材	ノンケーシング 3方枠 (壁厚130)									
				件名	グループホーム ヴィーユ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義		A-30
				図種	木質建具表					
				SCALE	年度	R6				

地盤改良(柱状改良)工事特記仕様書（セメント併用同等工法）												
1. 工 法 概 要					6. 施 工 管 理							
本工法は、セメントを主体としたスラリー状の固化材を土壌に注入しながら、土壌と固化材を均一に					① コラムの鉛直性		施工機本体の傾斜計によって管理する。					
混合攪拌することによって、地中に所要の強度を持つソイルセメントコラムを形成する工法である。					② 固化材スラリー		水の計量は、水量計または水管計で計測する。					
							固化材の計量は、袋数または計量器で計測する。					
2. 一 般 事 項					③ スラリーの吐出量		流量計で計測し記録する。					
(1) 本事業は、本特記仕様書による他〔改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針〕					④ 掘削深度		深度計で計測し記録する。					
(平成14年11月30日財団法人日本建築センター、以下指針という) などによる。					⑤ 掘削・引き抜き速度		速度計で計測し記録する。					
					⑥ 支持地盤の確認		掘削オーガーの負荷電流トルク・圧入力値を計測し記録する。					
(2) ソイルセメントコラムの径・長さ・本数等は、土質や地盤状況により変更した方が適切と					⑦ 共廻り防止翼		地盤に粘性土が存在しない場合は、監督員の承認の元に共廻り防止翼を外し					
判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。							施工を行う事ができる。。					
					7. 品 質 管 理							
(3) 本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得る。施工計画書には、次の事項を明記する。					(1) 100コラムにつき1箇所以上とする。							
・ 工法概要					・ 施工管理							
・ 工事概要					・ 品質管理							
・ 施工内容					・ 施工管理体制							
・ 施工機械					・ 安全対策							
・ 施工順序					・ 工程表							
・ 注入液の配合及び使用量												
3. 特 記 事 項												
(1) コラムの径・掘削深度（改良長+空堀長）・数量・配合等は設計図による。					深部モールドコア：3箇所（改良長3.0m以内は省略できる。）							
(2) 地耐力度【長期】					布基礎：30kN/m2							
(3) 設計基準強度					Fc=700kN/m2							
4. 固化材の配合及び配合量					8. 施 工 報 告 書							
					工事完了後、次の項目について報告書をまとめて監督員に提出する。							
(1) 固化材					・ 工法概要							
(2) 配 合					・ コラムの施工記録図							
(3) 配合量					・ 固化材の使用量							
					・ コラムの径							
					・ 管理試験結果							
					・ コラムの掘削長・改良長							
					・ 写真記録							
5. 施 工												
(1) 施工業者は、本工事の施工技術に精通したものとする。												
(2) 施工及び手順												
施工方法は掘削同時充填方法とする。												
施工機本体は、自走式とする。												
施工に対して、疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。												
・ 本工事による発生土は、場内敷均しとする。					件 名		ゲルブホーム リニューアル 新築工事		木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義			A-31
					図 種		地盤改良工事特記仕様書					
					SCALE		年 度					



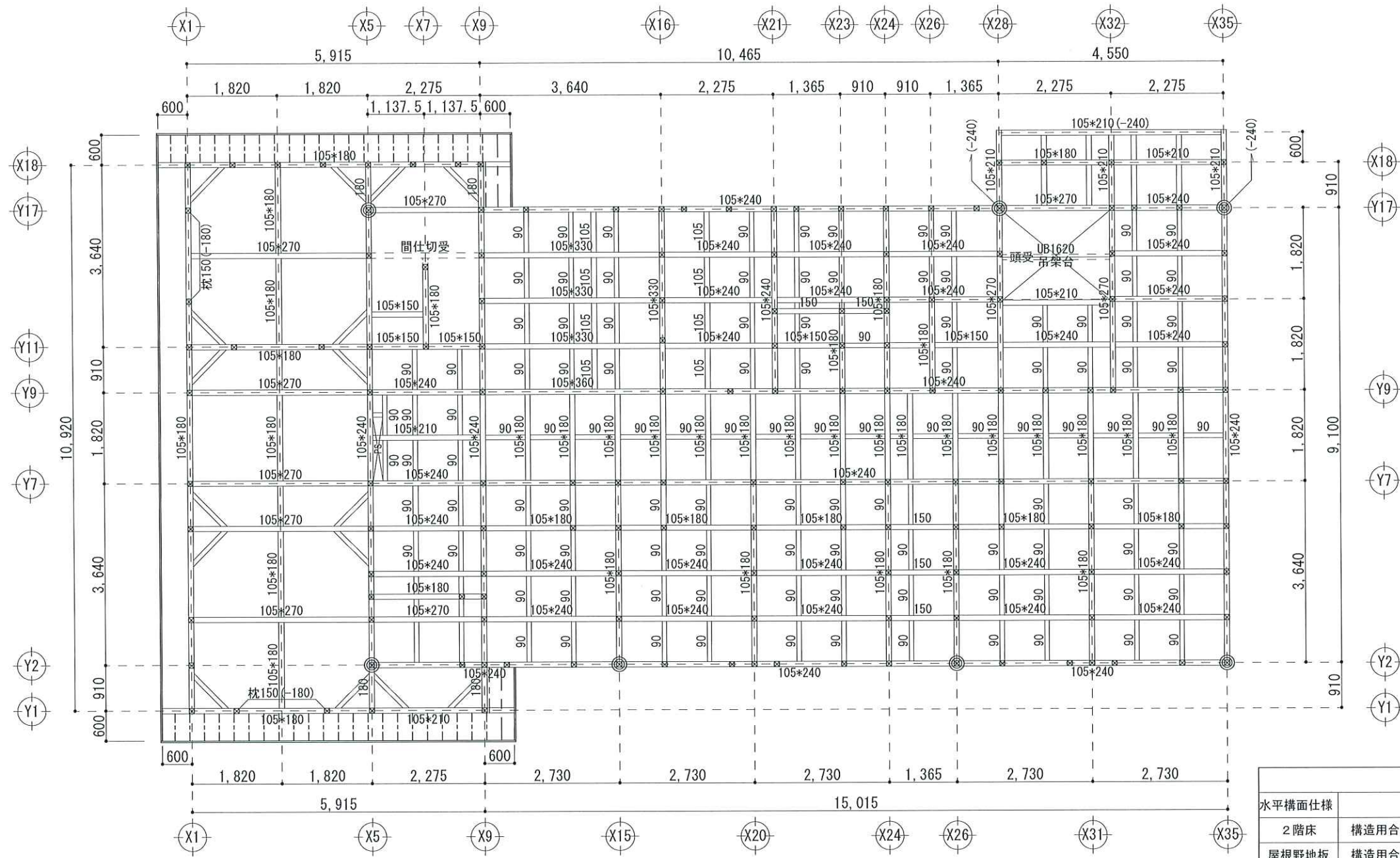
杭伏図 1/100

地盤改良(柱状改良)工事仕様	
工 法	セメント工法
設計GL	BM+600mm
杭先端深度	設計GL-6.1m
杭頭深度	設計GL-0.85m
施工数量	N=81本
設計基準強度	700KN/m2
長期地耐力	30KN/m2
φ600mm改良体1本支持可能な最大負担延長	
L=3.5m	



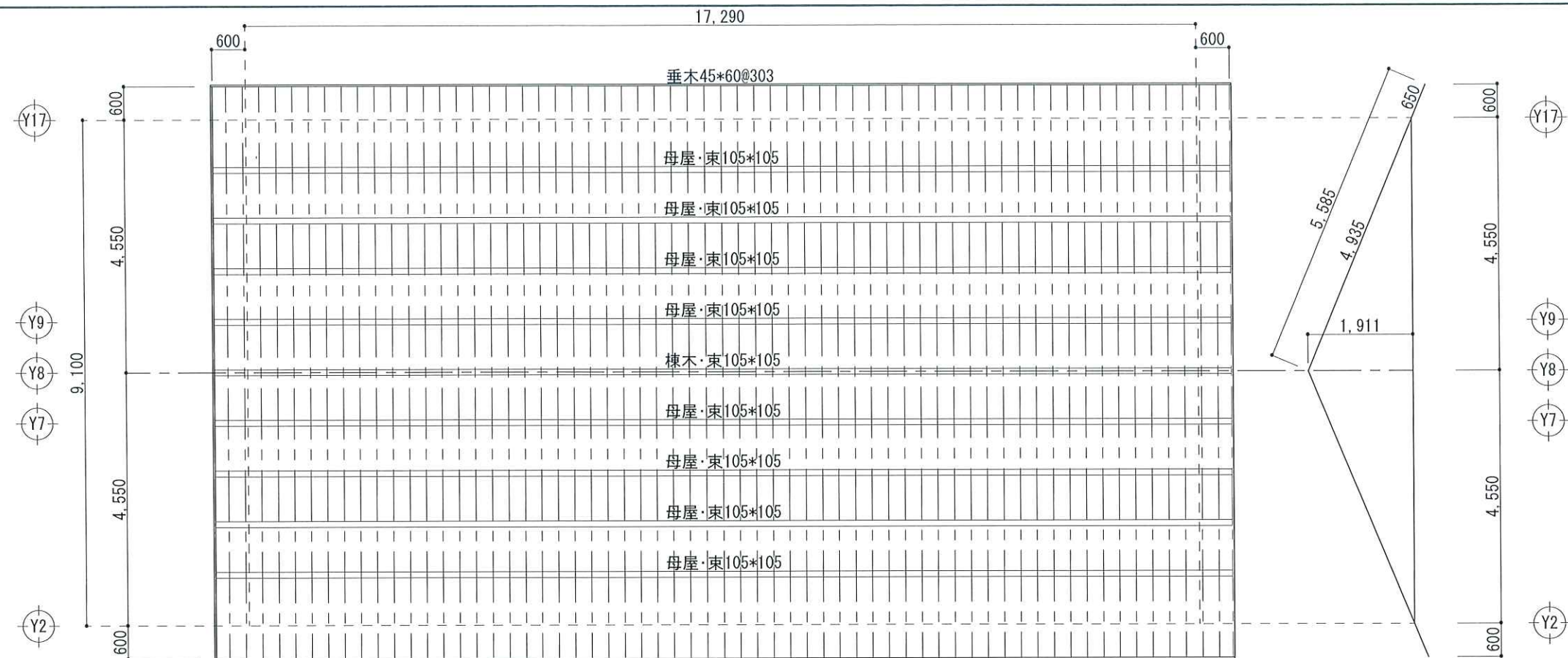
基礎詳細図 1/30

件名	ケルブホーム リニューアルB 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	A-33
図種	基礎伏図、基礎詳細図				
SCALE	年 度	R6			

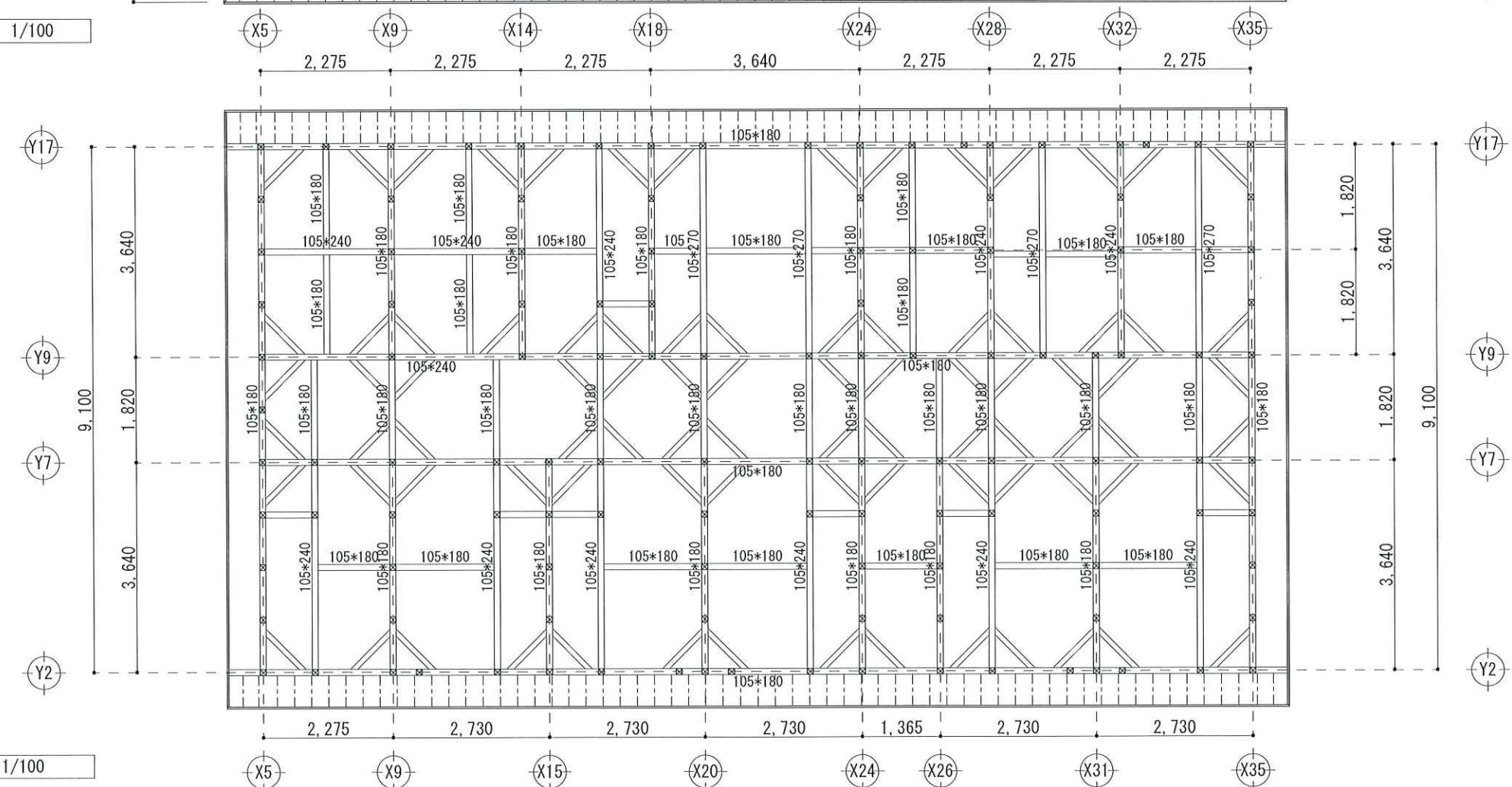


◎ 通し柱: 杉105*105 (ド・リフト・ソ工法)
2階梁伏図 1/100 横架材省略寸法105*105

共通事項	
水平構面仕様	
2階床	構造用合板(28.0)直張 釘N75@150以下(梁間隔1.0m以下)
屋根野地板	構造用合板(12.0) 垂木:45*60@303 釘N50-@150以下
垂木の釘打	垂木の側面から軒桁、母屋の上面に対しN75釘2本斜め打ち
火打梁	Zマ-ク鋼製火打、又は木製火打(90*90)隔長750
特記のない梁	特記のない短スパン梁は(105*105)とする。
◎	通し柱: 杉(105*105) KD材
⊠	管 柱: 杉(105*105) KD材
アンカーボルト	Zマ-ク L型アンカーボルト M12 L=400以上 ナット座金共
引張アンカーボルト	Zマ-ク J型アンカーボルト M16 L=600以上 ナット座金共

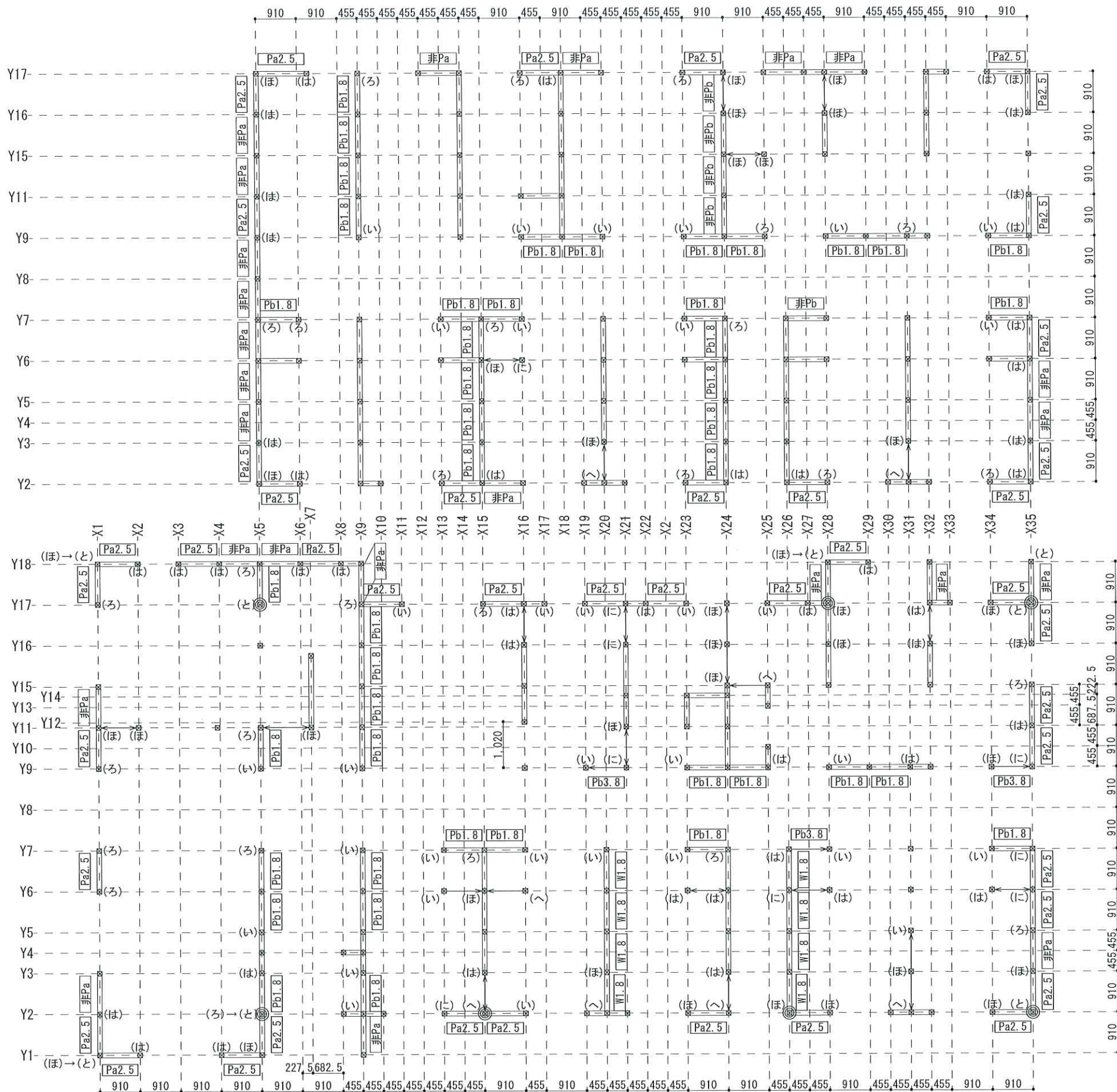


母屋伏図 1/100



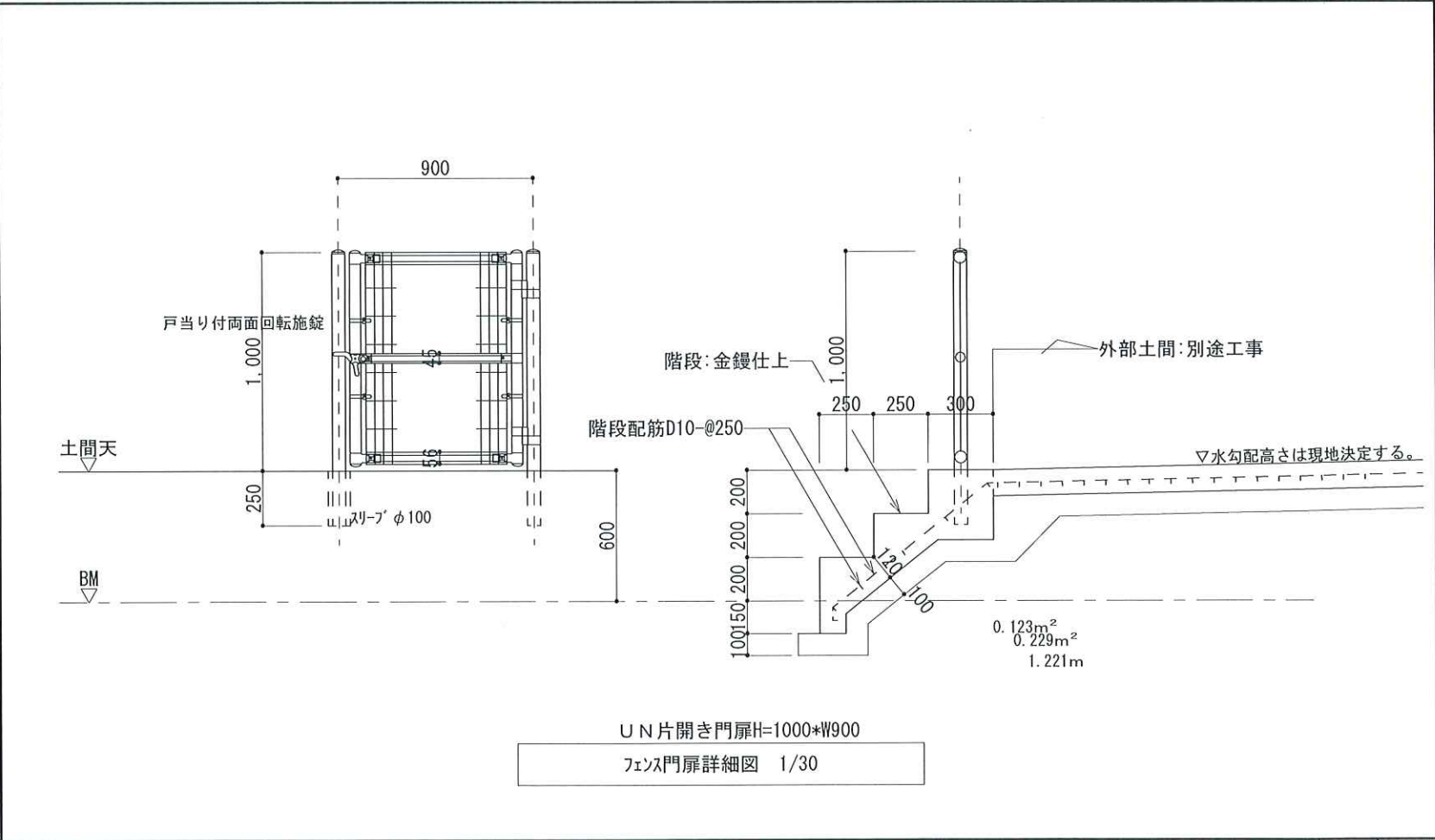
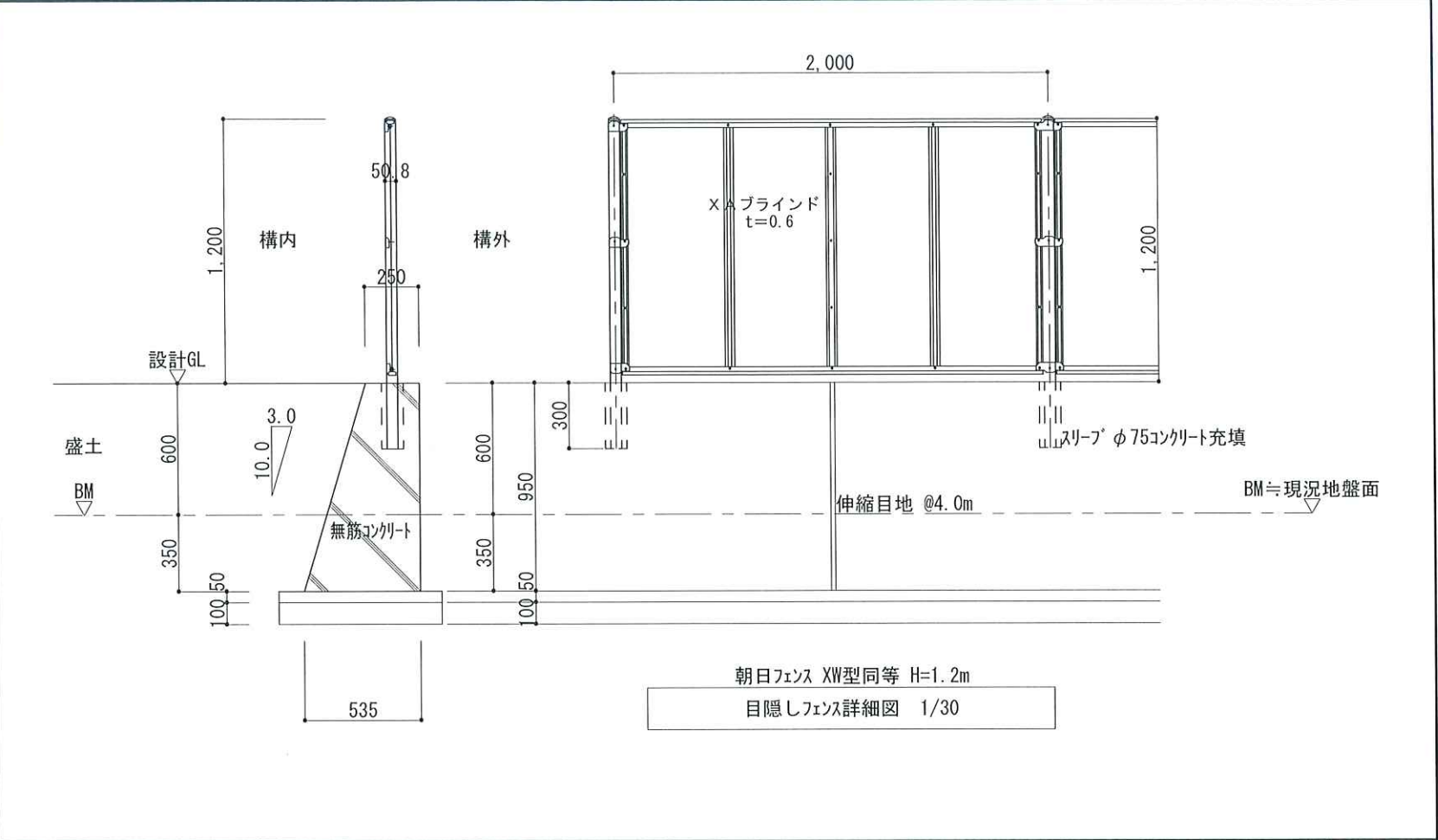
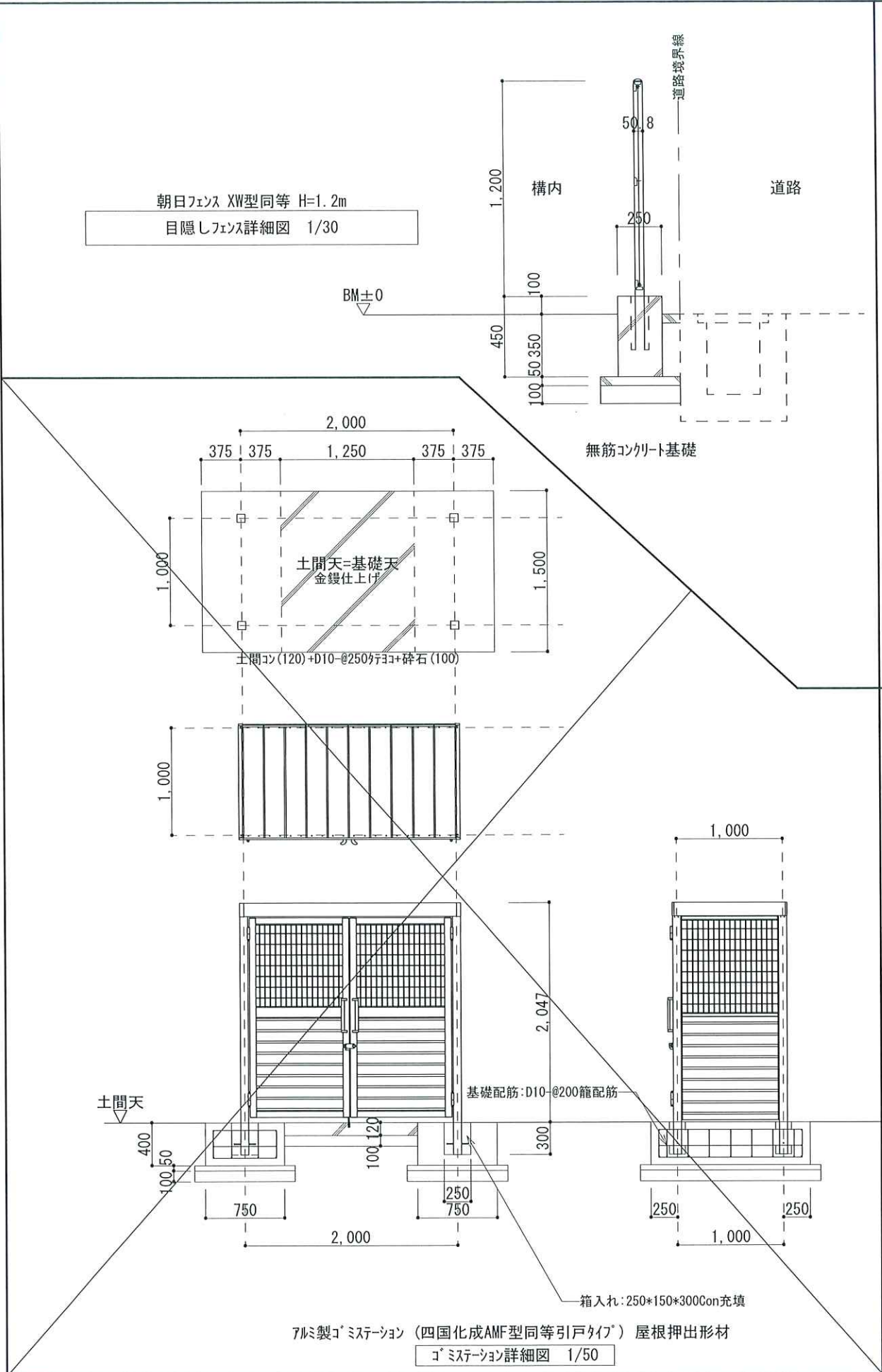
小屋伏図 1/100

共通事項	
水平構面仕様	
2階床	構造用合板(28.0)直張 釘N75@150以下(梁間隔1.0m以下)
屋根野地板	構造用合板(12.0) 垂木:45*60@303 釘N50-@150以下
垂木の釘打	垂木の側面から軒桁、母屋の上面に対しN75釘2本斜め打ち
火打梁	Zマーク鋼製火打、又は木製火打(90*90)間長750
特記のない梁	特記のない短スパン梁は(105*105)とする。
◎	通し柱:杉(105*105) KD材
⊠	管 柱:杉(105*105) KD材
アンカーボルト	Zマーク L型アンカーボルト M12 L=400以上 ナット座金共
引張アンカーボルト	Zマーク J型アンカーボルト M16 L=600以上 ナット座金共

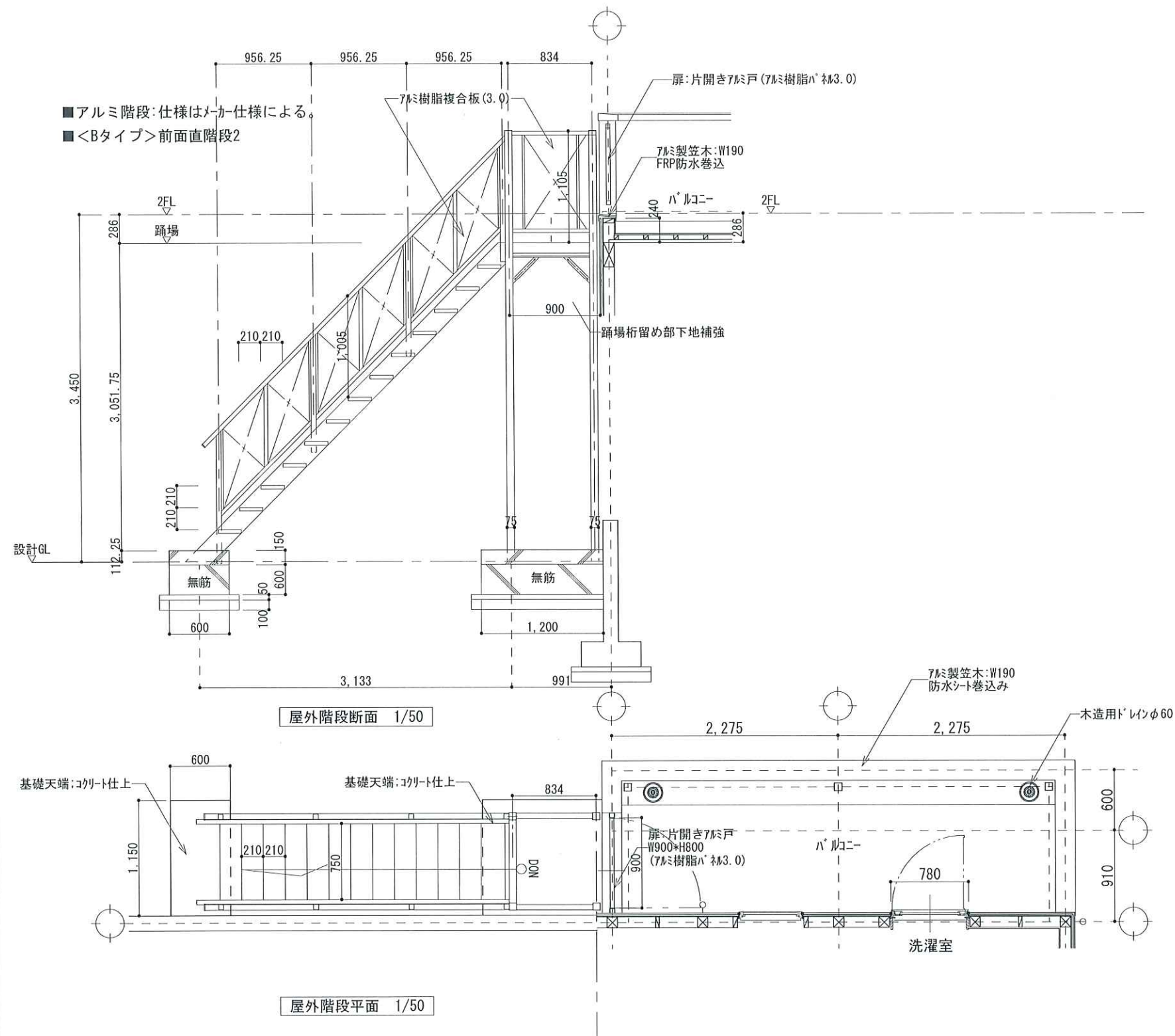


部材リスト	
部位	仕 様
土台	桧105*105 無等級 防腐・防蟻処理材
特記無き柱	杉105*105 無等級 SD20
通し柱	桧105*105 無等級 SD20 (ヒソ工法)
C2	木質繊維集成材 E95-F315 同一等級構成
2階梁、小屋組材	米松(寸法は図示) 無等級 SD20
母屋	米松105*105 無等級 SD20
小屋束	杉105*105 無等級 SD20
棟木	米松105*105 無等級 SD20
垂木	米松45*60 無等級 SD20
上スジカ	杉45*90スジ掛 無等級 SD20 (令46条倍率2.0)
スジ掛スジカ	杉45*90スジ掛 無等級 SD20 (令46条倍率4.0)
Pa2.5	構造用パネティカルボード 9.0(告示1100号) 釘N50 外周@150, 中通@200 直張仕様(倍率2.5)
Pb0.9	石膏ボード 12.5(JISA6901-1983) 片面張(告示1100号) 釘GN40 外周@150, 中通@200 直張仕様(倍率0.9)
Pb1.8	石膏ボード 12.5(JISA6901-1983) 両面張(告示1100号) 釘GN40 外周@150, 中通@200 直張仕様(倍率0.9*2=1.9)
Pb3.8	$\frac{Pb1.8}{(2.0)} + \frac{スジカ}{(2.0)} = (3.8)$
非Pa	非耐力壁、構造用パネティカルボード 9.0 釘N50-@200
非Pb	非耐力壁、石膏ボード 12.5 釘N50-@200

柱頭柱脚接合金物	
(い)	かすがい同等以上
(ろ)	スモルコーナー(タカ)同等
(は)	リトルコーナー(タカ)同等
(に)	Z羽子板ボルト同等以上
(に)(ほ)(へ)	シコーナー(タカ)同等 10KN
(と)	S-HD 15kN同等以上、オメガコーナー15KN(タカ)同等
(ち)	S-HD 20kN同等以上、オメガコーナー20KN(タカ)同等
(り)	S-HD 25kN同等以上



件名	ケルブホーム リニューアル 新築工事	木下建築設計事務所	
図種	外構工事詳細図-2	小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626	
SCALE	年度 R6	Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp	A-38
		1級建築士登録135647 木下博義	

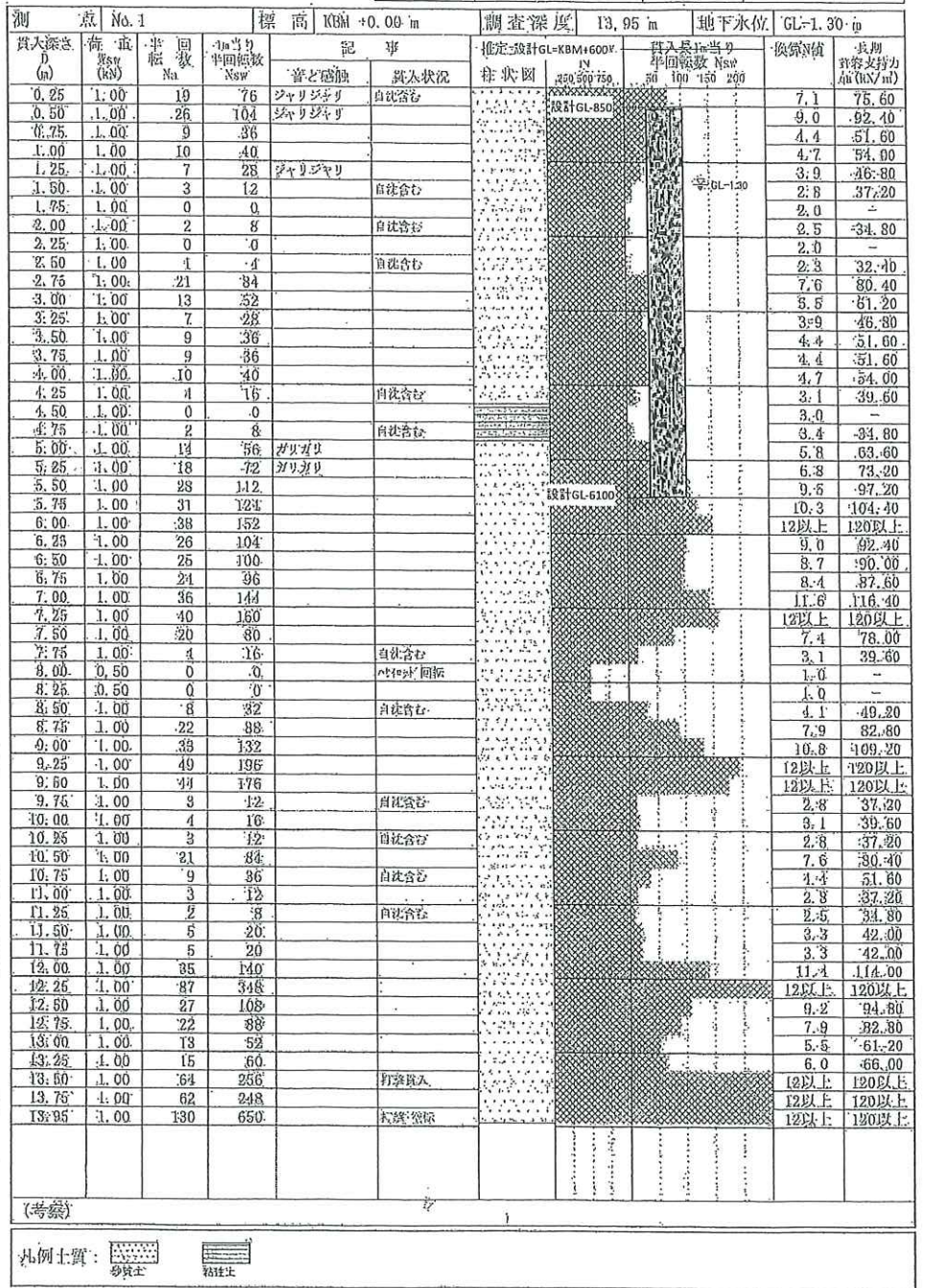


	件名	グループホーム ユニ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義		
	図種	その他の詳細図					A-39
	SCALE	1/50	年 度	R6			

構造設計条件及び躯体工事 特記仕様

項目	特記事項										項目	特記事項																	
1. 構造概要	規模	階数		構造種別						備考	1. 一般事項	○ この特記仕様書は、本建物における躯体工事の特記仕様を明記したものであり、最優先する。																	
		地上	2 階	・ RC	・ S	・ SRC	○ W	本建在来工法						○ 本設計図書に明記なき仕様については、公共建築協会 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（以下標準仕様書と言う）の平成25年度版による。															
		地下	階	・ S								・ SRC	・ W	○ 本設計図書及び標準仕様書に不明及び疑義が生じた場合は、監理者と協議の上決定のこと。															
		塔屋	階	・ S								・ SRC	・ W	○ 各工事の施工計画書（要領書）は事前に提出し、監理者の承諾を得ること。															
		増築予定		・ 有						・ 無																			
2. 地盤状況	柱状図	【土質柱状図】を参照										2. 地業工事	直接基礎																
3. 設計荷重	床用	屋根		2 階床			1 階床			(N/m2) 備考	形式	基礎底面 (m)	地耐力 (kN/m ²)	備考															
		固定	積載	設計	固定	積載	設計	固定	積載						設計														
		1172	0	1172	950	1800	2750	550	1800						2350														
		柱・梁・基礎用	1172	0	1172	950	1300	2250	550						1300	1850													
	地震用	1172	0	1172	950	600	1550	550	600	1150																			
	積雪荷重	垂直積雪量:20cm 単位荷重:20(N/cm/m2)																											
4. その他	鉄筋の材質	JIS規格 (JIS G3112) に適合するもの										砂利地業																	
		コンクリートの品質 JIS規格 (JIS A5308) に適合するもの											種別	設計基準強度 (N/mm ²)	所要スランブ (cm)	備考													
		(参考図書例: JASS5「6節 発注・製造及び受け入れ」等)																											
		化学混和剤 JIS規格 (JIS A6204) [コンクリート用化学混和剤]による																											
	砂利及び砂	JIS規格 (JIS A5308) 付属書I (規定) [レディーミクストコンクリート用骨材]による										砕石					基礎下	5	再生品使用可										
	砕石及び砕砂	JIS規格 (JIS A5005) [コンクリート用砕石及び砕砂]による											土間下	10	"														
	圧縮強度試験	(参考図書例: JASS5「調合」「構造コンクリート強度の検査」等)																											
	型枠の設置期間及び養生期間	(参考図書例: JASS5「型枠の検査」「不具合とその処理方法の例」「打継ぎ」「養生」等)																											
せき板の最小存置期間												3. コンクリート工事				コンクリート	種別	使用箇所	設計基準強度 (N/mm ²)	所要スランブ (cm)	水セメント比 (%)	備考							
施工箇所																													
基礎、梁側、柱、壁																													
セメントの種類																													
早強ポルトランドセメント																													
普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種																													
高炉セメントB種																													
15℃以上												2						3						5					
5℃以上												3						5						7					
0℃以上												5						8						10					
コンクリートの圧縮強度による場合												圧縮強度が5N/mm ² 以上となるまで。																	
支柱の最小存置期間												4. 鉄筋工事	材料	使用箇所	材質	径	継手	備考											
施工箇所																													
スラブ下																													
梁下																													
セメントの種類																													
早強ポルトランドセメント																													
普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種																													
高炉セメントB種																													
15℃以上												8						17						28					
5℃以上												12						25						28					
0℃以上												15						28											
コンクリートの圧縮強度による場合												圧縮強度が設計基準強度 (F _c) の85%以上又は12N/mm ² 以上あり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。																	

■スクローウェイト貫入試験結果



木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (1)

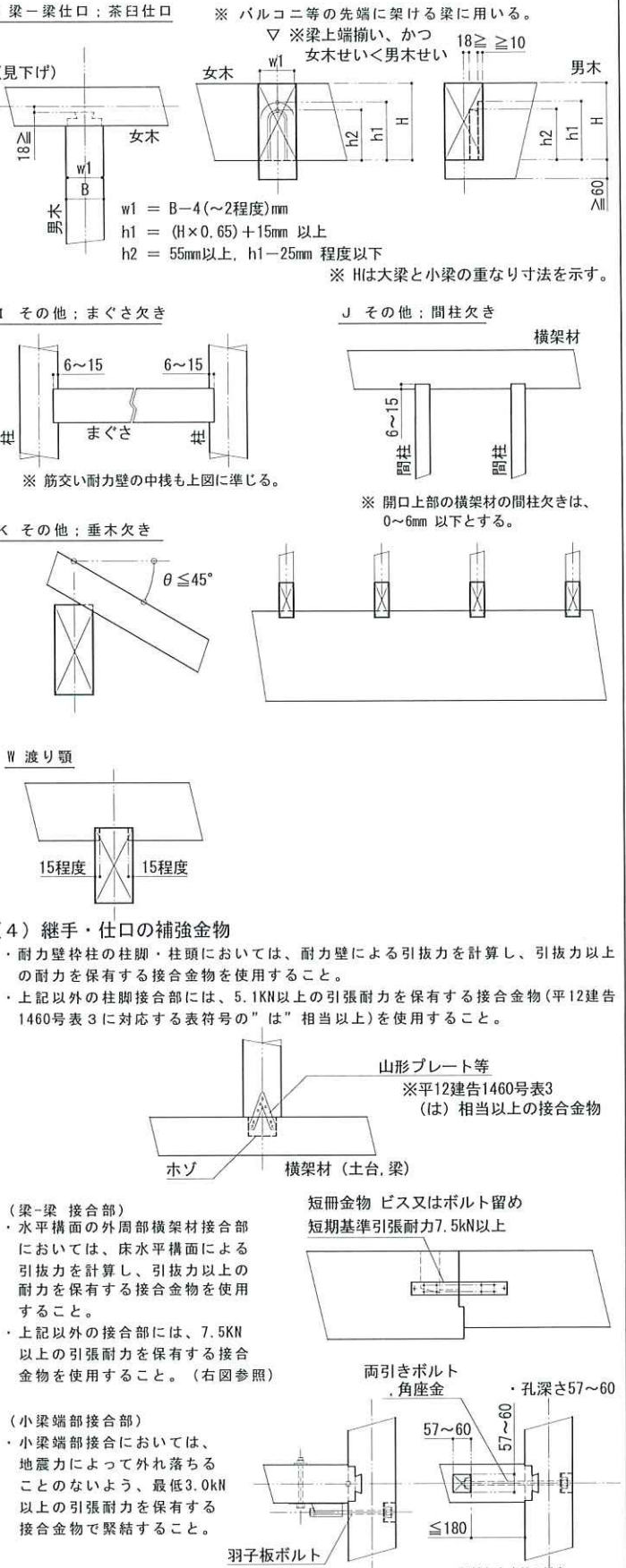
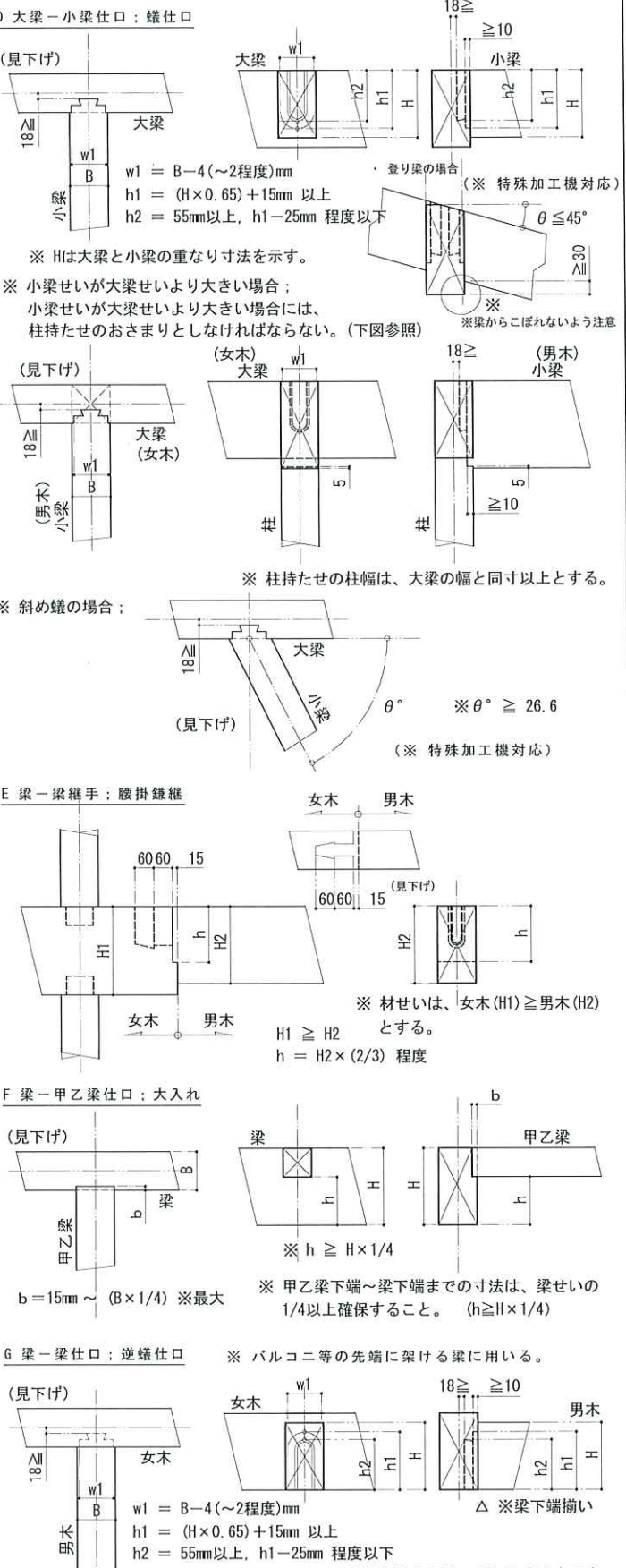
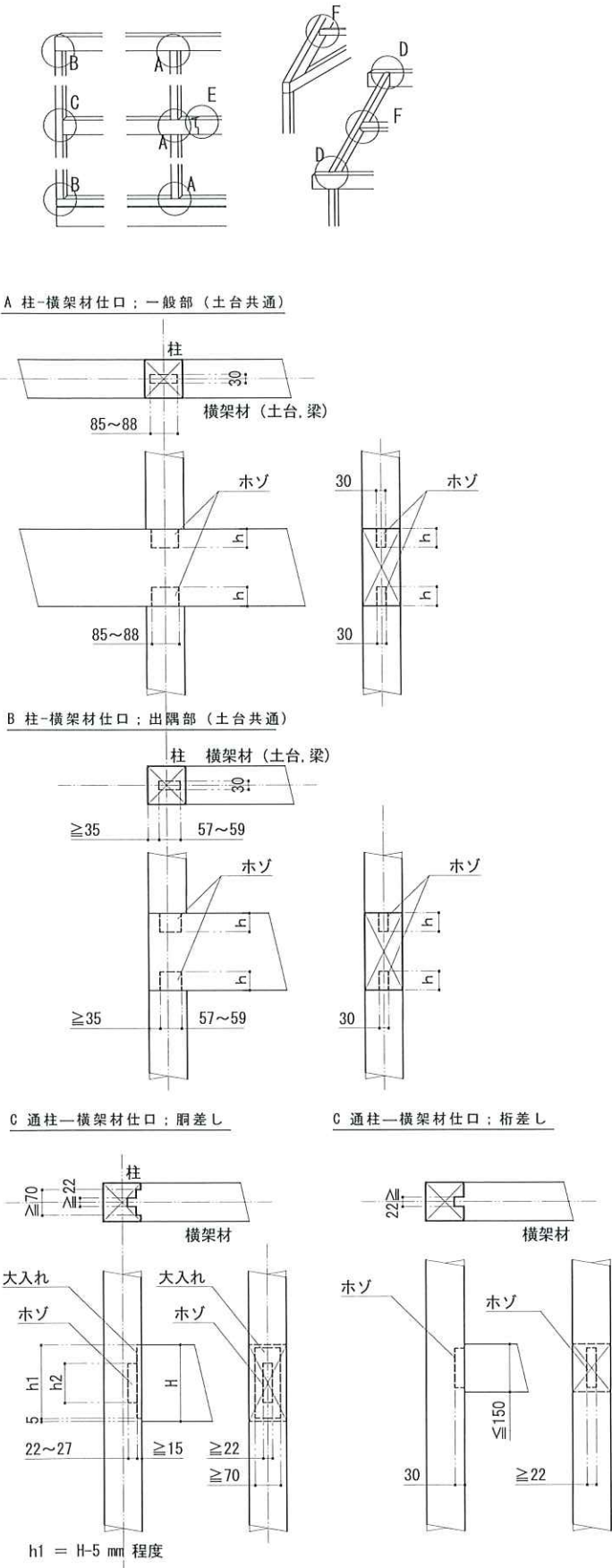
1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般
(1) 適用範囲 ※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。 (2) 設計図書 設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。 (3) 準拠する図書 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。） 「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修） 「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修） 「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修） 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」（日本住宅・木材技術センター） 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版） 上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。 (4) 設計図書の優先順位 設計図書の優先順位は下記による。 1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 2. 設計図 3. 特記仕様書 4. 本標準図 (5) 疑義 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。 (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。 (7) 施工図及びプレカット図の提出 工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。 (8) 製作工場の選定、承諾 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける (9) 各種試験・検査報告書の提出 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。 (10) 接合工法 本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。 ・継手仕口による在来工法 ・梁受け金物、及びホソパイプ等による金物工法 なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。 また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。 本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。 (11) 加工部材に関する留意事項 本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。 ・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同等～450mm、及び材長6m以下 ・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下 これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。	(1) 木材及び木質材料 主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。 (2) 接合具 a)くぎ 主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。 b)木質構造用ビス 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。 使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。 c)ボルト・ナット・座金 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。 ・ボルトはJIS B 1051、ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット 【 Z マーク表示金物 】 【 D マーク表示金物 】 【 S マーク表示金物 】 ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット 2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。 ※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。 d)ドリフトピン・ラグスクリュー 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。 e)木栓・木ダボ 主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。 樹種・径等については、特記仕様書で指定する。 節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。 (3) 接合金物 a)規格金物 構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。 ・JIS A 5531：木構造用金物 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物： Z マーク表示金物、又は C マーク表示金物 ・同等認定金物；D マーク表示金物 ・性能認定金物；S マーク表示金物 上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。 使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。 b)製作金物 製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。 (4) 接着剤 原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。 建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。 (5) 防腐防蟻処理及び耐候処理 防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。 土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。 適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。	※共通事項 ・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。 (1) 土台固定用アンカーボルト a).アンカーボルトの埋設位置：アンカーボルトの埋設位置は以下による。 -1.耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部： 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。 ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 -2.土台切れの端部及び、土台の継手仕口： 土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。 当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。 ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 仕口の場合 ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 土台切れの場合（柱勝ち収まり等） ※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。 -3.その他： 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。 (2) 引張金物専用アンカーボルト a).引張金物専用アンカーボルトの径 引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。 b).引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ 引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。	(1) 釘接合 ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。 ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。 ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。 (2) 木質構造用ビス接合 ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。： 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。 (3) ボルト接合 ・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。 ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。 ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。 (4) ラグスクリュー接合 ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。 ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。： 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。 ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。 ・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。 ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、锻造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。 ・呼び径 M12以下；+1.0mm ・呼び径 M16以上；+1.5mm (5) ドリフトピン接合 ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。 (6) 木栓接合 ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。 ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。 (7) グルードインロッド接合 ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等挿入して樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。 ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

記		年度	工事 名称	ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｵｰﾑｽﾚｲﾄﾞ B 新築工事					課 長	副課長	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾏｰｸﾞｰﾝ	担 当			年 月	07.3	図面 番号	A - 41
			図面 名称	木造軸組接合部標準図（ 1 ）					縮 尺	—								
事		R7																

木下建築設計事務所
香川県小豆郡土庄町測崎甲2563-5
1級建築士（大臣）登録第135647号 木下博義

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (2)

5. 軸組標準接合部



木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (3)

6. 面材耐力壁

(注) (单位)mm

6.1 共通事項

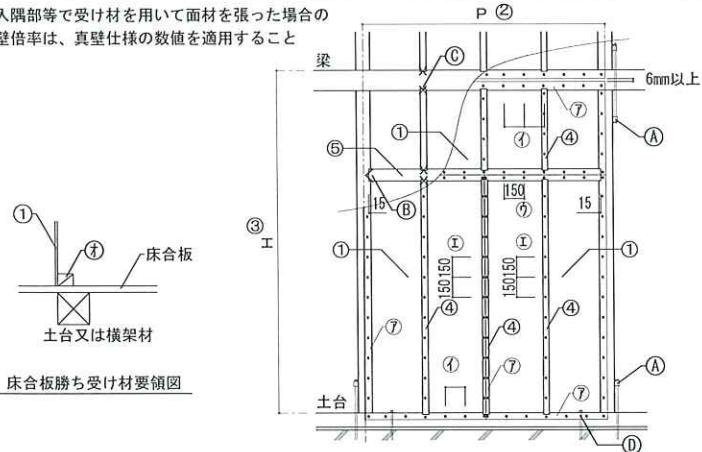
- ・各部仕口形状は、（３）高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図（２）５．軸組標準接合部に準ずる。
- ・面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、面材厚の10%未満かつ1mmを限度とする。左記を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
- ・耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐力力を持つスプーサー材を挿入し隙間を埋めること。
- ・柱の有効細長比（断面の最小二次率半径に対する座屈長さとの比）は、150以下とすること。

6.2 面材耐力壁の仕様

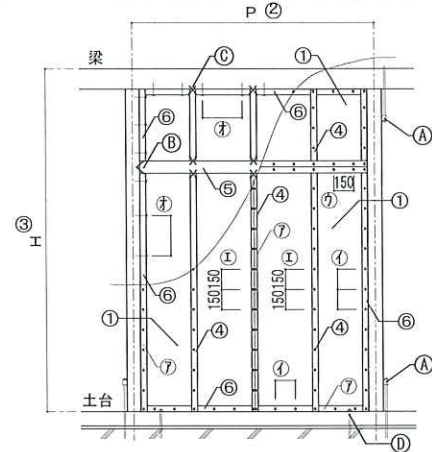
(1) 昭56建告1100号に準じた耐力壁 面材種類：構造用パーティクルボード、構造用MDF、構造用合板、構造用パネル（OSB）

a. 面材張り大壁仕様耐力壁

※ 入隅部等で受け材を用いて面材を張った場合の壁倍率は、真壁仕様の数値を適用すること



b. 受け材付き真壁仕様耐力壁



a-1. 高倍率仕様大壁耐力壁 壁倍率：4.3または3.7

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上	・・・4.3 倍 ・・・3.7 倍
② 柱間隔	600mm ≤ P ≤ 2000mm	
③ 高さ	H ≤ 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中棧	幅90mm以上	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ 各階の柱頭柱脚部	ボム差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
⑥ 中棧端部	まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
⑦ 間柱端部	間柱欠きに6→15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
⑩ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト： M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に1本ずつ設ける	

b-1. 高倍率仕様真壁耐力壁 壁倍率：4.0または3.3

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上	・・・4.0 倍 ・・・3.3 倍
② 柱間隔	600mm ≤ P ≤ 2000mm	
③ 高さ	H ≤ 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中横	幅90mm以上	⑥ 受け材 幅45mm以上
2) 各部仕口形状及び性能		
① 各階の柱頭柱脚部	ボソ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
② 中横端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち	
③ 間柱端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち	
④ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト： M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に1本ずつ設ける	

3) 面材の釘打ち方法 ※ 構造用合板には、CN釘を用いること

⑦ 面材の釘打ち	面材の4周を釘打ちする。 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。	
	柱及びはりに対するかかり寸法	22.5mm以上
	面材に対するへり空き	10mm以上
	柱はりのへり空き	12.5mm以上

① 横架材・柱	構造用合板：CN50×75mm以下，左記以外の面材：N50×75mm以下
② 中棧	構造用合板：CN50×150mm以下，左記以外の面材：N50×150mm以下
③ 間柱	構造用合板：CN50×150mm以下，左記以外の面材：N50×150mm以下
	受け材 45×60以上

⑦ 受付材			
-------	--	--	--

※ 床合板勝ち仕様の 場合	受け材と柱梁 釘N90@120mm以下 (両面張りの場合は、@60mm以下) ※ 枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)
------------------	---

a-2. 標準仕様大壁耐力壁 壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・ ・ ・ 2.5 倍 ・ ・ ・ 2.5 倍
② ③ ④ ⑤	a-1. (高倍率仕様)に同じ	
2) 各部仕口形状及び性能		
⑧ ⑨ ⑩ ⑪	a-1. (高倍率仕様)に同じ	
3) 面材の釘打ち方法		
⑦ 面材の釘打ち	a-1. (高倍率仕様)に同じ	
④ 横架材・柱	N50@150mm以下	
⑦ 中横	N50@150mm以下	
⑩ 間柱	N50@150mm以下	

⑦ 受け材	受け材	45×60以上

※ 床合板勝ち仕様 の場合	受け材と柱梁	釘N90@200mm以下 (両面張りの場合は、@100mm以下)
------------------	--------	----------------------------------

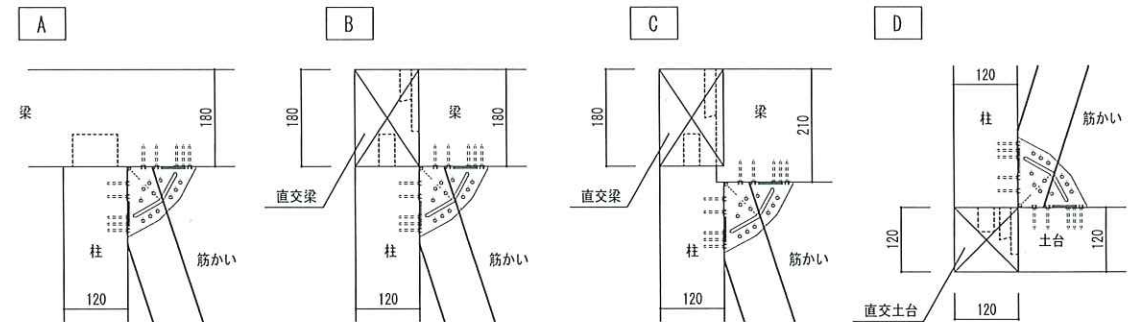
木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (3 A)

6 A. 施行令46条に基づく45×90以上の筋かい端部納まり図

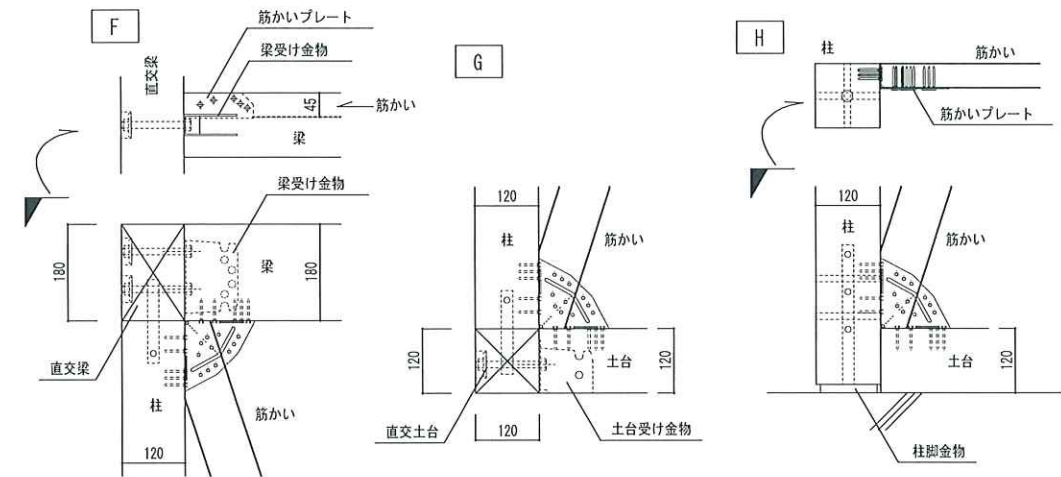
共通事項

- ・ 筋かいたプレートは、柱梁ビスどめタイプを標準とする。
- ・ 筋かいたプレートを取付けタイプのひとする場合は柱頭のホゾに作用するせん断力に対する検討を行うこと。
ただし、端部及び出隅部の柱が寄せホゾにない場合は柱梁ビスどめタイプを使用すること。
- ・ 筋かいたプレートの取付金物のへりあきが不満足又は、金物工法の金物にビスが干渉する場合は、そのビスを無効とし、所定のビス本数に満たないときは取付け筋かいたプレートを追加する等の補強をすること。
- ・ 梁柱口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図（２）を参照すること。

標準納まり図（在来工法）



標準納まり図（金物工法）



b-2. 標準仕様真壁耐力壁 壁倍率：2.5

① 面材および 壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・ ・ ・ 2.5 倍 ・ ・ ・ 2.5 倍
② ③ ④ ⑤ ⑥	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
2) 各部仕口形状及び性能		
⑧ ⑨ ⑩ ⑪	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
3) 面材の釘打ち方法		
⑦ 面材の釘打ち	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
④ 外周受材	N50@150mm以下	
⑦ 中棧	N50@150mm以下	
⑩ 間柱	N50@150mm以下	

⑦ 受け材	受け材	45×60以上
	受け材と土壌	鉄釘@200mm以下 (両面張りの場合は @120mm以下)

受け材と柱梁	釘N90@300mm以下（両面張りの場合は、@120mm以下）
※床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-2.に準ずる	

6.3 その他の耐力壁

- ・木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様に準拠することとする。
- ・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (4)

7. 水平構面

(注) (単位)mm

7.1共通事項

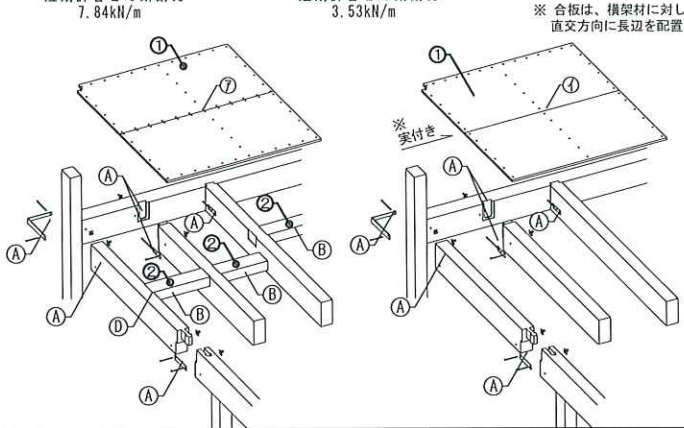
- ・各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- ・木造軸組み工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様で準拠することとする。

7.2水平構面の仕様

(1) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

(a) 日の字釘打ち
短期許容せん断耐力
7.84kN/m

(b) 川の字釘打ち
短期許容せん断耐力
3.53kN/m



1) 各部材料および寸法

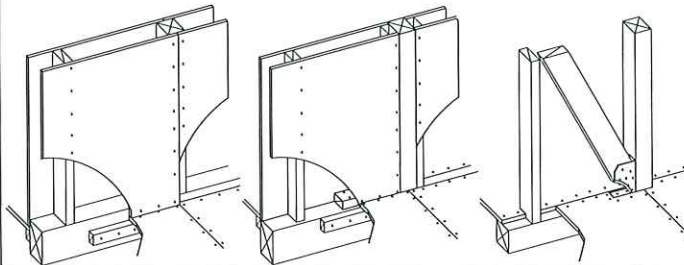
- ① 面材：構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
 - ② 甲乙梁：幅 45mm 以上 $\times$ せい 45mm 以上・梁及び甲乙梁の間隔 1000mm 以下
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ④ 各仕口部分：
水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
 - ⑤ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - ⑥ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - ⑦ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@ 150mm 日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
 - ⑧ 構造用合板はN75@ 150mm 川の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
※ 構造用合板は、実付きとする。

注意事項：構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする
 2mm を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
川の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、
握み等に注意する事

告示耐力壁-床納まり
大壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)

真壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)

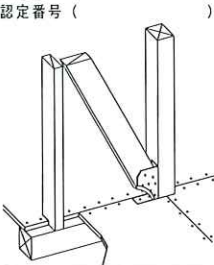
筋違耐力壁-床構面
(筋違勝)



認定仕様例示) 日合連 (JPNMA) 仕様耐力壁-床勝納まり
大壁合板耐力壁-床構
認定番号: FRW-0296

真壁合板耐力壁-床構
認定番号: FRW-0298

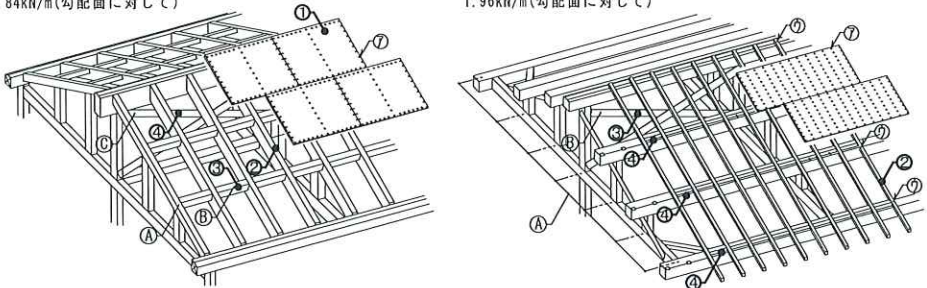
筋違金物による床勝納まり
筋違耐力壁-床構面
(床勝:大臣認定仕様)



(2) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

(a) 登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
7.84kN/m(勾配面に対して)

(b) 垂木-合板
短期許容せん断耐力
1.96kN/m(勾配面に対して)



1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
- ② 登梁：幅 105mm 以上 $\times$ せい 105mm 以上 間隔 1000mm 以下
- ③ 甲乙梁：幅 45mm 以上 $\times$ せい 45mm 以上 間隔 1000mm 以下
- ④ 小屋耐力壁： 15mm 以上 $\times$ 90mm 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)

2) 各部仕口形状及び性能

- ④ 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- ⑤ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ⑥ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

3) 各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN75@ 150mm で日の字に垂木に留め付ける

注意事項：構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする

1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板 $t=9\text{mm} \sim 15\text{mm}$ (横置)
- ② 垂木：幅 45mm 以上 $\times$ せい $45\text{mm} \sim 90\text{mm}$ @ 500mm 以下
- ③ 小屋耐力壁： 15mm 以上 $\times$ 90mm 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- ④ 転び止め： $45\text{mm} \times 60\text{mm}$ 程度

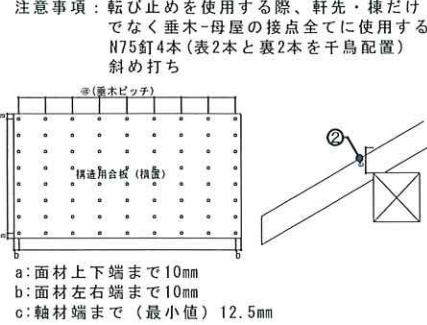
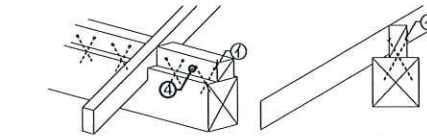
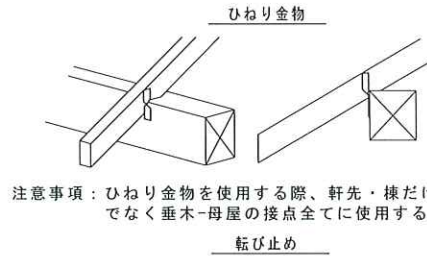
2) 各部仕口形状及び性能

- ④ 母屋ピッチ: 1000mm 以下
- ⑤ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

3) 各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN50@ 150mm で川の字に垂木に留め付ける
- ⑧ 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- ⑨ 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

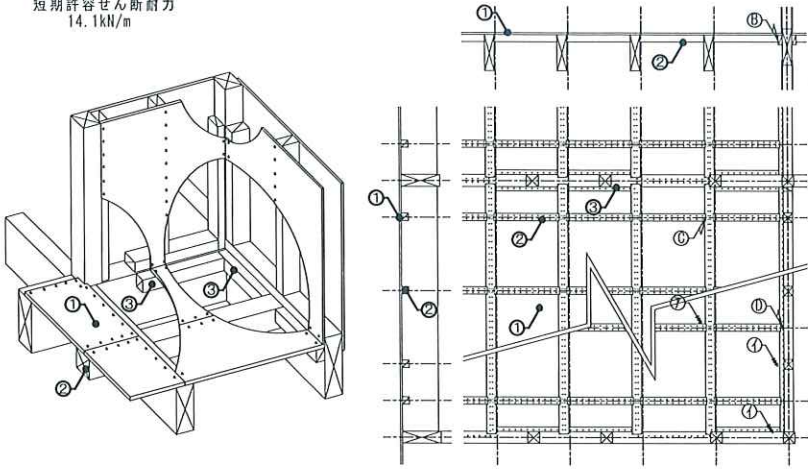
注意事項：構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする



a: 面材上下端まで 10mm
b: 面材左右端まで 10mm
c: 軸材端まで(最小値) 12.5mm

7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

(1) 2階床水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
14.1kN/m



1) 各部材料

- ① 面材：構造用合板 $t=24\text{mm}$ 又は 28mm 横架材に直張り
 - ② 甲乙梁: $90\text{mm} \times 90\text{mm}$ の正角材又は幅 $75\text{mm} \times$ 成 120mm 製材を平使い
 - ③ 大梁側面に取り付ける床受材: 幅 $55\text{mm} \sim 75\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ④ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - ⑤ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - ⑥ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
 - ⑦ 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ $15\text{mm} \times$ 成 60mm 切り欠き甲乙梁は成 60mm 分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@ 75mm 日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
 - ⑧ 大梁側面へ取り付け床受材は木質構造用ビス $\phi 6, \text{L}130 \sim 150$ を 150mm ピッチの二列打ちとして留め付ける

(2) 屋根水平構面の条件及び仕様

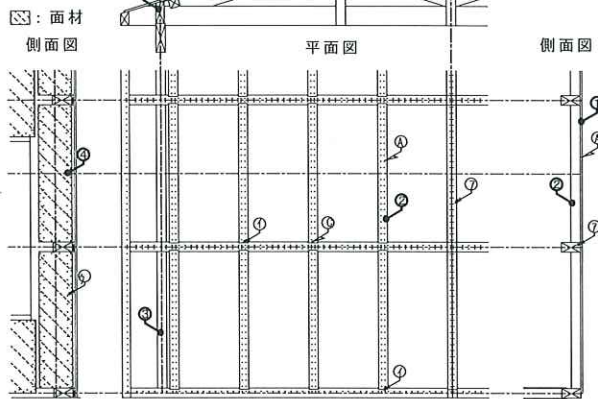
短期許容せん断耐力
13.5kN/m (合板釘ピッチ 75mm)
19.1kN/m (合板釘ピッチ 50mm)

面材
側面図

立面図

平面図

側面図



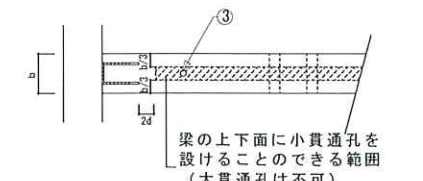
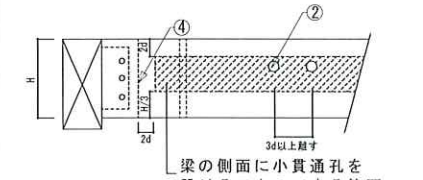
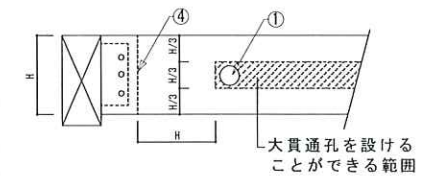
1) 各部材料

- ① 面材：構造用合板 $t=24\text{mm}$ 登梁及び母屋に直張り
 - ② 母屋: 幅 $120\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
多雪区域(3級及び4級)の場合は幅 $120\text{mm} \times$ 成 150mm の製材
 - ③ 軒先転び止め: 幅 $105\text{mm} \times$ 成 300mm の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く
 - ④ 軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板: $t=12\text{mm}$
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ④ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
 - ⑤ 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
 - ⑥ 母屋端部は登梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 13.5kN/m仕様: 構造用合板はN75@ 75mm 4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
 - ⑧ 19.1kN/m仕様: 構造用合板はN75@ 50mm 4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
 - ⑨ 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス $\phi 5, \text{L}150$ (頭部径 $\phi 12.5$ 以上ねじ部長さ 50 以上)1本を斜め打ちとする
 - ⑩ 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、N50くぎを 50mm ピッチの千鳥打ちとして留め付ける

8. 貫通孔

8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

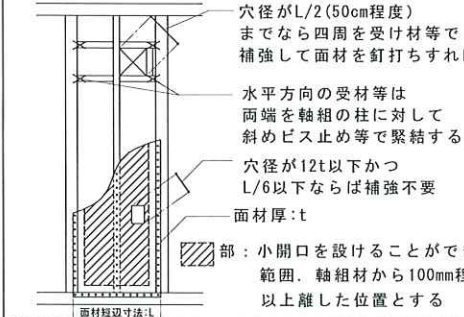
- ① 大貫通孔: $d \leq H/4$ かつ 150mm
- ② 小貫通孔: $d \leq 30\text{mm}$ (隣り合う孔は $3d$ 以上離す)
- ③ 縦小貫通孔: $d \leq b/6$ かつ 30mm
- ④ 接合金物用切り欠きライン



8.2 耐力壁貫通孔

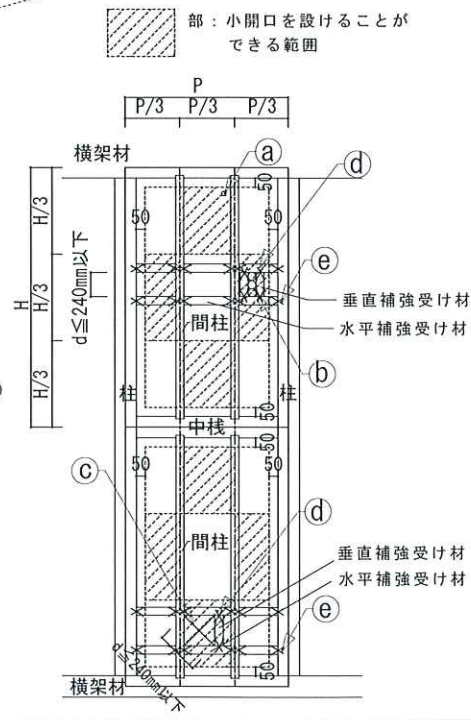
(1) 小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)※壁倍率7倍までの孔開けルール

剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方



(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁 (JISA3301標準仕様)※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール (JISA3301仕様)

- a) 貫通孔基準
- ⑧ 小貫通孔 ($d \leq 30\text{mm}$)
1区画につき1か所までなら補強不要
 - ⑨ 小貫通孔 $\times 3$ (外接円の径 $d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
 - ⑩ 大貫通孔 ($d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- b) 釘打ち及び断面
- ⑪ 合板から補強受材へN50@ 90mm で釘打ち
補強受材は間柱と同寸以上の断面
 - ⑫ 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め



木下建築設計事務所

香川県小豆郡土庄町湊崎甲2563-5
1級建築士(大臣)登録第135647号 木下博義

年度

R7

工事
名称

グ・ル・フ・ホームレイ B 新築工事

図面
名称

木造軸組接合部標準図(4)

縮
尺

—

課長

副課長

グループリーダー

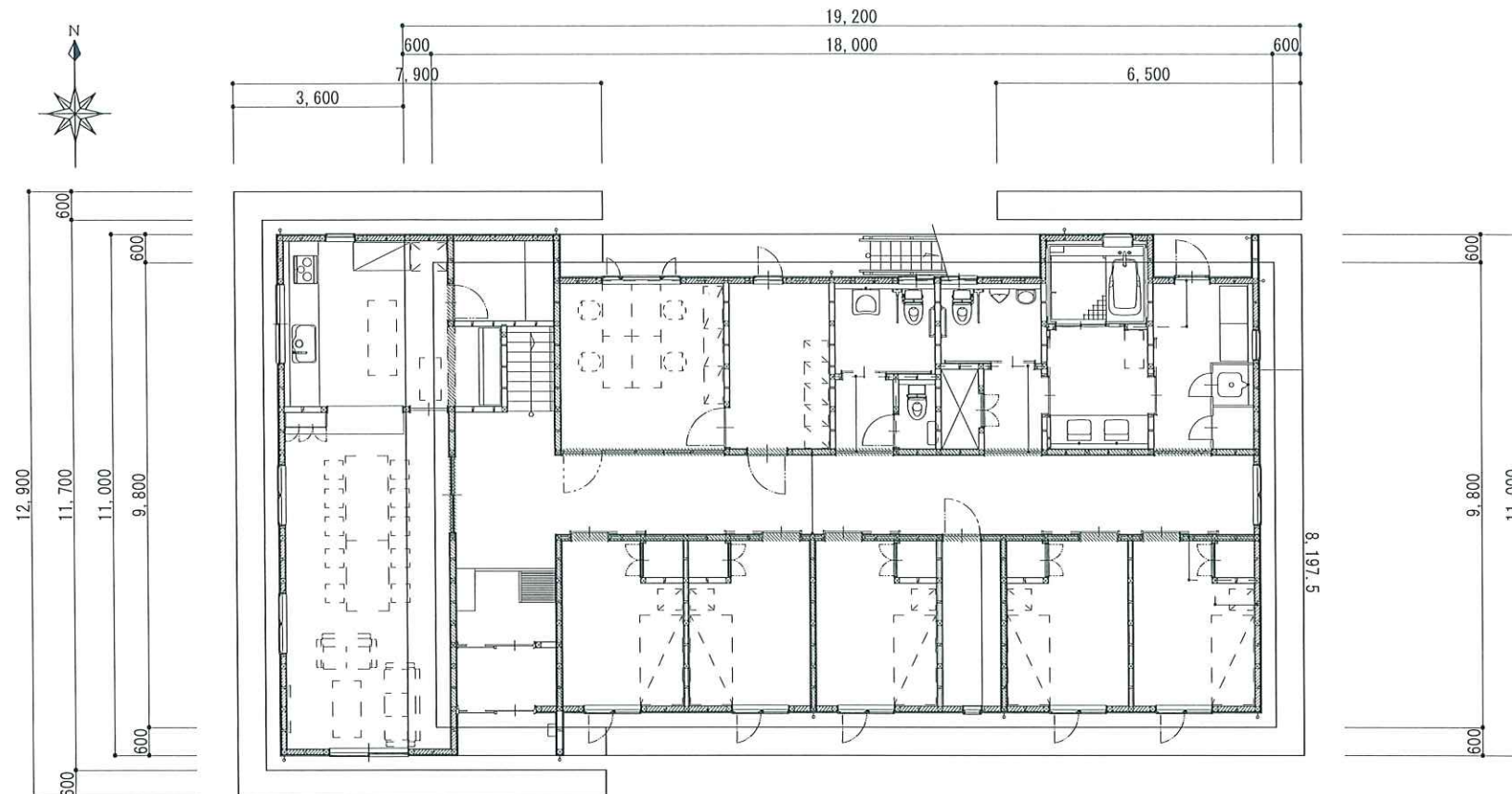
担当

年
月

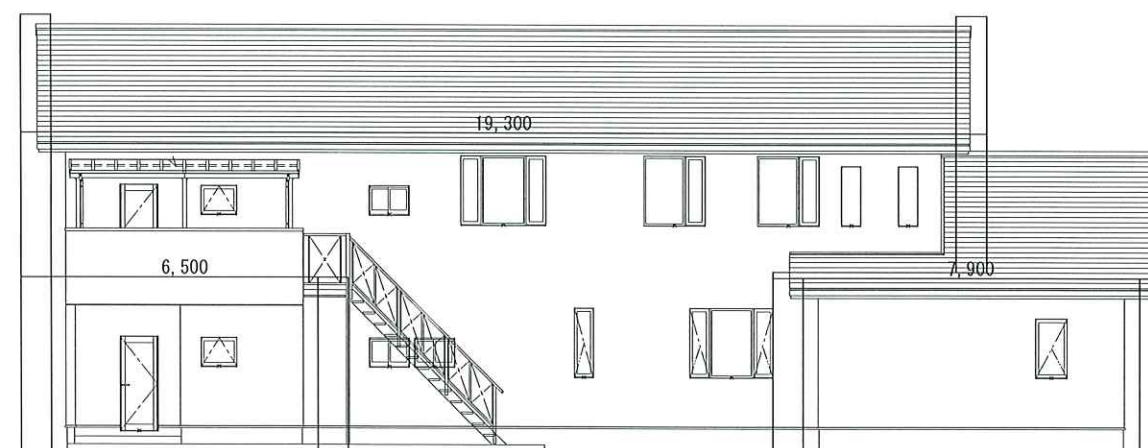
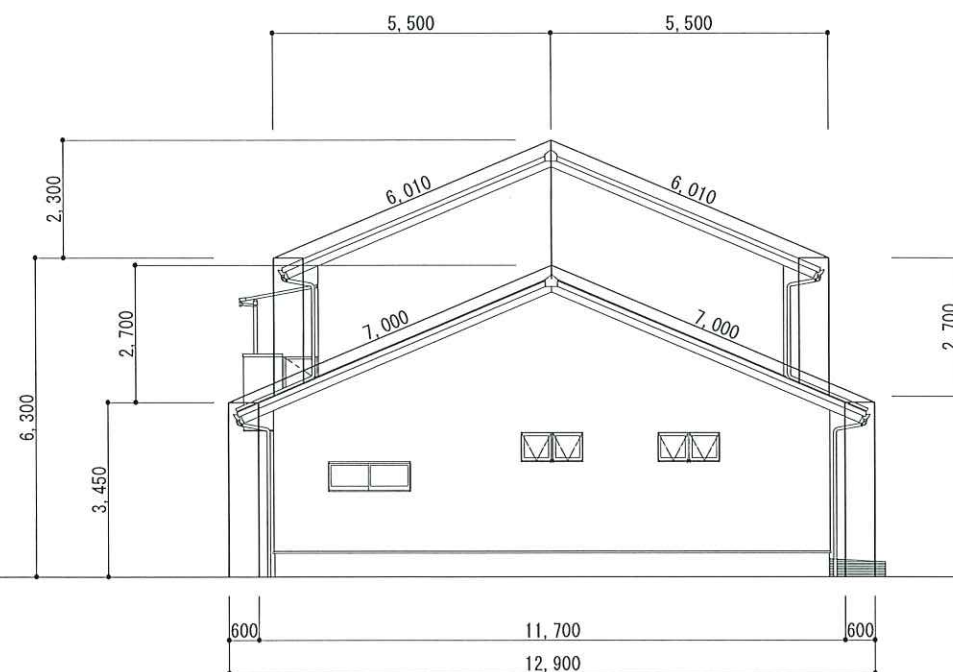
07.3

図面
番号

A - 45



外部足場数量 m2			
西 外部足場	12.9	3.45	44.505
	6.45	2.7	17.415
	5.5	2.7	14.850
	5.5	2.7	14.850
計			91.620
東 外部足場	11.0	6.3	69.300
	5.5	2.3	12.650
	8.2	0.6	4.920
計			86.870
垂直養生			86.870
南 外部足場	18.0	6.3	113.400
	4.2	3.45	14.490
	15.3	0.6	9.180
			137.070
北 外部足場	18.0	6.3	113.400
	4.2	3.45	14.490
計			127.890
外部足場			443.450
垂直養生			86.870
安全手摺			98.90 m



電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書		分電盤の分岐用予備回路及び予備入線回路に予備配管（D22）を1本天井内まで立上げし止めとする。		変圧器		照明電機		電気配管		配管材料		日立新製所	
工 事 名 称		6) 配線器具		イ、一般用配線器具は四角形遠達用型とし、樹脂製モダンプレートを取り付ける事。 ロ、3連以上の点滅スイッチは付くとする。 ハ、平行刃型コンセント（2P15A）以外のコンセントは付く付とする。		一連用コンセント		照明電機		照明電機		照明電機	
工 事 場 所		7) 分電盤、配電盤		特記なき限り埋込型とする。		放送機器		照明電機		照明電機		照明電機	
建 築 概 要		8) 端子盤		特記なき限り埋込型、端子付きとする。		レイト共聴機器		照明電機		照明電機		照明電機	
2 階建て		9) 防災感知器		確認灯付きとする。		レイト共聴機器		照明電機		照明電機		照明電機	
		10) 地中配管埋設深度		車両その他重量物の圧力の受けるおそれがある場所に於いては600以上とし、その他の場所は300以上とする。		レイト共聴機器		照明電機		照明電機		照明電機	

註）本仕様書のうち選択する事項は ○ 印のついたものを適用する。

工 事 種 目	
●	高圧受変電設備
◎	幹線動力設備
◎	動力設備
◎	電灯コソント設備
◎	電話配管設備
◎	ケーブル設備
●	放送設備
●	演出設備
◎	テレビ・共聴設備
◎	防災照明設備
●	非常放送設備
◎	自動火災報知設備
●	ガス漏警報設備
●	避雷針設備
●	自家発電設備
◎	弱電設備
●	

1 1) ハンド・ホム	● コンクリート既製品（「プロテクト」ホム） ● 現場打コンクリート製 （注）配管接続部分へ「マナ」を使用する。																																																																
1 2) 土工事	覆土し土 ● 根切土 ● 購入土 残土処分 ● 構内処分 ● 構外搬出処分																																																																
1 3) コンクリート工事	現場打ちのコンクリートはF ₀ =180kg/cm ² 、スラン ² 18cmとする （但し、地中埋設部分は除く）																																																																
1 4) スリ・補強筋	● 本工事 ● 建築工事																																																																
1 5) 機器標準取付高さ	<table><tr><td rowspan="10">電 灯 コ ン セ ン ト</td><td>名称</td><td>測点</td><td>取付高さ</td><td rowspan="5">幹 線 動 力</td><td>名称</td><td>測点</td><td>取付高さ</td></tr><tr><td>点滅器</td><td>床土～中心</td><td>1300</td><td>電力量計</td><td>GL～窓中心</td><td>1800</td></tr><tr><td>コネクタ（一般）</td><td>〃</td><td>300</td><td>分電盤</td><td>天井～上端</td><td>2000</td></tr><tr><td>〃（和室）</td><td>〃</td><td>150</td><td>手元開閉器</td><td>〃</td><td>1500</td></tr><tr><td>〃（台土）</td><td>台土～中心</td><td>100～150</td><td>操作スイッチ</td><td>〃</td><td>1300</td></tr><tr><td>〃（土間）</td><td>床土～中心</td><td>800</td><td rowspan="5">電 話 ・ V 等</td><td>保安器</td><td>GL～中心</td><td>1800</td></tr><tr><td>ブランチ（一般）</td><td>〃</td><td>2000～2300</td><td>端子盤</td><td>床土～下端</td><td>150</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>壁付受口</td><td>床土～中心</td><td>300</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>壁付受口</td><td>〃</td><td>150</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	電 灯 コ ン セ ン ト	名称	測点	取付高さ	幹 線 動 力	名称	測点	取付高さ	点滅器	床土～中心	1300	電力量計	GL～窓中心	1800	コネクタ（一般）	〃	300	分電盤	天井～上端	2000	〃（和室）	〃	150	手元開閉器	〃	1500	〃（台土）	台土～中心	100～150	操作スイッチ	〃	1300	〃（土間）	床土～中心	800	電 話 ・ V 等	保安器	GL～中心	1800	ブランチ（一般）	〃	2000～2300	端子盤	床土～下端	150				壁付受口	床土～中心	300				壁付受口	〃	150							
電 灯 コ ン セ ン ト	名称		測点	取付高さ	幹 線 動 力		名称	測点	取付高さ																																																								
	点滅器		床土～中心	1300			電力量計	GL～窓中心	1800																																																								
	コネクタ（一般）		〃	300			分電盤	天井～上端	2000																																																								
	〃（和室）		〃	150			手元開閉器	〃	1500																																																								
	〃（台土）		台土～中心	100～150		操作スイッチ	〃	1300																																																									
	〃（土間）		床土～中心	800	電 話 ・ V 等	保安器	GL～中心	1800																																																									
	ブランチ（一般）		〃	2000～2300		端子盤	床土～下端	150																																																									
						壁付受口	床土～中心	300																																																									
						壁付受口	〃	150																																																									

電話交換機	岩崎通信機	日本電機	日立製作所	J&J
	富士通	パナソニック		
火災報知器、非常警報器	パナソニック	ニッサ	能美防災	ホーテ
自動閉鎖装置	上野各社			
ガス漏警報器	コルテス電気	パナソニック	矢崎総業	
避雷針	大岩避雷針	大阪避雷針	日本避雷針	村田避雷針
自家発電装置	久保田鉄工	神崎電機	東芝電気	日立製作所
	三菱電機	ヤマ		

図 示 記 号 ※各平面図に記載

記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
(H)	積算電力量計		● T ● I?	点滅スイッチ	消し遅れ型、防水型
$\frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \frac{1}{4}, \frac{1}{5}, \frac{1}{6}$	接地	第1種、第2種、第3種	● A ● II	自動点滅器	プッシュ式、5V-10A
	引込開閉器盤	平面図参照	○	ハコトランプ	
	動力操作盤	"	① ②	コネクタ	2P15A (1差、2差)
	電灯分電盤	"	① E ① I	"	2P15A (7-ス付、端子付)
	手元開閉器	"	① I ① ス	"	2P15A (防水型、抜止型)
	蛍光灯	2灯用	① ②	"	2P15A (露出型)
	"	1灯用	① E	"	7V? 型 (1差、2差)
	"	コード・ペンダント	① ②	"	7V? 型 (7-ス付)
	蛍光灯、白熱灯	シーリングタイプ		保安器収納箇	平面図参照
	"	プッシュ		端子盤	A型端子付
	"	ダウンスイッチ	①	電話受口	一般用 (X/R共)
	白熱灯	コード・ペンダント	①	"	公衆用
	引掛シーリング	"		"	有線電話用
	シーリングタイプ	WF用		主装置	押知電話
	位置ダials	パナソニック	① ①	イヤホン	親機、子機 (ドック等)
	シーリング	"	①	ドック	位置ダials (本体別途工事)
	壁付換気扇	"		付金	押知、鳴動部
	ダクト用換気扇	"		放送用フック	"
	非常照明	電池内蔵型	① ②	スピーカ	天井埋込型、壁掛型
	誘導灯	" (蛍光灯)		トランス・オートセー	マフリング付ス付
	"	" (白熱灯)		音量調節器	"
	"	"		テレビ機収納箇	平面図参照
	"	"	① ② R	テレビ受口	直列型、末端型 (P共)

工 事 仕 様									
一 般 事 項									
1) 適用	本工事の請負者は建築基準法、消防法、電気設備技術基準、内線規程等関係諸法、及び設計図書に基き施工しなければならない。 特記) 設計数量は参考とし、差異については請負前に申し出とし、その後の増減は原則として行わない								
2) 共通仕様書	● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事標準仕様書」及び「標準図」最新版 ● 日本建築家協会編「建築工事標準仕様書」								
3) 経費	設計図書が互いに相違する場合、明記のない場合、または疑義を生じた場合には、その都度速やかに監理者と協議の上、施工しなければならない。 ただし軽微なものに付いては、監理者の指示に従うものとする。								
4) 申請手続き	官公省等への届出申請又は、監理者密接な連絡を保って、請負者が代行し速やかに行い、これに要する費用は請負者の負担とする。								
5) 工所用電力及び水等	本工事に必要な工所用電力、水等の費用は請負者の負担とする。								
6) 工所用機材	本工事に使用する機材は、指定製造業者の製品又は、同等品以上とし、J I S、J E C、J E M、J C S等規格のあるものは、その規格品を使用する。								
7) 工程表及び施工図	工事着手に先立ち工程表、施工図、制作図及び承認図等を提出し監理者の承認を受けるものとする。								
8) 工事写真	工事写真は、工事の施工に伴い、その状況及び工程を明確に記録するため、主要箇所ならびに監理者の指示する箇所の写真を提出しなければならない。								
9) 提出図書	本工事完成時下記の図書を監理者の指示する部数提出すること。 <table border="0"> <tr> <td>● 維持管理に必要な操作説明書</td> <td>● 各回路絶縁抵抗試験成績表</td> </tr> <tr> <td>● 各種機器取り扱い説明書</td> <td>● 完成図、施工図</td> </tr> <tr> <td>● 各機器試験成績表</td> <td>● 工事写真及び完成写真</td> </tr> <tr> <td>● 接地抵抗測定表</td> <td>● 打合せ議事録</td> </tr> </table>	● 維持管理に必要な操作説明書	● 各回路絶縁抵抗試験成績表	● 各種機器取り扱い説明書	● 完成図、施工図	● 各機器試験成績表	● 工事写真及び完成写真	● 接地抵抗測定表	● 打合せ議事録
● 維持管理に必要な操作説明書	● 各回路絶縁抵抗試験成績表								
● 各種機器取り扱い説明書	● 完成図、施工図								
● 各機器試験成績表	● 工事写真及び完成写真								
● 接地抵抗測定表	● 打合せ議事録								
10) 再使用機器	機器取り外し後、清掃及び絶縁抵抗測定のうち再使用とする。								

指 定 製 造 業 者				
製 品 名	製 造 業 者			
銅製電線管	摂陽工業 丸一銅管	東芝銅管	日本n'グ	パナソニック
同上附属品	上記各社	外山電機	寺田電機	日亜金属
合成樹脂製電線管	70化成	久保田鉄工	積水化学	三菱樹脂
同上附属品	上記各社	日勤電工		
波付硬質ポリethylene管	積水化学 パナソニック	東拓工業	日立電線	古河電工
同上附属品	積水化学	パナソニック	未来工業	吉野川電線
ケーブル	初電線 妙電線 矢崎総業	昭和電線 日立電線	住友電工 藤倉電線	大日本電線 古河電線
電線	沖電線	華陽電線		
配線器具	パナソニック			
照明器具 (LED灯)	三菱電機	パナソニック	東芝ライテック	
引込盤、分電盤、端子盤等	一光電機	四菱技研	摂陽明正	

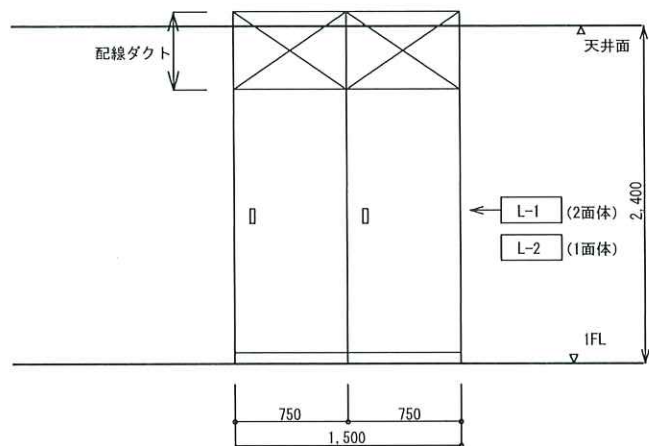
工事区分					
項目	建築	空調	衛生	電気	その他
○ 給水負担金				○	○ 構造体へのスリーブ及び箱の製作取付工事 ○ 同上補強工事（鉄骨等の補強含む）
○ 水道本管接続費			○		○ 天井開口工事
・ 電線棒供給取付工事（受水槽）					○ 天井開口に伴う下地補強工事
○ 雨水整積工事	○				○ 天井点検口・壁点検口の供給取付工事
○ ミニキッチンの供給取付工事				○	○ 機器のコンクリート基礎工事
・ 各種コンクリート水槽築造工事	○				○ ドアガラリの製作取付工事
・ 設備機器用の上屋築造工事（ポンプ・ポンペ等）					・ クーラースリーブ（内外キャップ共）供給取付工事
○ 動力操作盤までの一次配線工事				○	○ 給湯器リモコン取付・リモコン配管・ケーブル入槽
○ 動力操作盤からの二次配線工事				○	○ 各種リモコン用先行空配管・BOX

共通事項	
1) 銅製電線管工事	特記なき限りねじ無電線管とするが、許容電線収容数を満足すれば薄銅及び厚銅電線管とすることが出来る。
2) 銅製管の防食	銅製管を地中に埋設する場合並びにピット内等多湿場所に敷設する場合は防食テープ1回巻きとする。
3) 予備線	空配管及び予備配管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を配線する。
4) フラッシュプレート材質	◎ ● アルミ合金 (モダンプレート) ● ステンレス ● ワイド型ニューコスモリス (現場指示に依る。主にベリリウム部分)

	件名	ゲルブホーム 3F 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	E-01
	図種	電気設備 特記仕様書				
	SCALE	年 度	R6			

引込盤リスト

盤名・幹線		主幹・結線	分岐回路				
名称	S-I		回路 番号	記号	開閉器AF／AT	負荷名称 (VA)	備考
形式	電柱取付型						
材質	SUS製 (指定色塗装)						
1φ3W 引き込み (従量電灯)	CET100* 	電力量計 CT ^{A^} -A共	L-1	A3P	MCCB 225/200	L-1 41.460VA CET100*	
3φ3W 引き込み (低圧電力)	CE5.5" 	電力量計	FP-1	B3P	ELCB 50/30	FP-1 1.5KW FPC5.5" -4C	
セパレーター ---							
TEL 引き込み		保安器具スペース					
14" 		ET (絶縁端子)					
14" 		ET					
14" 		ET (絶縁端子)					



分電盤姿図

端子盤リスト

端子盤名称	TEL	TV/CATV	弱電	電源
T-1	10P端子台	6分配器×1	HAB (6P) スペ-ス	露出型アース付コンセント2口
銅板製：壁掛型	光装置用スペース			(強電/弱電用レター(樹脂製))
	保安器スペース			
T-2	10P端子台	UHF ブースター実装	HAB (6P) スペ-ス	露出型アース付コンセント2口
銅板製：壁掛型		2分岐器×1		(強電/弱電用レター(樹脂製))
		6分配器×2		

分電盤リスト

設備・幹線		主幹・結線	回路 番号	分岐回路		負荷名称	負荷容量 (VA)	備考
名称	L-1			記号	開閉器AF／AT			
形式	屋内自立型		火	A2P	MCCB 50/20	自火報受信機	100	
材質	銅板製 (指定色塗装)		Y	A2P	MCCB 50/20	誘導灯	100	
L-1 T=32.490VA L-2 T=8.970VA T=41.460VA			BW	A2P	MCCB 50/20	防災無線装置	100	
			T	A2P	MCCB 50/20	TEL、TV	100	
			AD	A2P	MCCB 50/20	自動ドア	300	
			TTV	A2P	MCCB 50/20	ITVカメラ	100	
			予	A2P	MCCB 50/20	予備	—	
			非	A2P	MCCB 50/20	非常用照明	—	
			L1	B2P	ELCB 50/20	職員室他電灯	400	
			L2	B2P	ELCB 50/20	便所電灯	300	
			L3	B2P	ELCB 50/20	食堂、台所電灯	620	
			L4	D2P	ELCB 50/20	外灯	120	
			C1	A2P	MCCB 50/20	事務室コンセント	200	
			C2	A2P	MCCB 50/20	事務室コンセント	1,000	
			C3	A2P	MCCB 50/20	事務室コンセント	200	
			C4	A2P	MCCB 50/20	廊下コンセント	700	
			C5	A2P	MCCB 50/20	食堂コンセント	500	
			K1	B2P	ELCB 50/20	台所コンセント	300	
			K2	B2P	ELCB 50/20	台所コンセント	1,000	
			K3	B2P	ELCB 50/20	台所コンセント	1,000	
			H	B2P	ELCB 50/30	IHヒーター	5,800	(200V)
			J	B2P	ELCB 50/20	浄化槽ポンプ	200	
			W1	B2P	ELCB 50/20	便所コンセント	400	
			W2	B2P	ELCB 50/20	便所コンセント	400	
			W3	B2P	ELCB 50/20	洗濯機	600	
			W4	B2P	ELCB 50/20	リフト装置	400	(将来用)
			AC1	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			AC2	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			AC3	B2P	ELCB 50/20	エアコン	1,490	(200V)
			AC4	B2P	ELCB 50/20	エアコン	2,970	(200V)
			AC5	B2P	ELCB 50/20	エアコン	1,470	(200V)
			AC6	B2P	ELCB 50/20	エアコン	1,470	(200V)
			EH1	B2P	ELCB 50/20	エコキュート	2,500	(200V)
			EH2	B2P	ELCB 50/20	エコキュート	2,500	(200V)
			予	A2P	MGB 50/20	予備	—	
			予	A2P	MGB 50/20	予備	—	
			1	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			2	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			3	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			4	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			5	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			6	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			7	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			8	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			9	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			10	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			11	A2P	MCCB 50/20	居室電灯	350	
			A1	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A2	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A3	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A4	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A5	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A6	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A7	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A8	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A9	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A10	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	
			A11	A2P	MCCB 50/20	エアコン	1,320	

分電盤リスト

[illegible]

※ 1

分岐回路記号

A1P	A2P	A3P
-----	-----	-----

リモコンRY
(2線式)

D1P	D2P	D3P
-----	-----	-----

AS

COS

MC

E2P	E3P	
-----	-----	--

PS

遠方

MC

F1P	F2P	
-----	-----	--

(2線式)

リモコンTR 100/24V

G2P		
-----	--	--

警報盤

61F-1

LF-3

H2P		
-----	--	--

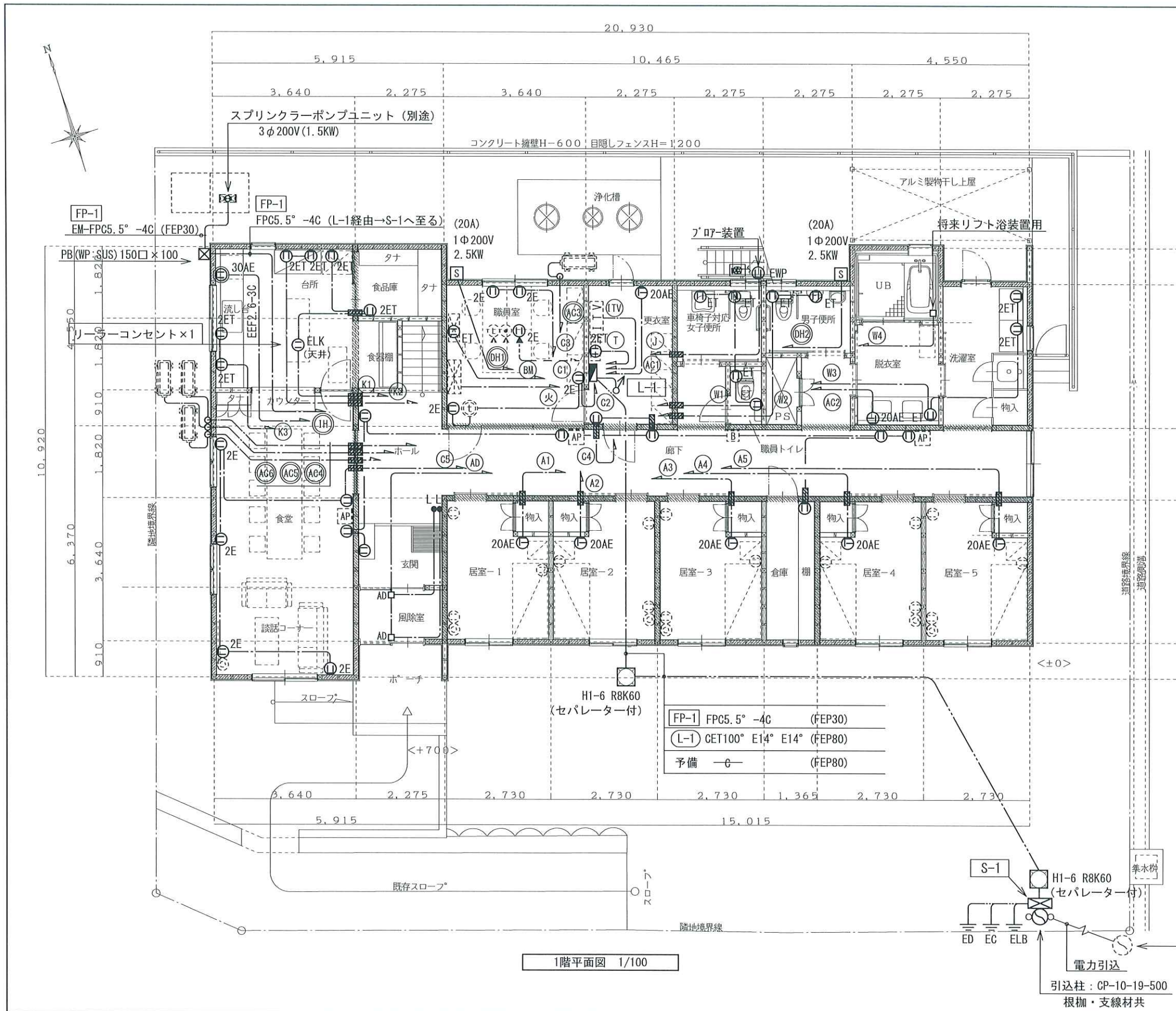
2回路用TB251201(K)

T1
T2

ELCB

MC

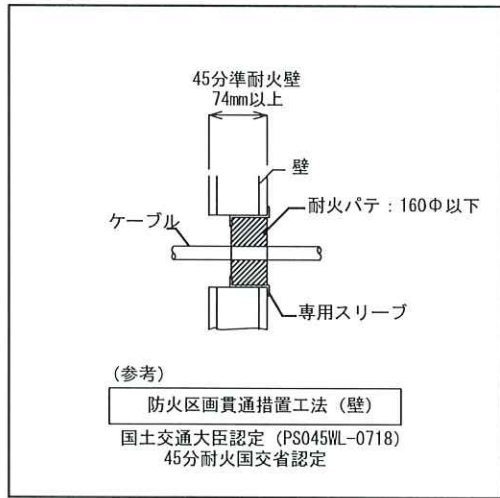
	件名	グループホーム うれい-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号
	図種	盤結線図				E-02
	SCALE	年 度	R6			



※プレートは樹脂製とする		
記号	名称	仕様
⊖	コンセント	2P15A×2
⊖ET	コンセント	2P15A×1 ET端子付
⊖2ET	コンセント	2P15A×2 ET端子付
⊖2E	コンセント	2P15A×2
⊖ELK	コンセント	2P15A×1 抜け止め
⊖20AE	コンセント	2P20A×1 ET端子付
⊖30AE	コンセント	2P30A×1 ET端子付
⊖2E	コンセント	2P15A×2 フロアコンセント
AP	アクセスポイント	別図参照
IP	インターホン親機	別図参照
AMP	放送アンプ	別図参照

凡例	
図中特記なき配線配管は下記とする	
——	EM-EEF2.0-3C
- - -	EM-EEF2.0-3C (PF22)
壁内立上りはPF管にて保護の事	
S	ケースブレーカーを示す

(注記) 図記号 は防火区画処理を示し、国土交通大臣の認定を受けた工法とする。

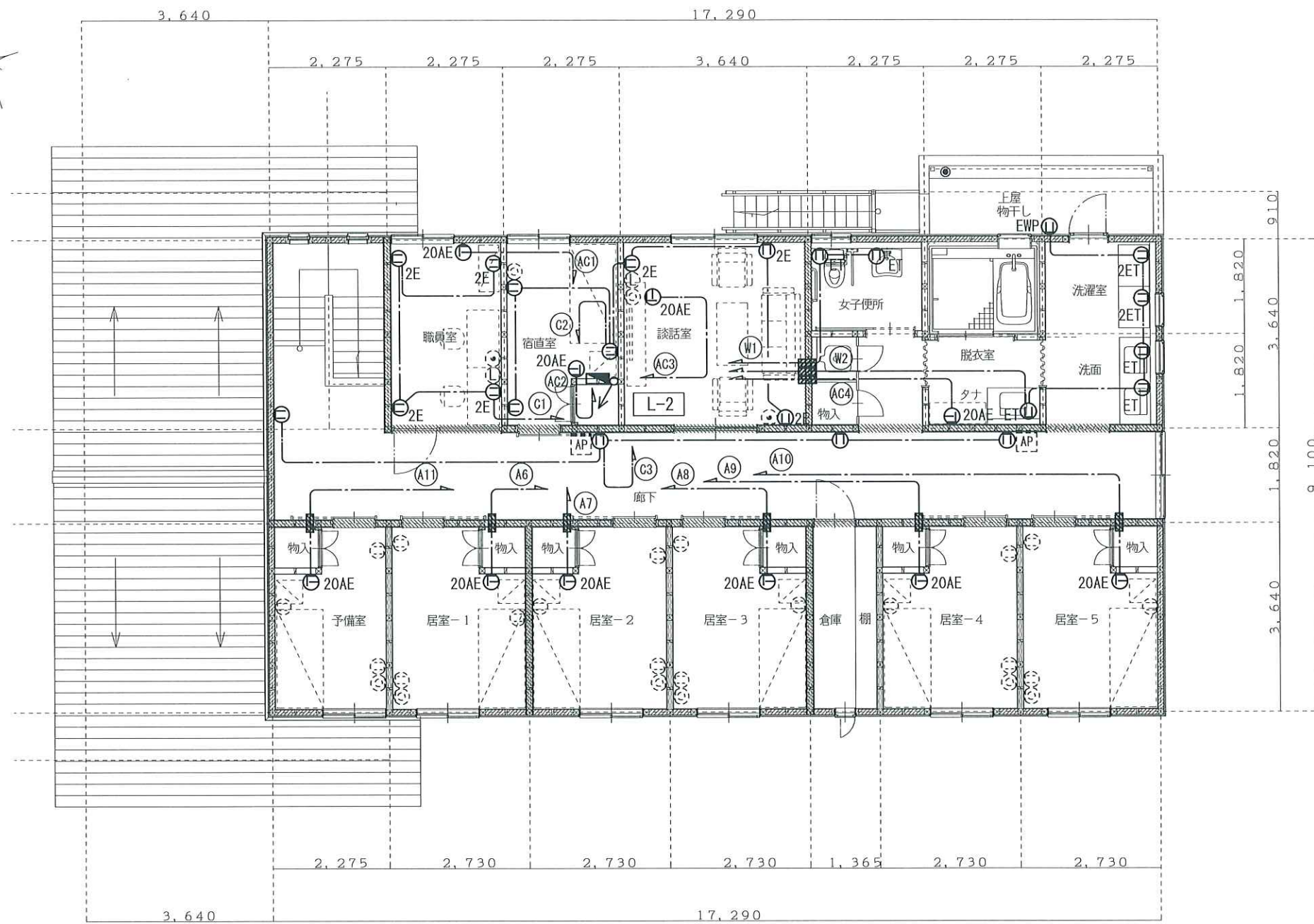


外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K
間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K
防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張

件名	グループホーム ヴィレ-B 新築工事
図種	コンセント設備 1階平面図
SCALE	年度 R6

木下建築設計事務所
小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626
Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義

図面番号
E-03



(A6)～(A11) 回路は積算の為、1階「L-1」へ至る

2階平面図 1/100

※プレートは樹脂製とする

記号	名称	仕様
⊖	コンセント	2P15A×2
⊖ET	コンセント	2P15A×1 ET端子付
⊖2ET	コンセント	2P15A×2 ET端子付
⊖2E	コンセント	2P15AE×2
⊖ELK	コンセント	2P15AE×1 抜け止め
⊖20AE	コンセント	2P20A×1 ET端子付
⊖30AE	コンセント	2P30A×1 ET端子付
⊖2E	コンセント	2P15AE×2 フロアコンセント
AP	アクセスポイント	別図参照
IP	インターホン親機	別図参照
AMP	放送アンプ	別図参照

凡例

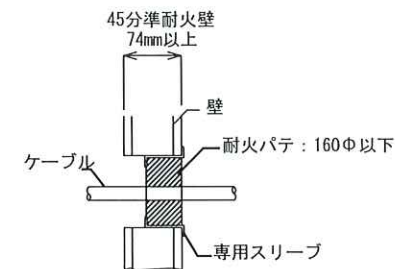
図中特記なき配線配管は下記とする

—— EM-EEF2.0-3C
- - - EM-EEF2.0-3C (PF22)

壁内立上りはPF管にて保護の事

[S] ケースブレーカーを示す

(注記) 図記号 は防火区画処理を示し、
国土交通大臣の認定を受けた工法とする。



(参考)

防火区画貫通措置工法 (壁)

国土交通大臣認定 (PS045WL-0718)
45分耐火国交省認定

外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K
間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K
防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張

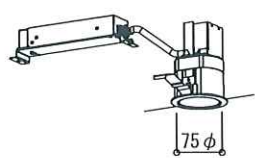
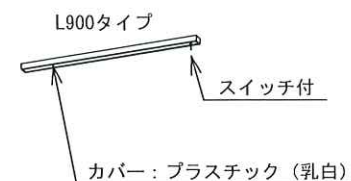
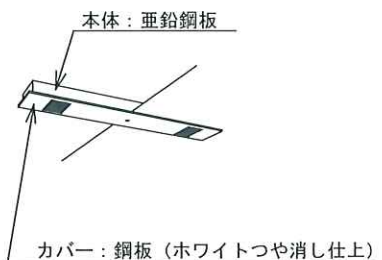
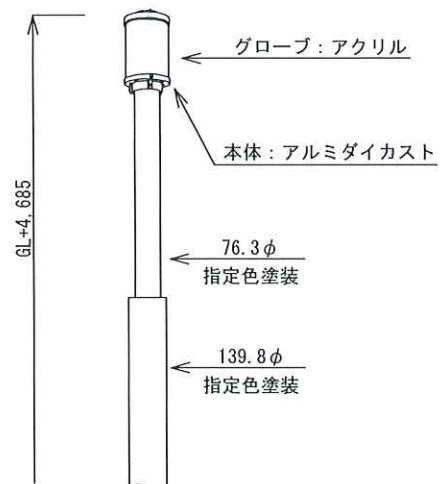
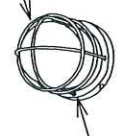
件名 グループホーム ヴィーヴ 新築工事
図種 コンセント設備 2階平面図
SCALE 年度 R6

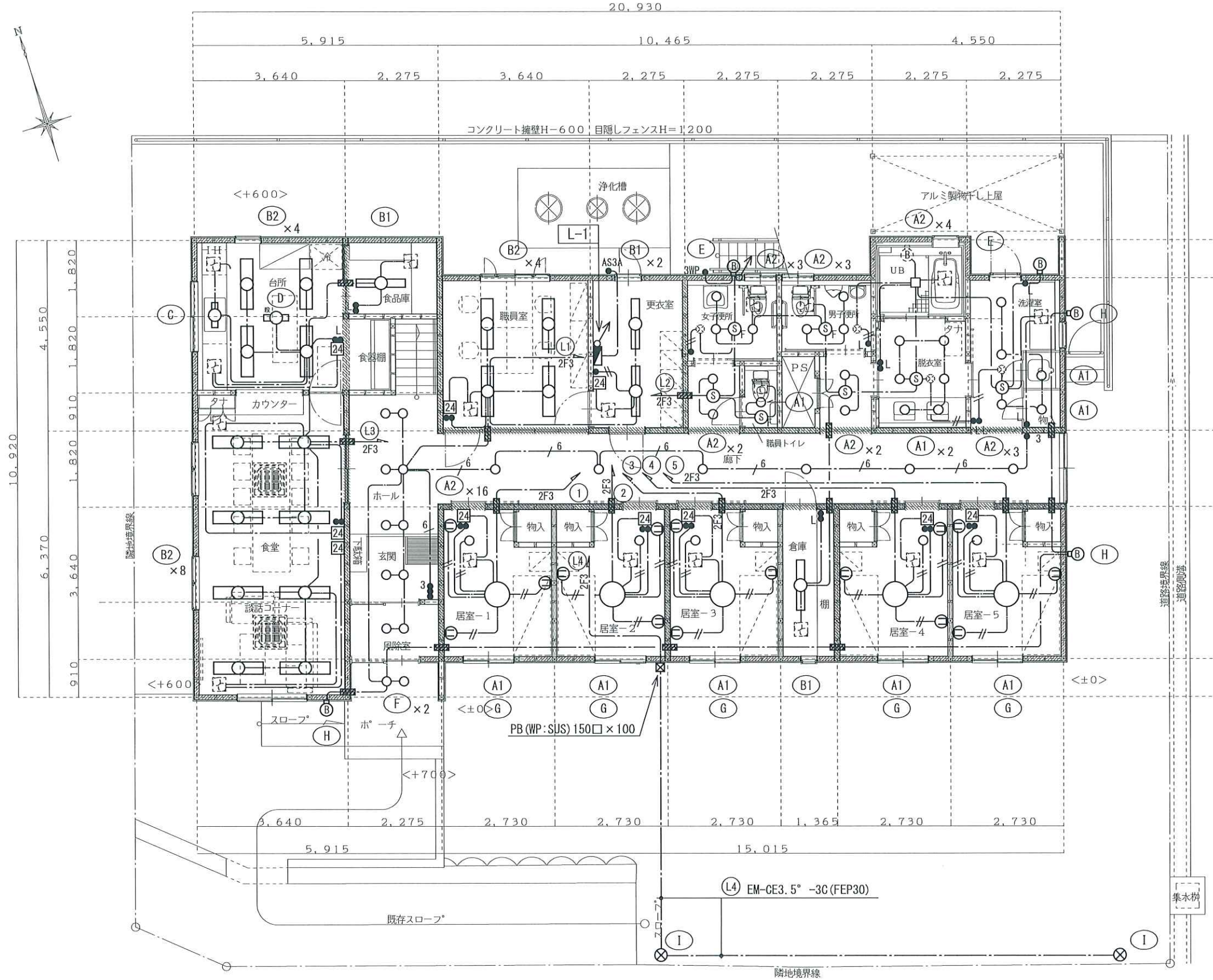
木下建築設計事務所
小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626
Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義

図面番号

E-04

照明器具 姿図

(A1)	ダウンライト 60形	(B1)	埋込型32W×1灯形 W150	3,200Lmタイプ	(C)	LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当	(D)	GL15W×1 殺菌灯「ジョキーン」	殺菌線遮光方式
(A2)	ダウンライト 100形	(B2)	埋込型32W×2灯形 W150	6,900Lmタイプ		1,520Lm、消費電力18.3W、電圧100V			
				LRS6-4-30 LRS6-4-65					
(E)	LEDウォールライト 20形	(F)	軒下用ダウンライト 100形電球1灯器具相当		(G)	LEDシーリングライト	(I)	モールライト 水銀灯250形1器具相当	電源ユニット共
防湿型・防雨型 1,480Lm、消費電力14.96W、電圧100~242V		防湿型・防雨型 700Lm、消費電力7.6W、電圧100V			3,699Lm、消費電力27.6W、電圧100V		防湿型・防雨型 6,900Lm、消費電力47.6W、電圧100~242V		
									
本体 : ステンレス、 カバー : ポリカーボネート (乳白)		枠 : アルミダイカスト (ホワイットつや消し)			カバー : アクリル (乳白つや消し) リモコンで 〈100%~5%〉 調光 専用リモコン送信器共		グローブ : アクリル 本体 : アルミダイカスト 76.3φ 指定色塗装 139.8φ 指定色塗装		
(H)	LEDポーチライト 25形電球1灯器具相当								
防湿型・防雨型 225Lm、消費電力3.4W									
カバー : ガラス (透明)									
		アルミダイカスト							



凡例

図中特記なき配線配管は下記とする

---	EM-EEF1.6-3C
-//	EM-EEF1.6-2C
---	EM-EEF1.6-2C×2
5	EM-EEF1.6-2C+3C
6	EM-EEF1.6-3C+3C
2F3	EM-EEF2.0-3C

壁内立上りはPF管にて保護の事

LED器具は全て接地を施す事

F 24時間スイッチ（機械設備支給品）

S 熱線感知センサー（天井付）

F(S) 同上換気扇遅れ機能付

E コンセント 2P15A×2

※プレートは樹脂製とする

アウトレットボックス選定表（電灯設備共通）

芯線数の合計	ボックス類	材質
11本以下	中浅4角	樹脂製
16本以下	中深4角	樹脂製
17本以上	ブルボックス：100□×100	樹脂製

(注記) 図記号 は防火区画処理を示し、国土交通大臣の認定を受けた工法とする。

45分準耐火壁 74mm以上

壁

耐火パテ：160φ以下

ケーブル

専用スリーブ

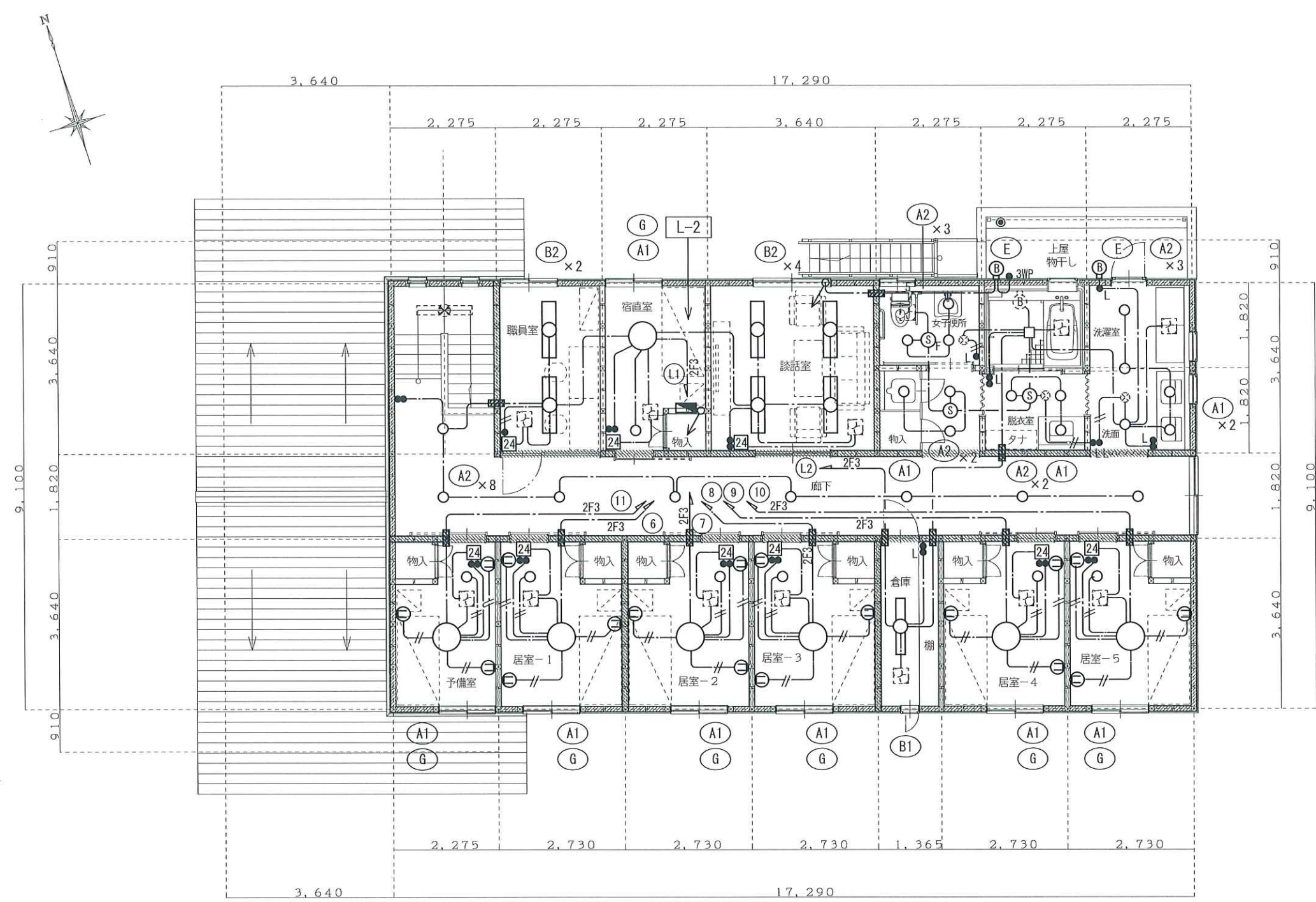
(参考)

防火区画貫通措置工法（壁）

国土交通大臣認定（PS045WL-0718）

45分耐火国交省認定

1階平面図 1/100



凡例

図中特記なき配線配管は下記とする

- EM-EEF1. 6-3C
- EM-EEF1. 6-2C
- EM-EEF1. 6-2C×2
- 5 EM-EEF1. 6-2C+3C
- 6 EM-EEF1. 6-3C+3C
- 2F3 EM-EEF2. 0-3C

壁内立上りはPF管にて保護の事

LED器具は全て接地を施す事

F 24時間スイッチ（機械設備支給品）

S 熱線感知センサー（天井付）

F S 同上換気扇遅れ機能付

E コンセント 2P15A×2

※プレートは樹脂製とする

アウトレットボックス選定表（電灯設備共通）

芯線数の合計	ボックス類	材質
11本以下	中浅4角	樹脂製
16本以下	中深4角	樹脂製
17本以上	ブルボックス：100□×100	樹脂製

（注記）図記号 は防火区画処理を示し、国土交通大臣の認定を受けた工法とする。

45分準耐火壁 74mm以上

壁

耐火パテ：160Φ以下

ケーブル

専用スリーブ

（参考）

防火区画貫通措置工法（壁）

国土交通大臣認定（PS045WL-0718）

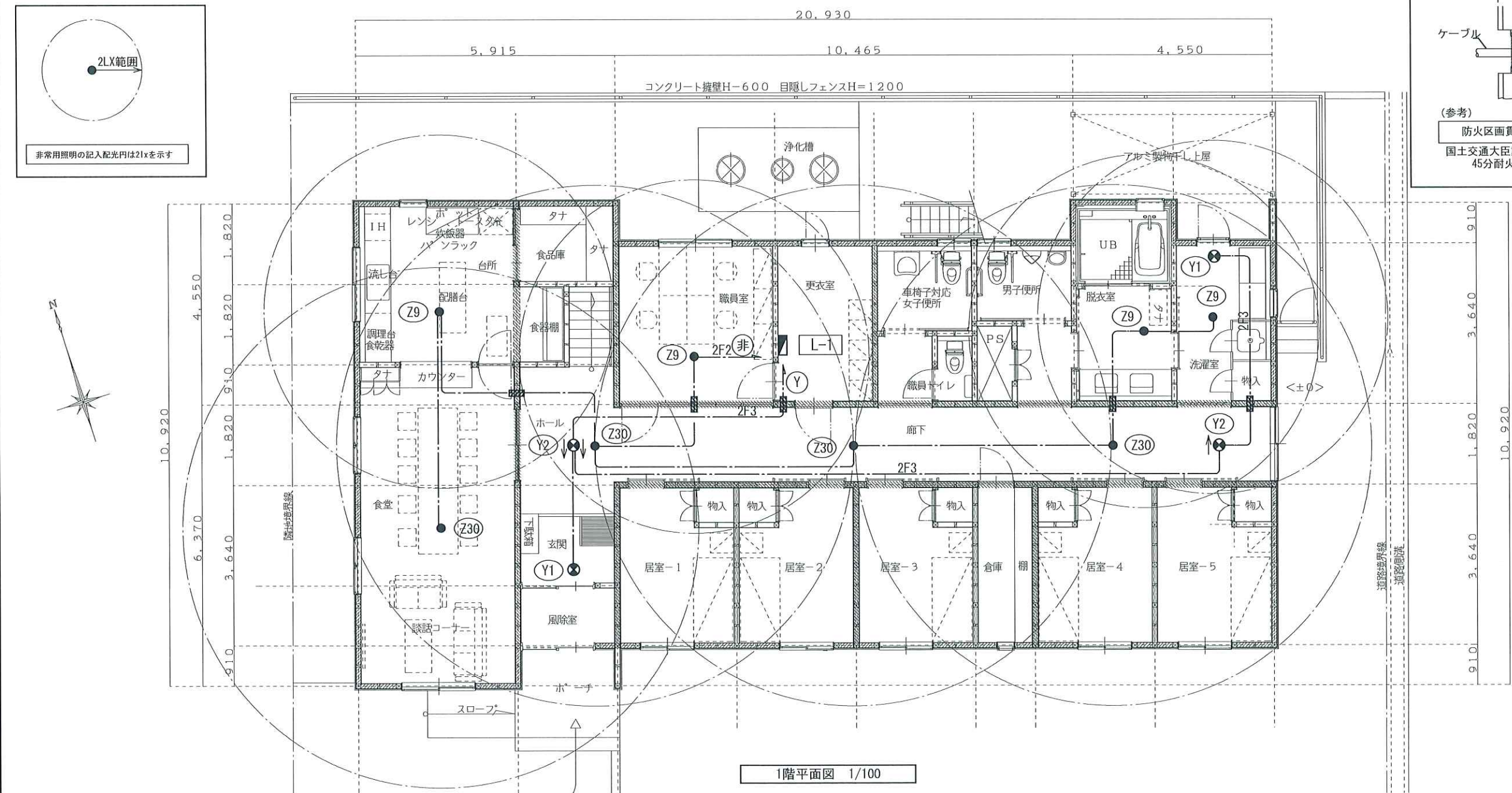
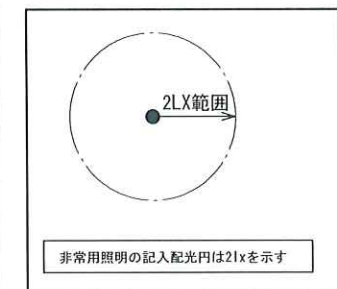
45分耐火国交省認定

⑥～⑪ 回路は積算の為、1階「L-1」へ至る

2階平面図 1/100

照明器具 姿図 (防災)

Z9	LED非常灯	LED内蔵、非常時点灯／常時消灯				Z30	LED非常灯	LED内蔵、非常時点灯／常時消灯				K401	階段通路誘導灯				Y1	LED B級BH型 避難口誘導灯片面型				Y2	LED B級BH型 避難口誘導灯片面型			
ハロゲン電球：9W相当 非常灯評定番号：LAL-004						ハロゲン電球：30W相当 非常灯評定番号：LAL-006						ひとセンサ段調光HF32W形器具1灯相当 型式認定番号：IAM111-3209				型式認定番号：IAM111-3209				型式認定番号：IAM111-3494						
																										
K1-LRS11-1 保守率：0.92 K0143779						K1-LRS11-3 保守率：0.92 K0143775						器具取付高さ 保守率：0.92 K01185273														
器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	器具取付高さ		2.4m	2.6m	3.0m	3.5m	4.0m	階段配置													
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8	単体配置	A1	5.9	6.3	6.9	7.4	7.9	Y=1.0m	21x	+	1.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m					
													21x	-	4.0	6.4	7.0	7.8	8.7	9.3						
													11x	+	1.9	3.9	4.5	4.8	5.0	5.1						
													11x	-	4.7	7.8	8.8	9.6	10.3	11.2						
													21x	+	4.0	6.1	6.9	7.8	8.7	9.4						
													21x	-	1.8	3.8	4.4	4.7	4.9	5.0						
													11x	+	4.9	7.7	8.7	9.5	10.2	11.2						
													21x	+	4.0	6.0	6.7	7.6	8.5	9.0						
													21x	-	1.6	3.6	4.2	4.5	4.7	4.8						
													11x	+	4.9	7.5	8.4	9.2	10.1	11.0						



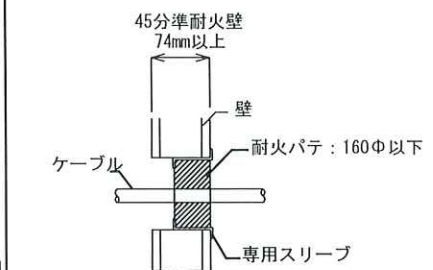
凡例

図中特記なき配線配管は下記とする	
——.——	EM-EEF1.6-2C
——.2F2	EM-EEF2.0-2C
——.2F3	EM-EEF2.0-3C
壁内立上りはPF管にて保護の事	

— — — —	EM-EEF1. 6-2C
— — — — <u>2F2</u>	EM-EEF2. 0-2C
— — — — <u>2F3</u>	EM-EEF2. 0-3C

壁内立上りはPF管にて保護の事

(注記) 図記号 は防火区画処理を示し、
国土交通大臣の認定を受けた工法とする。



(参考)

防火区画貫通措置工法（壁）

国土交通大臣認定 (PS045WL-0718)
45分耐火国交省認定

	外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K
	間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K
	防火上主要な間仕切り:木造+石膏板・ト(12.5+9.5)両面二重張り

件名	グ・ルーフ・ホーム ソレイユ-B 新築工事
----	-----------------------

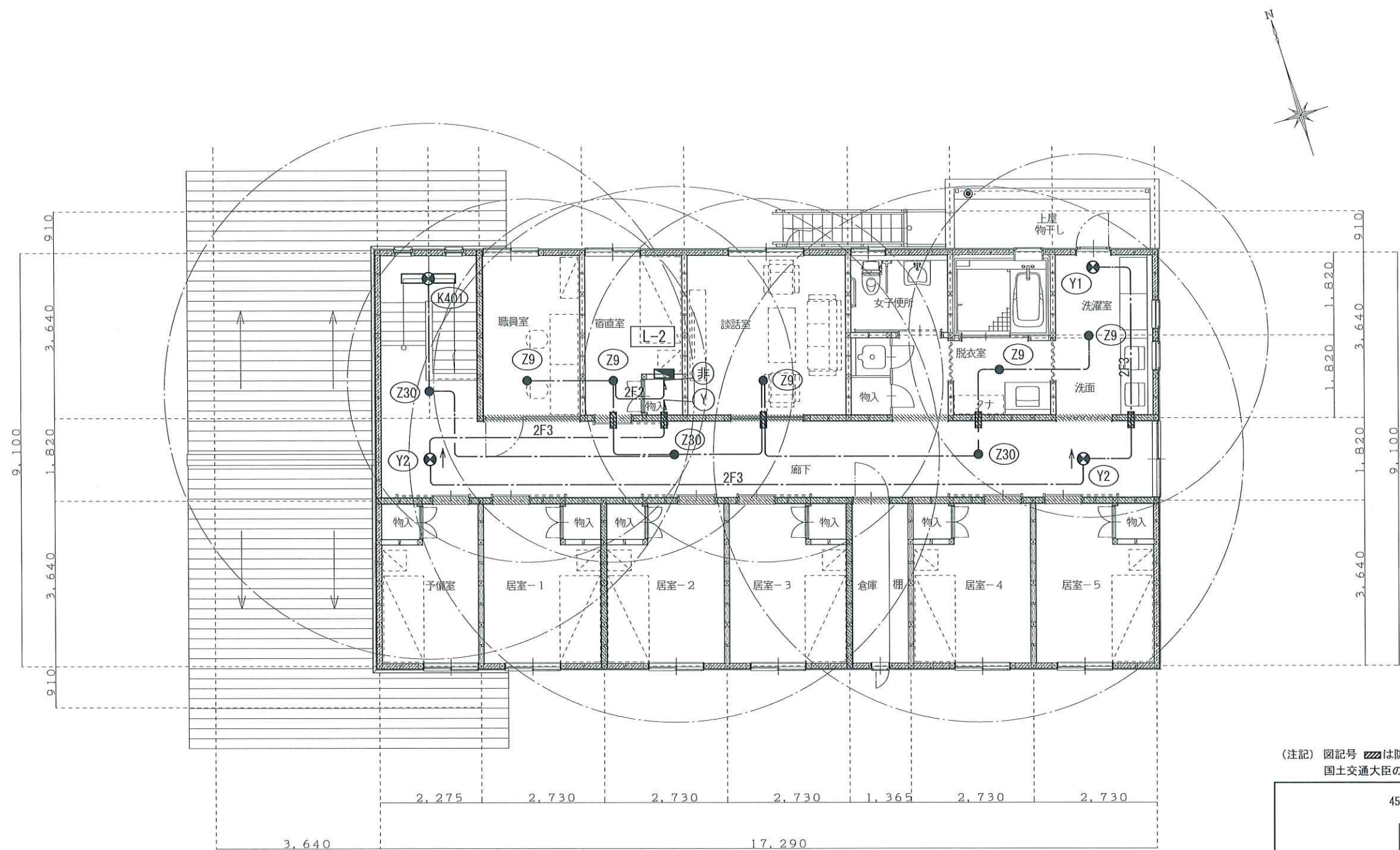
図種	防災照明設備 1階平面図
----	--------------

SCALE	年 度	R6
-------	-----	----

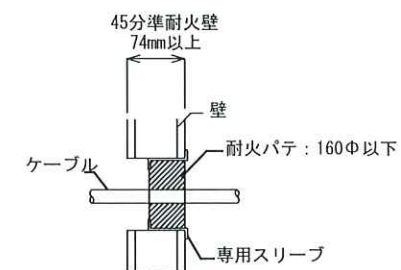
木下建築設計事務所
小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626
E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義

圖面番号

E-08



(注記) 図記号 は防火区画処理を示し、国土交通大臣の認定を受けた工法とする。



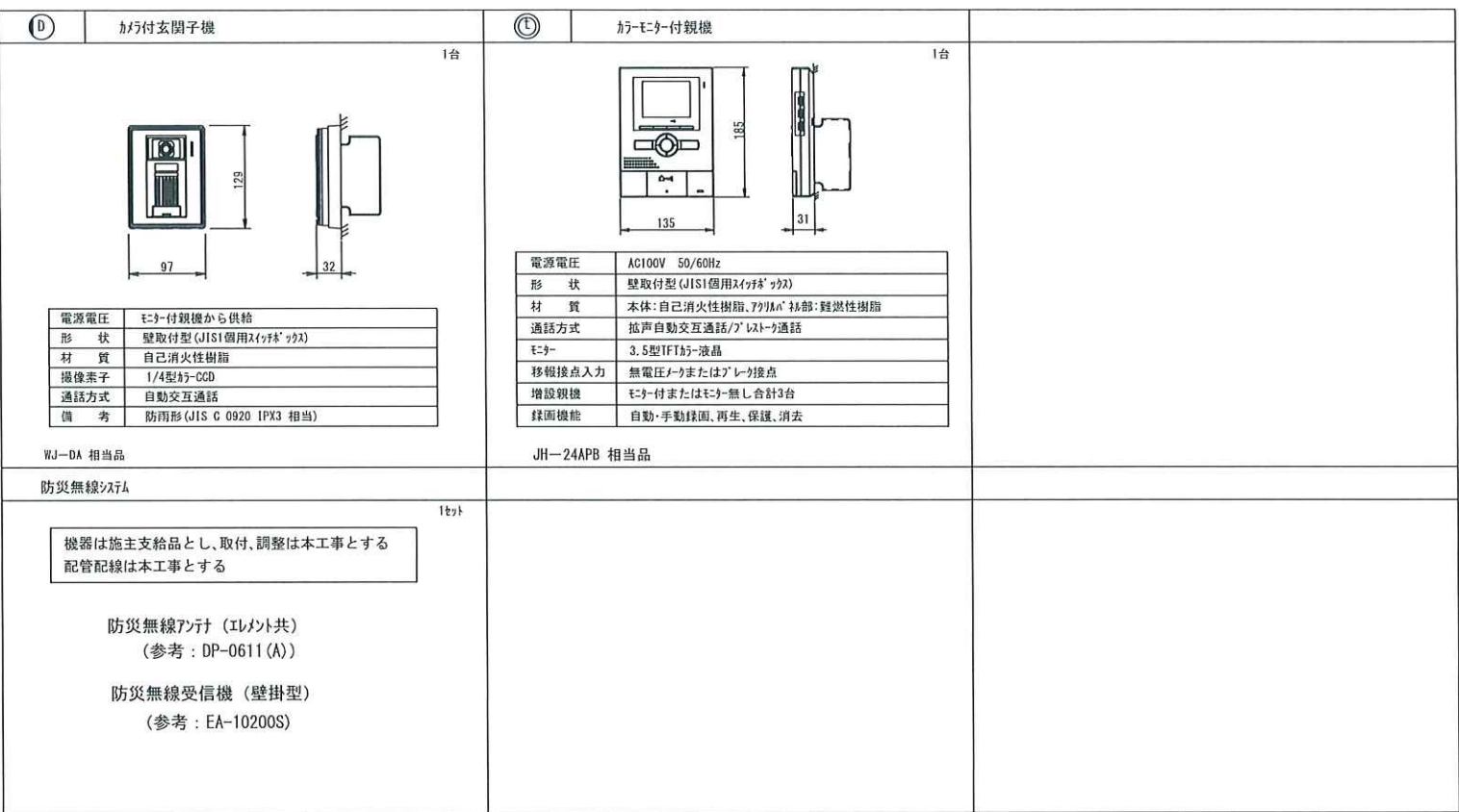
(参考)
防火区画貫通措置工法 (壁)
国土交通大臣認定 (PS045WL-0718)
45分耐火国交省認定

凡例

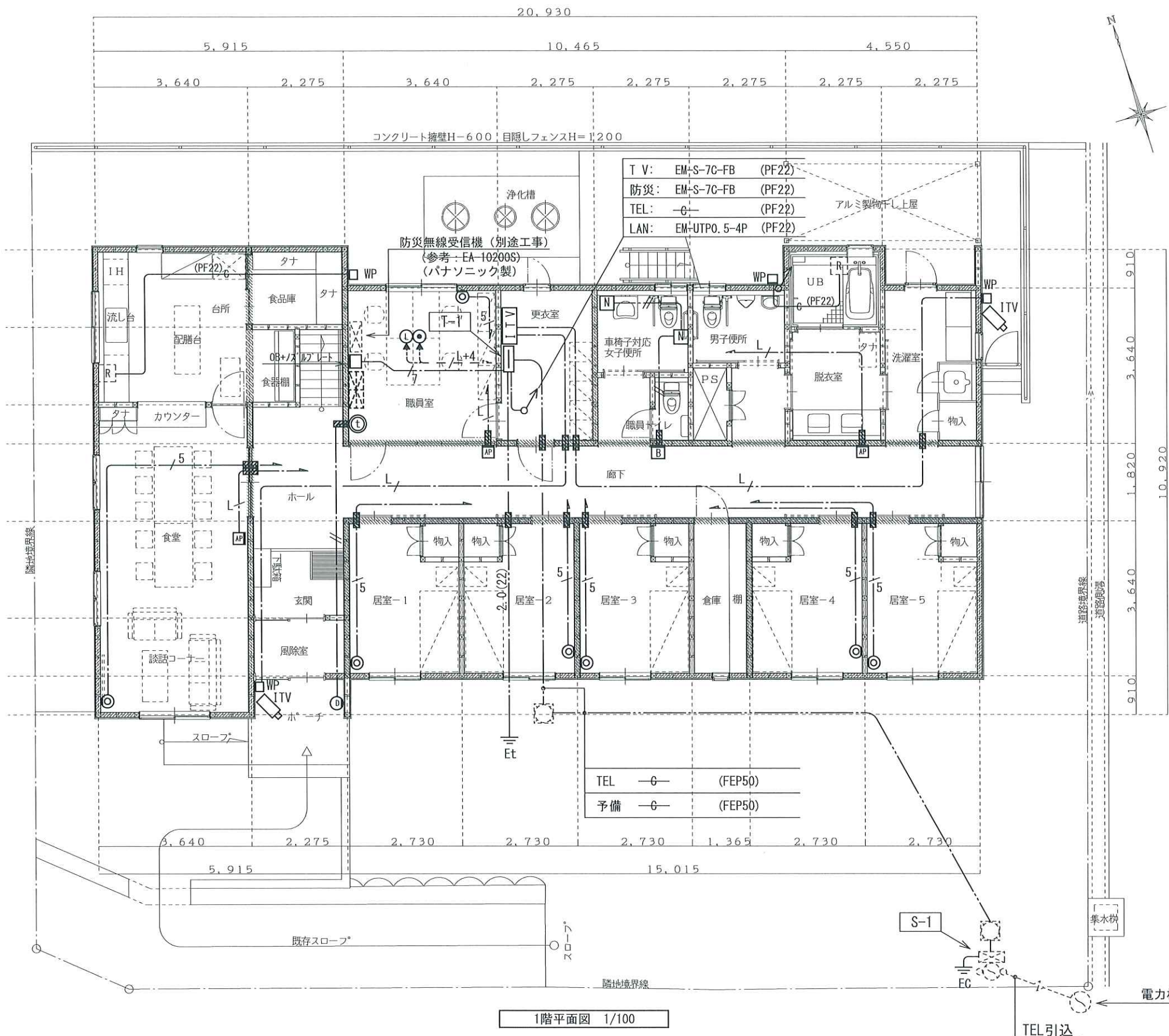
図中特記なき配線配管は下記とする
—— EM-EEF1.6-2C
—— 2F2 EM-EEF2.0-2C
—— 2F3 EM-EEF2.0-3C
壁内立上りはPF管にて保護の事

2階平面図 1/100

 外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K				件名	グループホーム ヴィレユ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号
 間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K				図種	防災照明設備 2階平面図				
 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張				SCALE	年 度	R6			



	件名	ケルーフホーム ソレイユ-B 新築工事		木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL.087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号
	図種	弱電設備 機器姿図			E-10
	SCALE	年 度	R6		



記号	名称	仕様
R	給湯器リモコン	
I	インターホン親機	カラーモニター付(1:1)
D	ドアホン	カラーカメラ付
ITV	ITV制御器・モーター	
ITV	ITVカメラ	
UB	トイレ呼出ボタン	ひも付 NBR-7HWA
B	同上警報ブザー	1室用(電源ユニット共) CN-1A34
UHF	UHFアンテナ	壁付フラット型
UHF	UHFブースター	35dB
TV	テレビアウトレット	端末型 プレート共
電話	電話アウトレット	4MJ
弱電	弱電ユニット	インナータイプ(コンセント収納)
LAN	LAN用アウトレット	8MJ 壁付 プレート共
AP	アクセスポイント	壁付
WP	防雨入線カバー	
R	給湯器リモコン	機械設備工事

TEL	4	EM-EBT0. 5-2P (PF16)
TV	5	EM-S-5CFB 転がし
TV/防災無線	7	EM-S-7CFB 転がし
LAN	L	EM-UTP0. 5-4P 転がし
インターホン		EM-AE1. 2-2C 転がし
トイレ呼出し		EM-AE1. 2-2C 転がし
特記：転がし配線の壁内は適合するPF管にて保護の事		

(注記) 図記号 は防火区画処理を示し、国土交通大臣の認定を受けた工法とする。

45分準耐火壁 74mm以上

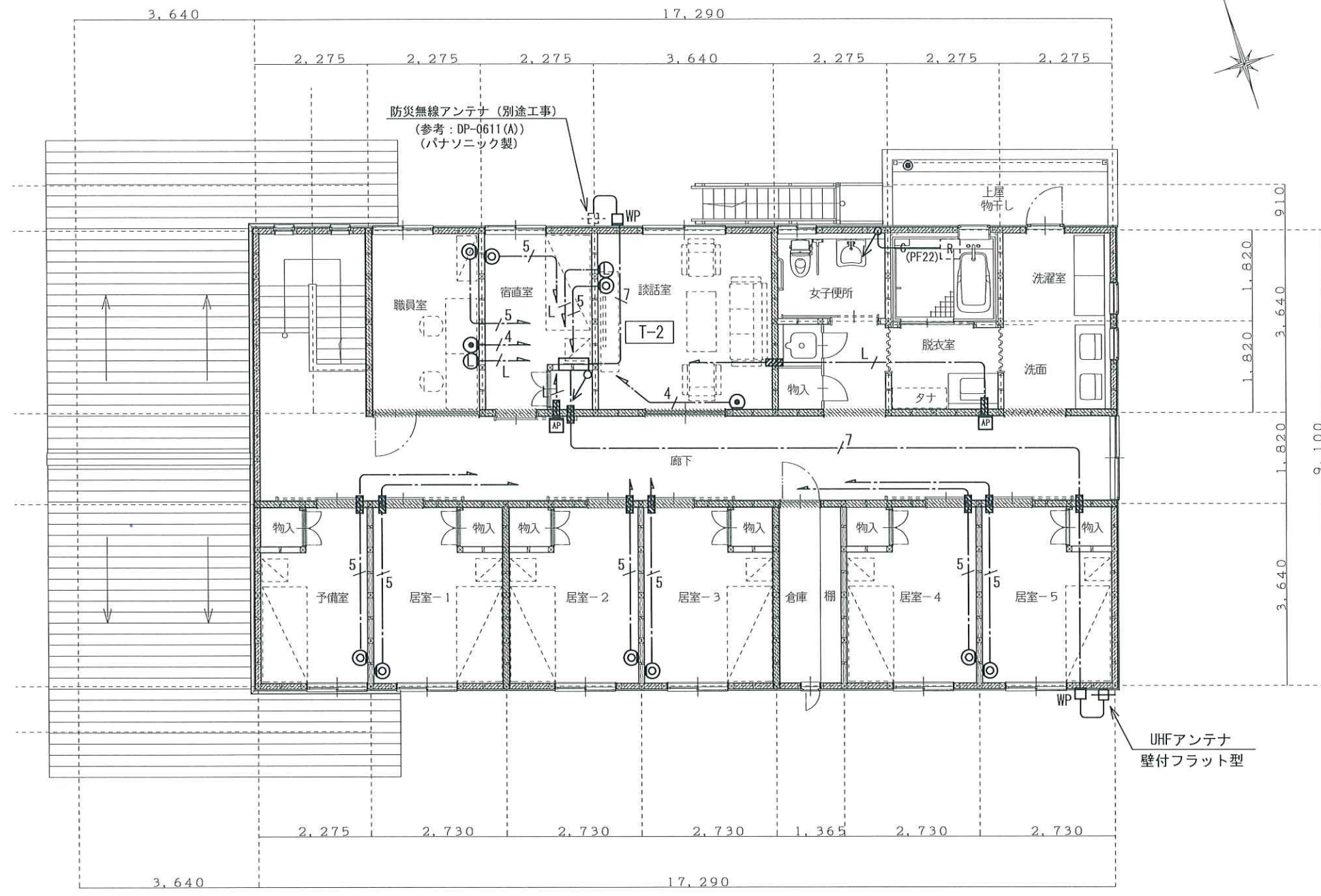
壁

耐火パテ：160Φ以下

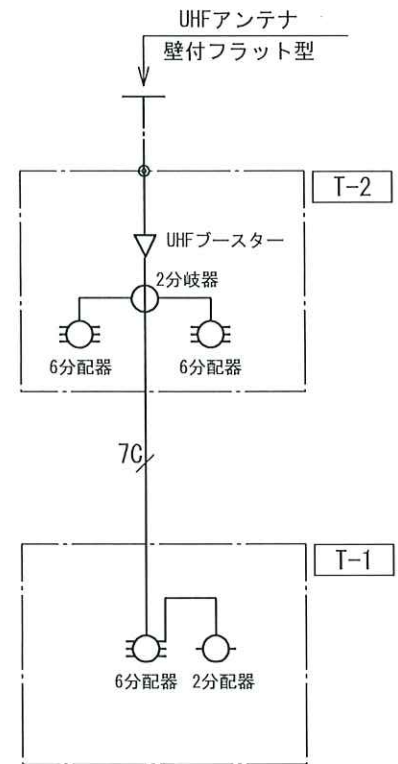
ケーブル

専用スリーブ

(参考) 防火区画貫通措置工法(壁) 国土交通大臣認定 (PS045WL-0718) 45分耐火国交省認定

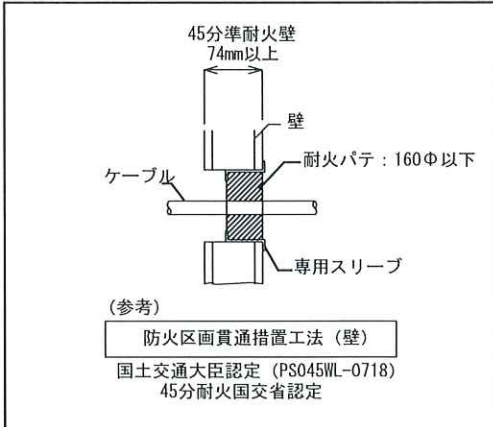


2階平面図 1/100

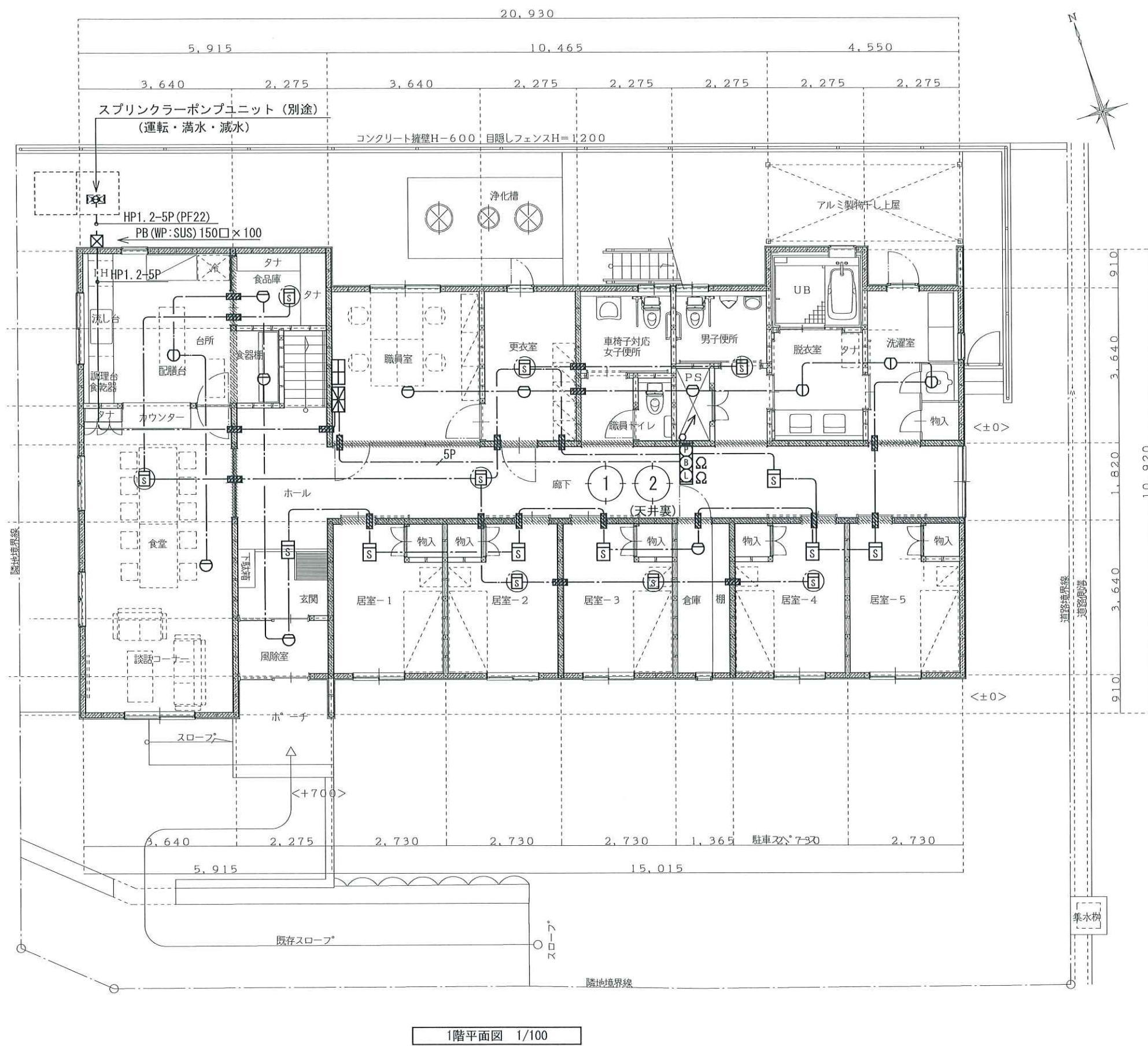


テレビ機器接続系統図

(注記) 図記号 は防火区画処理を示し、国土交通大臣の認定を受けた工法とする。



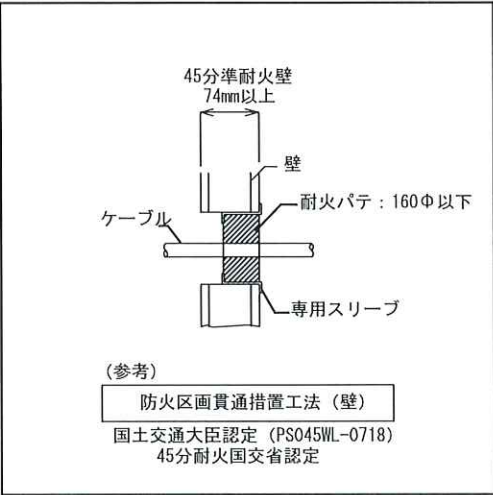
外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K			件名	グループホーム ヴィレ-B 新築工事	図面番号
間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K			図種	弱電設備 2階平面図	E-12
防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張			SCALE	年度 R6	



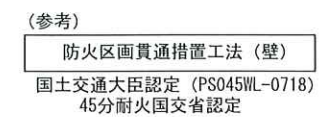
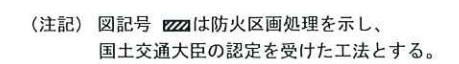
凡例		
記号	名称	備考
	自火報 受信機	P型1級 10回線 自動点検機能付
		感知器×4窓 +消火ポンプ×3窓
	自火報総合盤	(P)(B)(L) 組込み P型1級 壁埋込型
	発信機 警報ベル 表示灯	
	差動式スポット型感知器	2種 自動点検機能付
	定温式スポット型感知器	特種 自動点検機能付
	定温式スポット型感知器	1種 防水型 (70° C) 自動点検機能付
	光電式煙感知器	2種 非蓄積型 自動点検機能付
	光電式煙感知器	2種 非蓄積型 自動点検機能付
	(天井裏を示す)	
	終端抵抗	
	警戒区域番号 (火災)	(1) ~ (4)
	火災通報装置	壁掛型 音声ROM付 専用電話機共

図中記入無き配管・配線は下記による	
	EM-AE 0.9-4C
	EM-HP1.2-5P
特記：転がし配線の壁内は適合するPF管にて保護の事	

(注記) 図記号 は防火区画処理を示し、
国土交通大臣の認定を受けた工法とする。



	外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K	件名	グループホーム ソレイユ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号 E-13
	間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K	図種	自動火災報知設備 1階平面図				
	防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張	SCALE	年 度	R6			



	外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K
	間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K
	防火上主要な間仕切り:木造+石膏板 [*] (12.5+9.5)両面二重張

木下建築設計事務所
小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626
E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義

特記仕様書

建物概要				工事概要										配管材料および保温材													
工事名称	グループホーム ⅡⅢ-B 新築工事			給排水衛生設備工事					空気調和設備工事					名称	材料	保温材	区分										
工事場所	香川県 小豆郡 土庄町			給水設備工事					設計条件		夏季		冬季		給水管	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)			屋内								
工事種別	○ 新築 ・ 増築 ・ 改築			給水源	○ 上水道 ・ 井戸 ・ 簡易水道						乾燥温度	相対湿度	乾燥温度	相対湿度		耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)			屋外								
主体構造	・ RC ・ S ○ 木造 ・ 耐火構造 ・ その他			給水方式	○ 水道直結 ・ 高架水槽 ・ 受水槽+加圧ポンプ						外気	33.9℃	56.7%	1.9℃		51.4%	耐衝撃性硬質塩ビ管 (HIVP)			土中							
階数	地上 2階 地下 1階 塔屋 1階			引込管	口径 40mm				室内	26℃	50%	22℃	40%														
面積	建物名称	延面積 (㎡)		備考	追記事項	機器設備工事					熱源機器	冷凍機	・ ヒートポンプ ・ 空冷 ・ 水冷		排水管	硬質塩化ビニル管 (VP)			屋内土間								
	グループホーム ⅡⅢ-B	建築図面による											・ 吸収式			硬質塩化ビニル管 (VP・VU)			土中								
適用基準	- 共住省令40号 適用 -			排水設備工事									ボイラー	・ ヒートポンプ ・ 空冷 ・ ガス		耐火二層管 (TFP)			耐火二層管 (TFP)		耐火二層管 (TFP)						
- 省令による構造類型 ○ 二方向避難・開放型特定住宅			排水方式	屋内										(汚水・雑排水) ○ 合流式 ・ 分流式		燃料	・ 灯油 ・ 重油	排水用硬質塩ビライニング鋼管 (DVEP)		塗一装	屋外露出						
- 住宅性能評価 維持管理 等級 3 等級 2			屋外	(汚水・雨水) ・ 合流式 ○ 分流式						通気管		硬質塩化ビニル管 (VP)			土中												
防火対象物 5項 (口) 寄宿舍			放流管	・ 下水本管 ○ 浄化槽 ○ 側溝 ・ 河川				空調機器		○ エアコン	○ ヒートポンプ ○ 空冷 ・ 水冷		耐火二層管 (TFP)			耐火二層管 (TFP)		耐火二層管 (TFP)									
工事項目				接続管						ユニット	・ 隠蔽 ○ 露出		給湯管		一般配管用ステンレス鋼管 (SUS配管)			屋内									
○ 給排水衛生設備				○ 空気調和設備	追記事項					追記事項					・ フィルターはメーカー標準品付属とする。 ・ エアコンの冷暖配管のうち屋外配管の外袋はSUSラッキングとする。		耐火二層管 (TFP)			耐火二層管 (TFP)							
○ 給水 設備工事				○ 冷暖房 設備工事						換気設備工事					・ 第1種 ・ 第2種 ○ 第3種		換気ダクト		スパイラルダクト (SPD)		給気ダクト 火気使用場所	GW25mm RW50cm					
○ 排水 設備工事				○ 配管 設備工事						換気方式	中央式			局所式		○ レンジフード ○ 天井扇 ・ 中間ファン		温水器ドレン管		配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白)							
○ 衛生器具 設備工事				・ ダクト 設備工事	衛生器具設備工事						追記事項	レンジフード					ドレン管		硬質塩化ビニル管 (VP)		GW保温材						
○ 給湯 設備工事				○ 換気 設備工事	衛生器具					○ TOTO ○ LIXIL							換気ダクト		スパイラルダクト (SPD)		給気ダクト 火気使用場所	GW25mm RW50cm					
・ ガス 設備工事				・ 自動制御 設備工事	追記事項					TOTO・LIXIL同等品										配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白)							
○ 消火 設備工事				・ 排煙 設備工事																							
・ 厨房機器 設備工事																											
○ 浄化槽 設備工事																											
一般共通事項				給湯方式	○ 局所式 ・ 中央式							ダクト設備工事					シンボル表										
1. 設置図書の優先順位	本特記仕様書以外に下記の図書類により工事を施工する。 ただし、関連事項が相互間に相違する場合は、優先順位は下記の通りとするが、施工においては予め相違事項を提出し係員と協議の上決定する。	機器	・ 給湯器 ・ 瞬間湯沸器 ○ 電気温水器							・ 厨房排気ダクトの振厚					給水管					ゲート弁・止水栓							
		追記事項											矩形ダクトの場合 (単位mm)					排水管					チャッキ弁				
		ガス設備工事															汚水管					量水器					
		・ LPG バルク容器 (980kg)															キッチン排水管					ガスメーター					
	2) 現場説明事項	ガスの種類	・ 都市ガス																	通気管					給水栓		
	3) 特記仕様書	追記事項																給湯送り管					給湯栓				
	4) 設計図																浴槽循環追焚管					フラッシュ弁					
	5) 共通仕様書																ガス管					混合水栓					
	○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事共通仕様書 (最新版)																消火栓					排水目皿					
	特記) 設計数量は参考とし、差異については請負前に申し出とし、																連給送水管					床上掃除口					
その後の増減は原則として行わない	種類	・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ○ スプリンクラー																	パイプフード (SUS製)					排水共栓			
2. 使用機材	設備機材等指定表によるほか同等品以上とする。但し、同等品以上とする場合は監督員の承認を受ける。	追記事項	特定施設水道連結器 (ポンプ直送式)															防火ダンパー					排水樹				
																					ドアガラリ					雨水格子樹	
3. 届出・手続等	この工事に関係ある法律・政令・条例等に必要な届出・手続きなど請負者が代行して行い、これに要する費用はすべて請負者の負担とする。	処理方式	・ 単独処理 ○ 合併処理 (○ FRP製 現場打)																	冷媒管					トラップ樹		
																					ドレン管					ガスコック	
4. 関連法規	1) 耐震設備は、「建築設備耐震設計・施工指針」によること。	放流水質	BOP 20PPM							自動制御設備工事																	
	2) 換気ダクトは、不燃材料とする。	追記事項																									
	3) 『防火区分、防火上主要な間仕切り壁を貫通する場合は令第112条第19項、																										
	4) 20項及び令第29条の2の4第1項第7号の処置 (告示第1422号含む) または、大臣認定品を使用する事とする。																										
	5) 各器具は吐水空間を確保していること	項目	建築	空調	衛生	電気	その他	項目	建築	空調	衛生	電気	その他	機器名					メーカー名								
	6) 各器具は器具トラップを有していること	○ 給水負担金					○	○ 構造体へのスリーブ及び箱の製作取付工事		○	○			受水槽	三菱樹脂		横水仕学										
	7) 給水管のウォーターハンマを防止する為の措置を行う事							○ 同上補強工事 (鉄骨等の補強含む)		○				ポンプ類	川本ポンプ		テラル		エバラ								
	8) 排水管の排水勾配は1/100未満は1/50、以上は1/100とする	○ 水道本管接続費			○			○ 天井開口工事		○				阻集器	下田エコテック		ホーコス										
	9) 排水管径は国土交通大臣官房官庁営繕部監修の建築設備工事設計要領図書に依る	・ 電線導供給取付工事 (受水槽)						○ 天井開口に伴う下地補強工事		○				ガス給湯器	ノーリツ		サンナイ		パロマ								
	10) 通気管の末端は開口部より600mm以上超す事	○ 雨水整替工事	○					○ 天井点検口・壁点検口の供給取付工事		○				衛生器具	TOTO		LIXIL										
11) 腐食の恐れがある配管は防食テープを巻く	○ ミニキッチンの供給取付工事					○	○ 機器のコンクリート基礎工事		○				空調機器 (ACP)	ダイキン		三菱電機		日本キヤリア									
12) 凍結の恐れがある配管は断熱材を保温する	・ 各種コンクリート水槽築造工事	○					○ ドアガラリの製作取付工事		○				空調機器 (HWP)	ダイキン		パナフニック		ヤンマー									
13) 給湯設備の機器は安全装置 (逃がし弁) を設置する事	・ 設備機器用の上屋築造工事 (ポンプ・ポンプ等)						・ クラースリーブ (内外キャップ共) 供給取付工事						換気扇	三菱電機		ダイキン		日本キヤリア									
14) 平成24年建設省告示第1447号第5に規定する「給湯設備の地盤に対して安全上支障のない構造」とする事	○ 動力操作盤までの二次配線工事				○		○ 給湯器リモコン取付・リモコン配管・ケーブル入線				○		ファン類	エバラ		サバル											
		○ 動力操作盤からの二次配線工事				○	○ 各種リモコン用先行空配管・BOX					○															



配置図 1/200

600)

配置図 1/200

件名	ケルブホーム リニューアル 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号
図種	給排水設備 迂回配管図 (本工事前)				M-02
SCALE	1/200	年 度	R6		

凡例

記号	名称	管材			施工区分	備考
—— —	給水管	地中	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP		JIS K 6742
		屋内	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP	二重天井、中空壁内、P S 内は保温施工の事	JIS K 6742
—— —	給湯管	土間	配管用ステンレス鋼管	SUS	拡張継手工法	
		屋内	配管用ステンレス鋼管	SUS	拡張継手工法	
—— —	雑排水管	地中	排水用硬質塩化ビニル管	VP		JIS K 6741
		屋内	排水用硬質塩化ビニル管	VP	二重天井、中空壁内、P S 内は防露施工の事	JIS K 6741
—— —	汚水管	地中	排水用硬質塩化ビニル管	VP		JIS K 6741
		屋内	排水用硬質塩化ビニル管	VP	二重天井、中空壁内、P S 内は防露施工の事	JIS K 6741
—— —	雨水管	地中	排水用硬質塩化ビニル管	VP		JIS K 6741
			同上125A以上	VU		JIS K 6741
- - - -	通気管	地中	排水用硬質塩化ビニル管	VP		JIS K 6741
		屋内	排水用硬質塩化ビニル管	VP		JIS K 6741
—— R ——	冷媒管	屋内	冷媒用被覆銅管	注) JIS H3300の1220Tの銅管にJISA 9511によるPE-C-P2の保温筒を被覆したものとする		
—— D ——	ドレン管	地中	硬質塩化ビニル管	VP		JIS K 6741
		屋内	硬質塩化ビニル管	VP	二重天井、中空壁内、P S 内は防露施工の事	JIS K 6741
=====	給排気ダクト	屋内	スパイラルダクト (亜鉛鉄板0.5t)	SPD		接続部はフレキシブルダクト
=====	給排気ダクト	屋内	スパイラルダクト (亜鉛鉄板0.5t)	SPD	給気ダクトは全て防露施工の事	GW:25t
					厨房内高温排気ダクトは断熱施工の事	RW:50t

注) 防火上主要な間仕切り壁(45分)を貫通する配管は大臣認定工法による施工とする
注) 塩ビ管の貫通に於いては告示第1422号に規定された数値未満の材料を使用する事

汚水樹リスト

樹深さは参考とする

[illegible]

注) VP排水管使用の汚水インポート樹内では流出側にVU→VPの変換ソケットを使用の事

雨水樹リスト

樹深さは参考とする

[illegible]

注) 雨水枳は泥溜まり深さ150mmを設ける事

衛生設備 機器リスト

特記事項) 型番は参考とし、同等品以上とする

記 号	機器名称	機 器 仕 様	電 気 容 量	電 圧	台 数	備 考
			(KW)	(φ-V)		
EW-I	エコキュート	形 式 屋外据置型（耐塩仕様）給湯専用型	2.5	1-200	2	1階屋外
	（電気温水器）	能 力 貯湯量：550 L				SRT-H556
		付 属 品 専用室外機、リモコンスイッチ（メイン・サブ）、リモコンコード（20m）				
		平成24年建設省告示第1447号第5に規定する「給湯設備の地震に対して安全上支障のない構造」とする事				

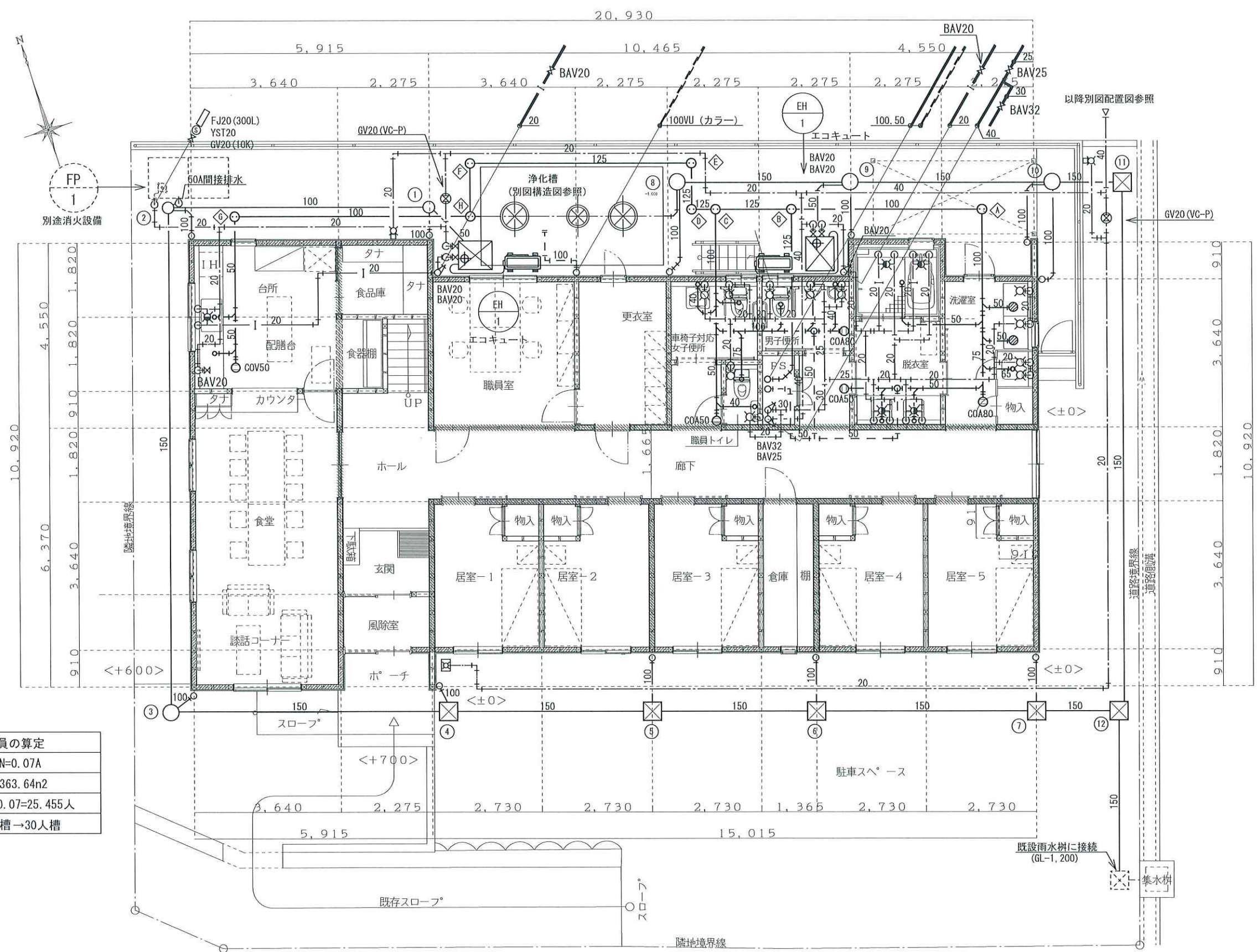
衛生器具表

特記事項) 型番は参考とし、同等品以上とする

器 具 名	摘 要	品 番	室名 合計	屋外	1階				2階		付 属 品
					台所	職員 トイレ	男子 便所	車椅子 対応 女子 便所	脱衣室	洗面 洗濯室	
洋風大便器	C1200S	CS400B	2		1	1					SH400BA TCF6553AK YH702 (AC100V)
小便器	U620	UFS9800JCS	1			1					(AC100V)
汚物流し	ロータンケット	SKL330TNNNR	2						1	1	自動洗浄
カウンター用洗面器		L505	5					2		1 2	TLE27SS2A TLDP2105JA 自動水栓（混合水栓） (AC100V)
同上カウンター	1連 L=1,000 2方エプロン	ML50	1							1	
同上カウンター	2連 L=2,100 1方エプロン	ML50	1					1			
同上カウンター	2連 L=1,670 2方エプロン	ML50	1							1	
手洗器		L30DM	1			1					TLE28SS1A TS126AR TL220D T22BP (AC100V)
埋込手洗器	トラップ 加付	LSE870APFRMS	1		1						自動水栓（単水栓） (AC100V)
洗濯パン	1階用	PWP800N2W	2					2			トラップ：PJ2009WN（樹脂製）
洗濯パン	2階用	PWP800N2W	2							2	トラップ：PJ2004B（鋳物製）
同上水栓		TW11R	4					2		2	
台所混合水栓	壁付	TKS05314J	1	1							
散水栓	キー付	T28KUNH13	1	1							B-3:BOX共
散水栓	キー付	T28AKUH13	2	2							水栓柱：H=1,200共
身障者用大便器	C1200S	CS597BCS	2				1			1	SSH596BAYR TCF5841AUP YH702 EWC385CS (AC100V)
身障者用洗面器	L511	L103A	2				1			1	自動水栓（単水栓） TLDP2206JA TL220D HH04060 (AC100V)
L型手すり	樹脂被膜	T112CL10	3			1	1			1	
跳上手すり	樹脂被膜	T112HK7	3			1	1			1	
洗面器用手すり	樹脂被膜	T112CP23×2	2				1			1	
化粧鏡	耐食鏡	YM3580FC	8			1	1	2		1 1 2	

注記) 1. 大便器,洗面器,掃除流しはトラップ付器具とする

	件名	ケルブホーム リレイ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-ℓ kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号 M-03
	図種	衛生設備 凡例・器具表・機器表				
	SCALE	年 度	R6			

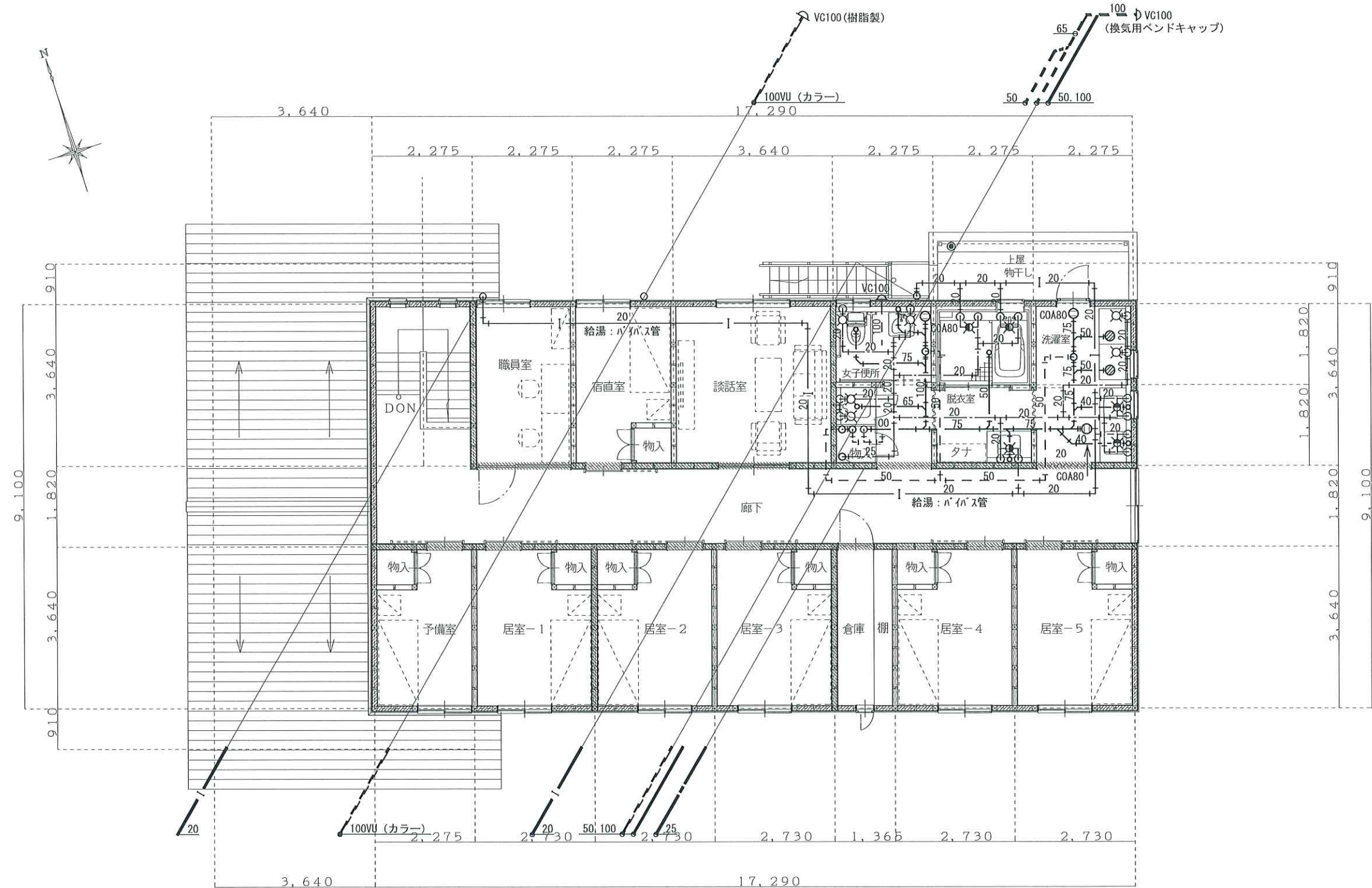


浄化槽人員の算定
寄宿舍：N=0.07A
延床面積：363.64n2
363.64x0.07=25.455人
合併処理浄化槽→30人槽

1階平面図 1/100

注) 防火上主要な間仕切り壁 (45分) を貫通する配管は大臣認定工法による施工とする
注) 塩ビ管の貫通に於いては告示第1422号に規定された数値未満の材料を使用する事

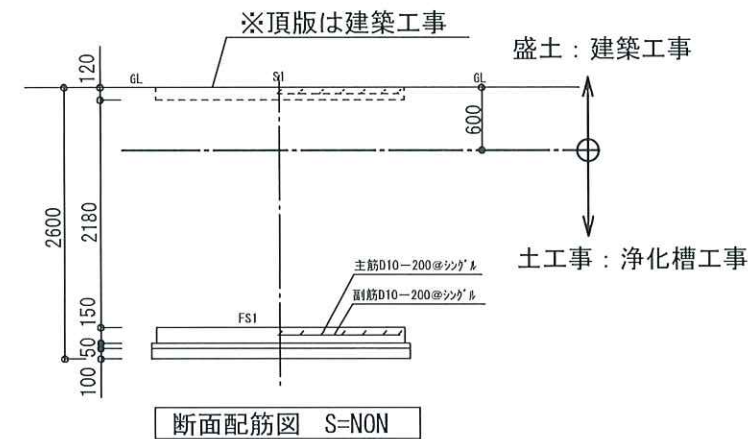
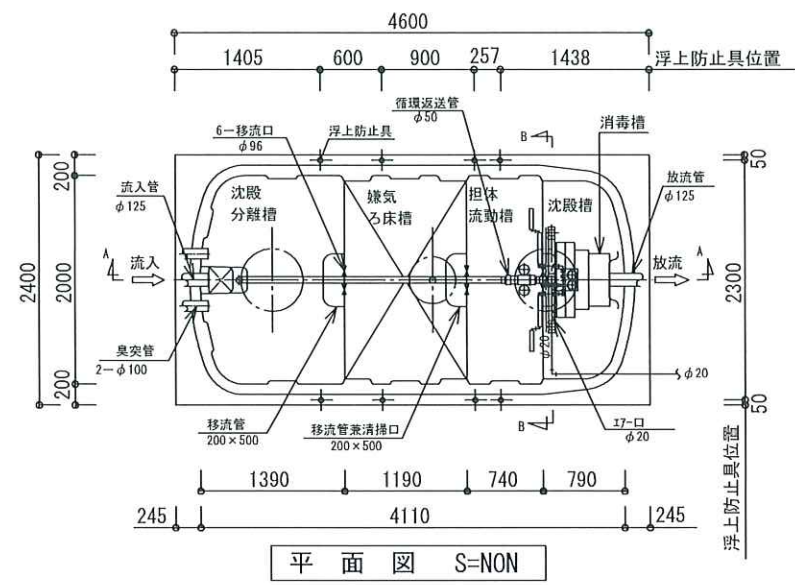
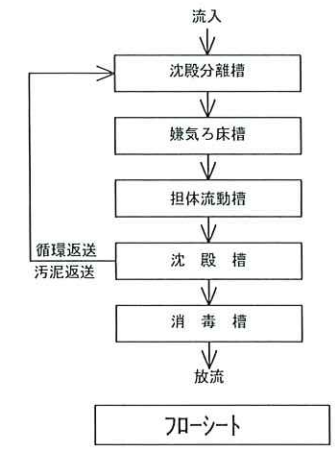
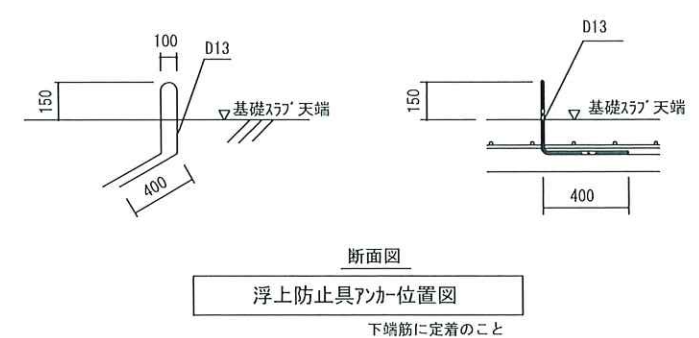
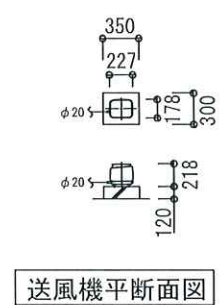
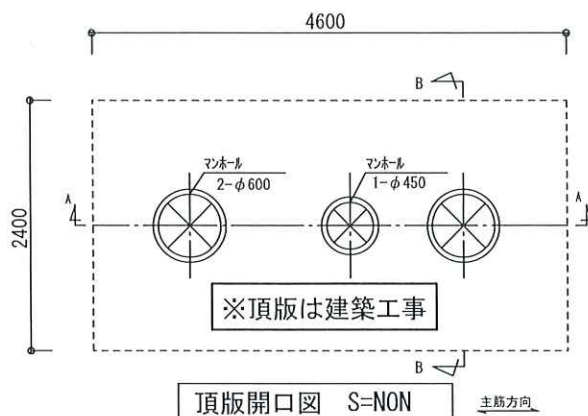
 外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K	件名	グループホーム ソレイユ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号 M-04
 間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K	図種	給排水衛生設備 1階平面図				
 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張	SCALE	年度	R6			



注) 防火上主要な間仕切り壁 (45分) を貫通する配管は大臣認定工法による施工とする
注) 塩ビ管の貫通に於いては告示第1422号に規定された数値未満の材料を使用する事

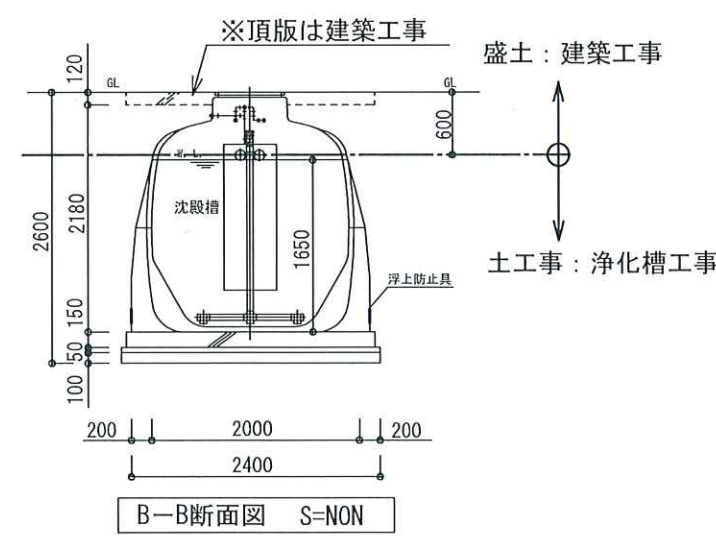
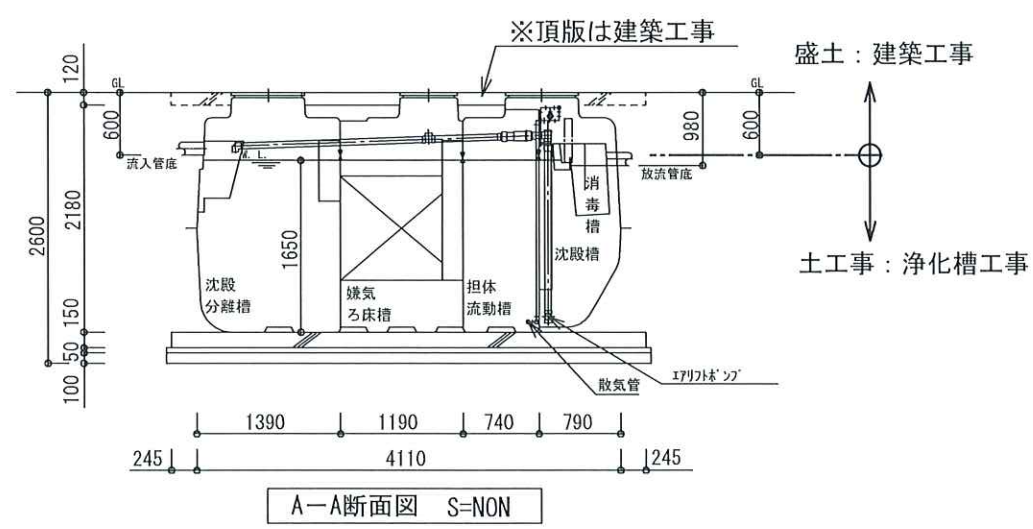
2階平面図 1/100

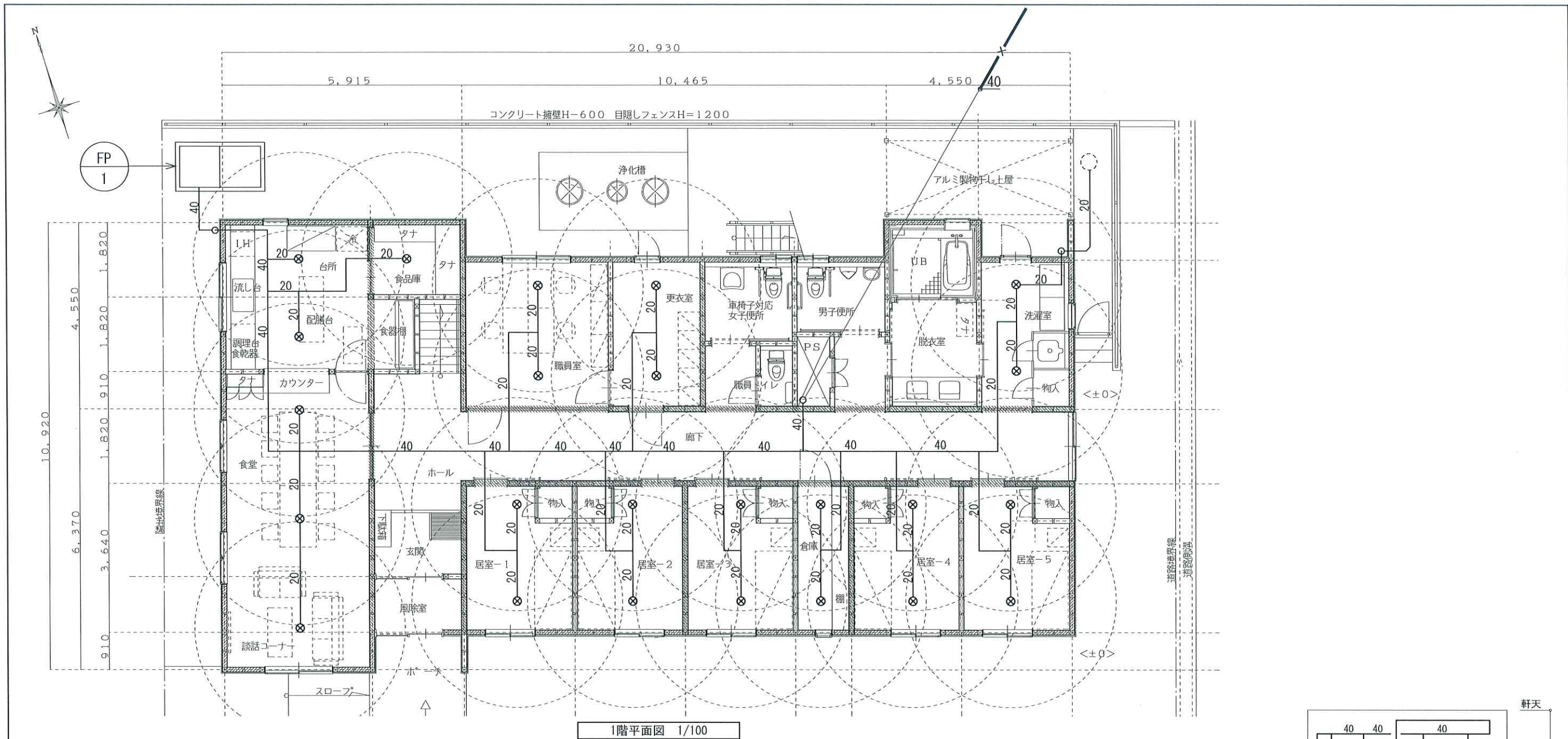
 外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K				件名	グループホーム ヴィーユ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号 M-05
 間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K				図種	給排水衛生設備 2階平面図				
 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張				SCALE		年 度	R6		



仕 様 表	
型式	DCX2-30型 参考：ダケ住浄化槽
認定番号	8-23-H-001-7
処理計画人員	30 人
処理計画汚水量	6.0 m ³ / 日
流入水質	BOD 200mg/L
	COD 100mg/L
	SS 160mg/L
	T-N 45mg/L
放流水質	BOD 20mg/L
	COD 30mg/L
	SS 20mg/L
	T-N 20mg/L
処理方式	分離嫌気ろ床担体流動方式
有効容量 m ³	
沈殿分離槽	4.072
嫌気ろ床槽	3.450
担体流動槽	2.383
沈殿槽	1.649
消毒槽	0.075
電気機器仕様	
送風機	100V-単相-0.20kW/0.215kW 1台

注記
 コンクリート強度：F_c = 21 N/mm²とする。
 スラブ荷重は、T-0とする。(建築工事)
 マンホールは、樹脂製とする。
 開口部補強筋を設けること(建築工事)
 臭突工事(給排水設備工事)
 臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。(給排水設備工事)
 流入・放流配管(給排水設備工事)





凡例

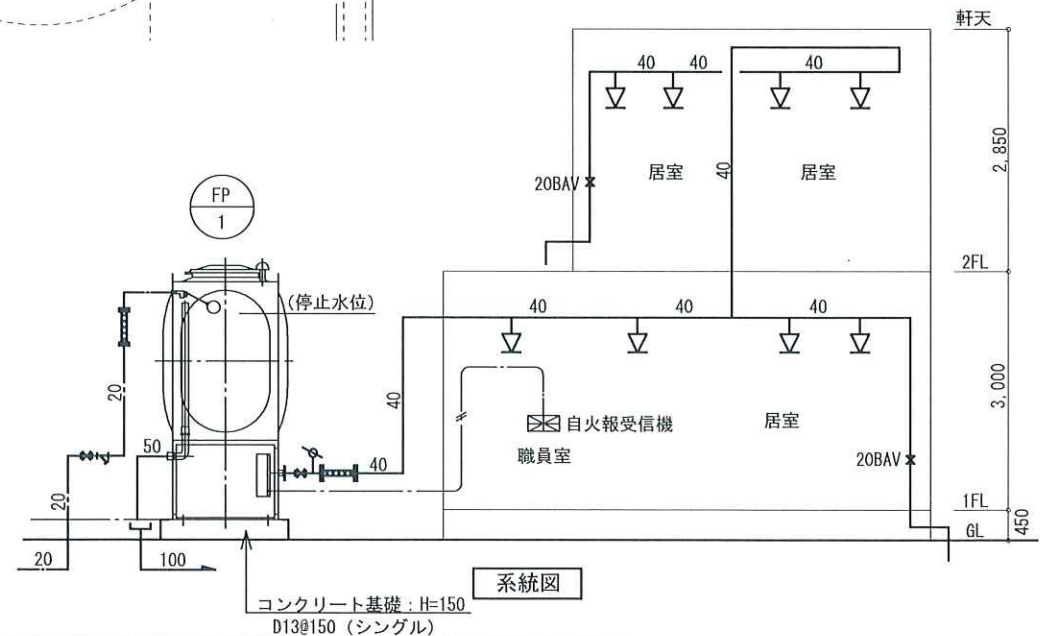
記号	名称	備考
●▽	スプリンクラーヘッド	水道連結型適応品（閉鎖型） 呼び15A 放水量：30L/min
✕	仕切弁	
○	圧力計	
≡	フレキシブル継手	
—	スプリンクラー用配管	配管用炭素鋼鋼管（SGP）
- - -	排水管	水道用硬質塩化ビニル管（VP）
- # -	制御ケーブル	EM-HP0.9-2C

機器表

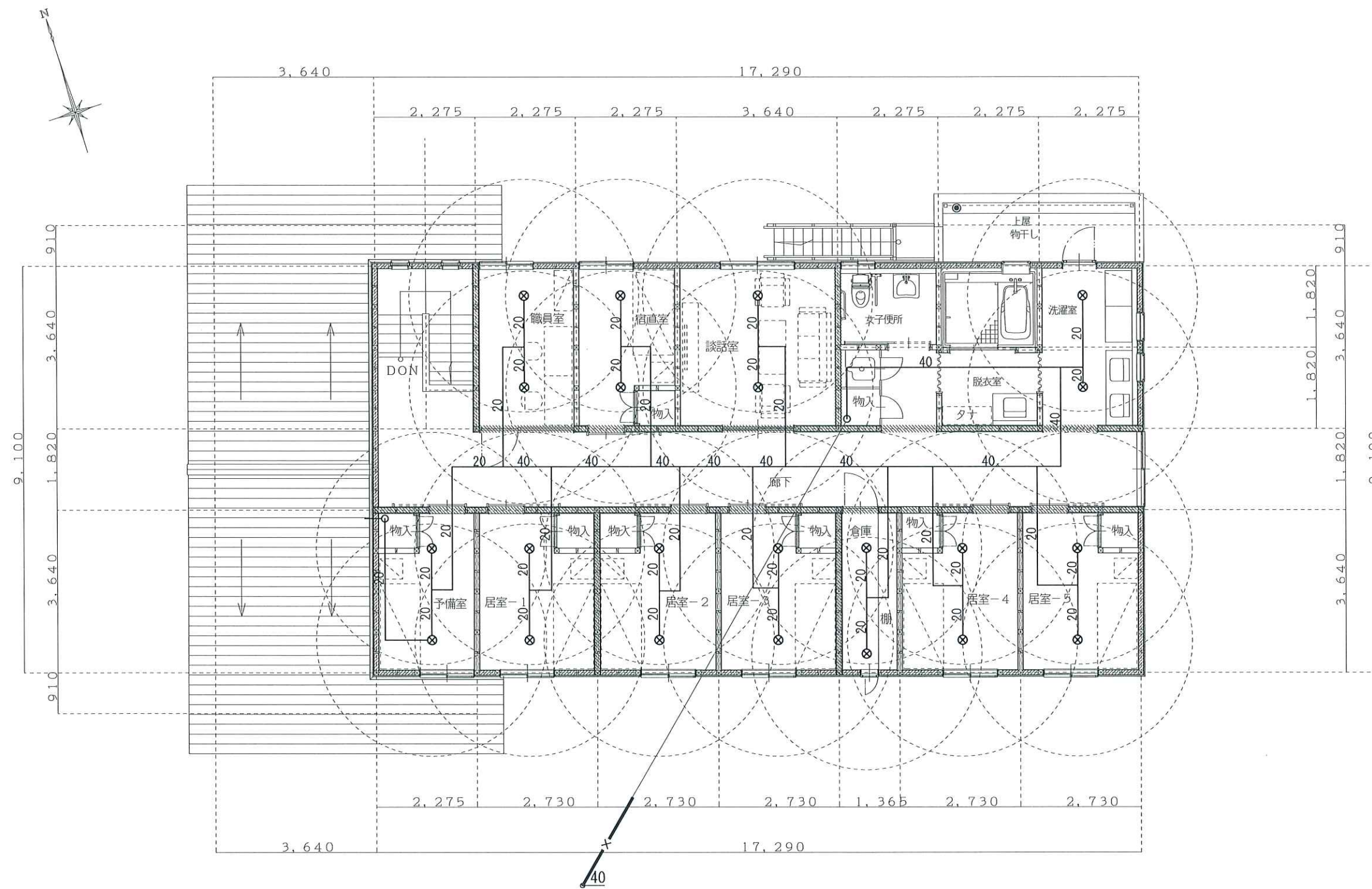
記号	名称	仕様
FP-1	水道連結型 スプリンクラー用ポンプ	補助水槽一体型（圧力起動方式） 参考（川本：KTT3-406B-CE1.5P）
		ポンプ：40Φ×140L/min×35.5m 3Φ-200V:1.5KW
		水槽：呼称3.0m3 有効2.65m3 単板SUS304製 耐震：1G

注記

1）配管は全て配管用炭素鋼鋼管（SGP）とする
2）露出配管は水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管とする
3）防火区画を貫通する配管は国土交通大臣認定工法により適切に処理の事
4）ポンプの運転信号を火災受信機に表示の事
5）末端水圧は0.05MPaとする



外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K	件名	グループホーム ヴレューB 新築工事	木下建築設計事務所	図面番号
間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K	図種	消火設備 1階平面図	小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL.087962-5626	M-07
防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張	SCALE	年度	R6	
			1級建築士登録135647 木下博義	



2階平面図 1/100

 外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K			件名	グループホーム ソレイユ-B 新築工事		木下建築設計事務所 小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義		図面番号 M-08
 間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K			図種	消火設備 2階平面図				
 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張			SCALE		年 度			

換気設備 機器リスト

特記事項) 型番は参考とし、同等品以上とする

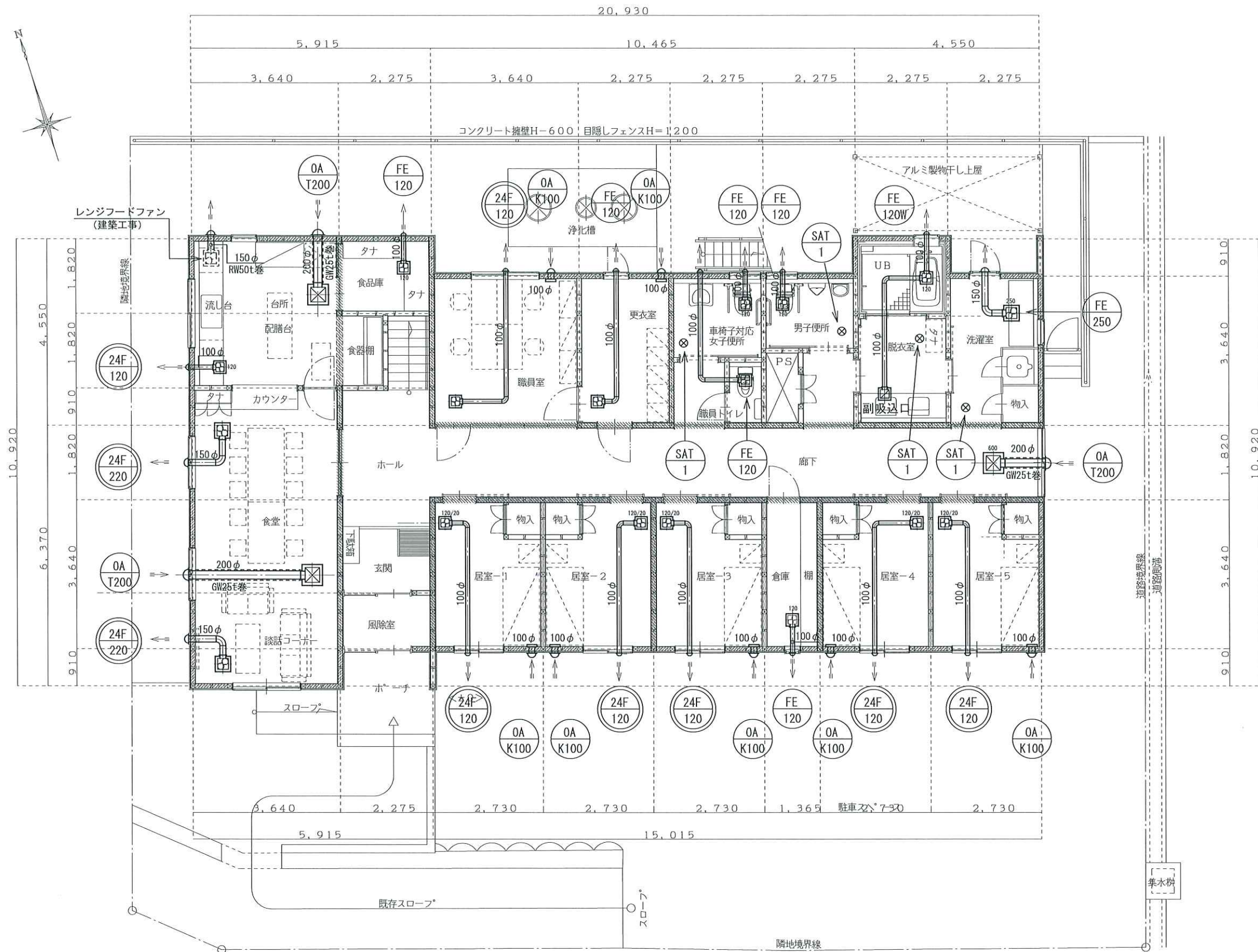
[illegible]

空調設備 機器リスト

特記事項) 型番は参考とし、同等品以上とする

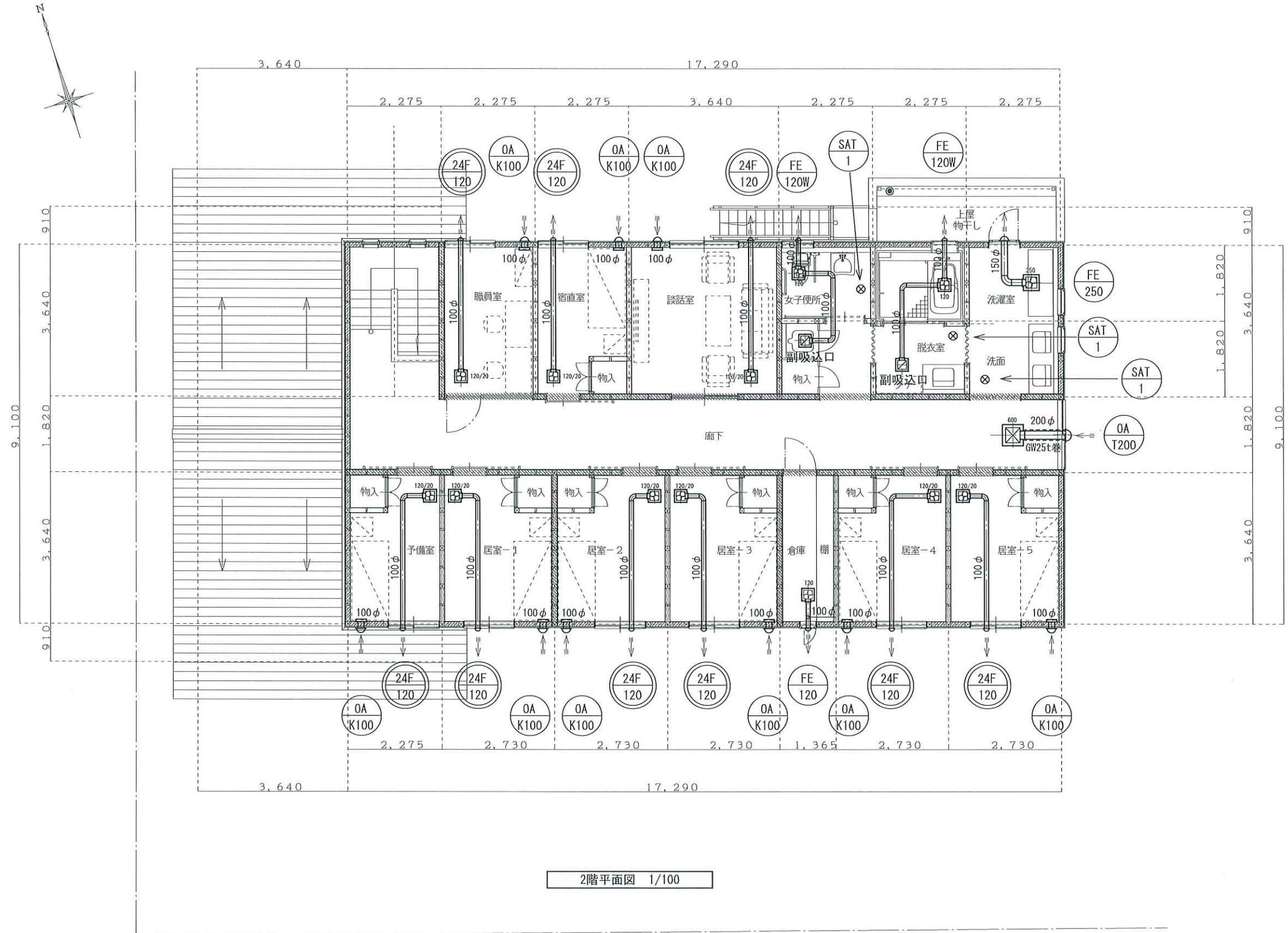
[illegible]

	件名	ケルブホーム リニューアル 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号
	図種	換気・空調設備 機器表				M-09
	SCALE	年 度	R6			



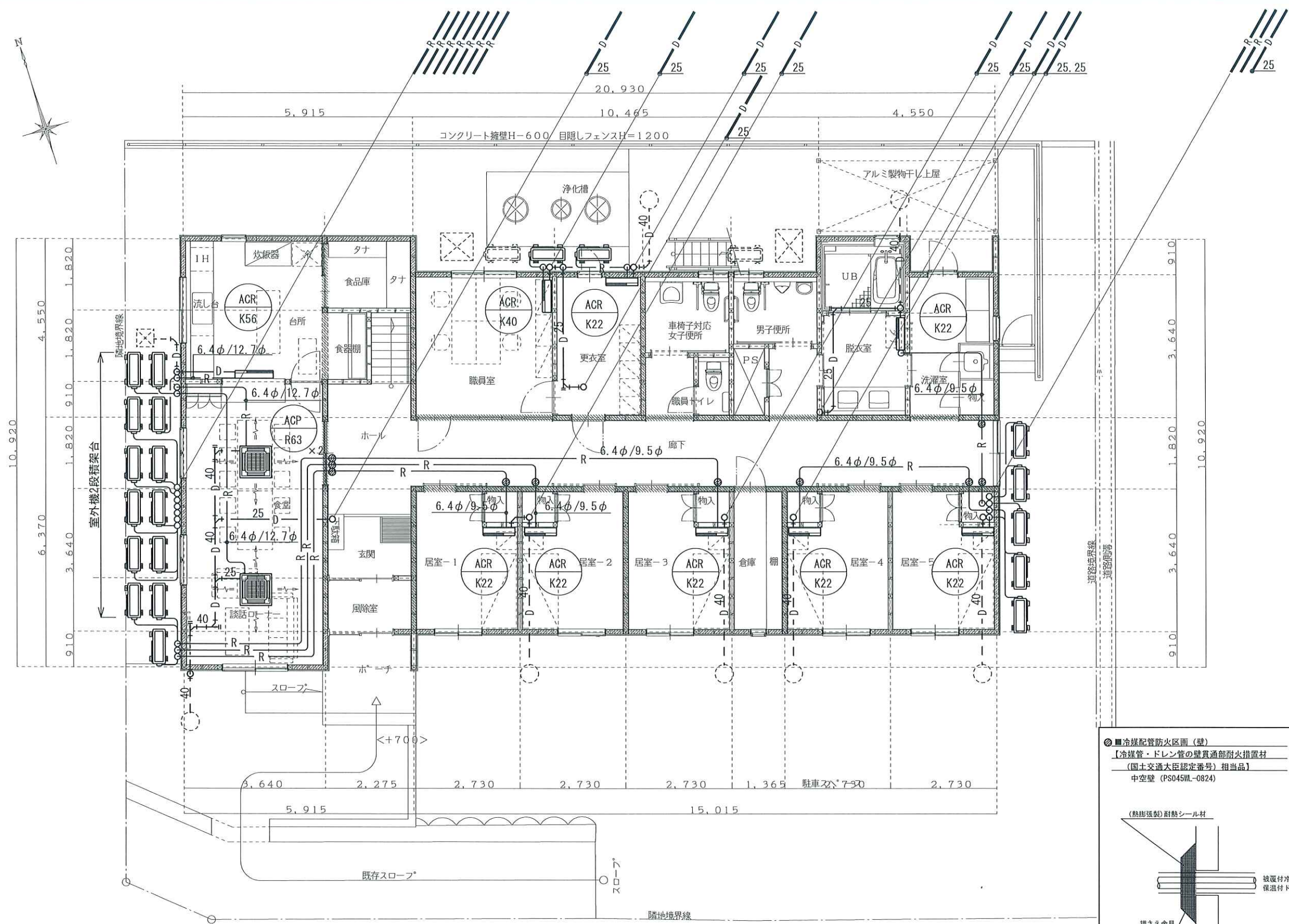
1階平面図 1/100

 外壁廻り断熱:ｸﾞﾗｽｳｰﾙ断熱材(100)16K	件名	ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｵｰﾑ ﾏﾚﾋﾞｭｰB 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 Eﾏｰﾙ kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号 M-10
 間仕切り遮音:ｸﾞﾗｽｳｰﾙ断熱材(50)24K	図種	換気設備 1階平面図				
 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ﾎｰﾄﾞ(12.5+9.5)両面二重張	SCALE	年 度	R6			



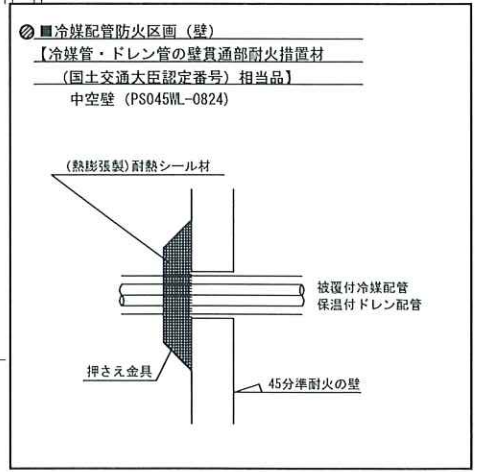
2階平面図 1/100

 外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K			件名	グループホーム ヴィーロ-B 新築工事			木下建築設計事務所 小豆郡土庄町淵崎甲2563-5 TEL087962-5626 E-Mail kinohiro@rose.ocn.ne.jp 1級建築士登録135647 木下博義	図面番号 M-11
 間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K			図種	換気設備 2階平面図				
 防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張			SCALE	年 度	R6			



ACP-R56
機器の吊下げ用アングル、振れ止め支持材を見込む事

1階平面図 1/100

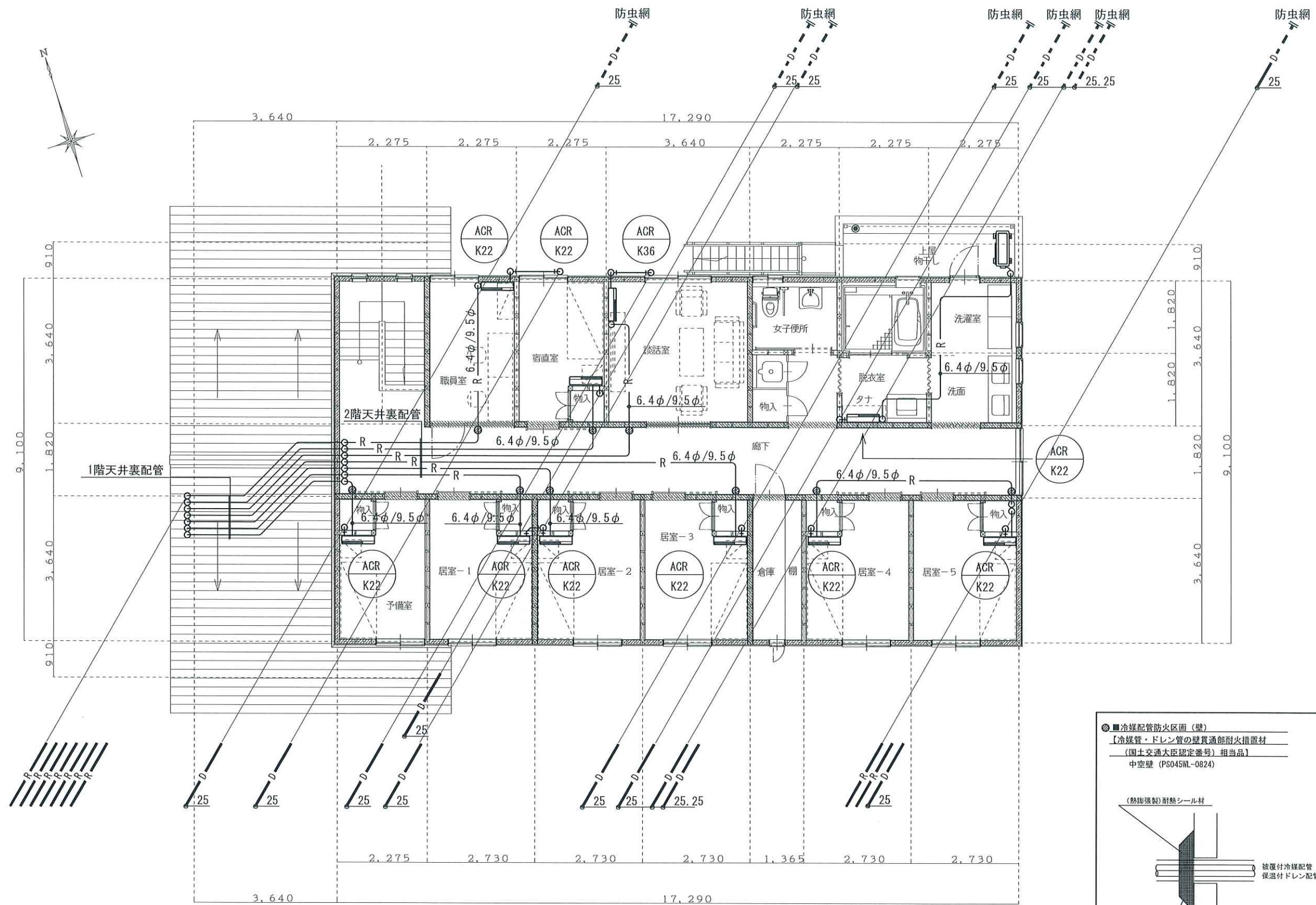


外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K
間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K
防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張

件名:ゲルブホーム 3R12-B 新築工事
図種:空気調和設備 1階平面図
SCALE:年度:R6

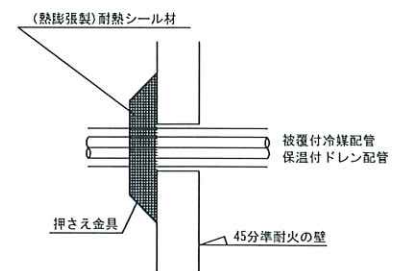
木下建築設計事務所
小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626
E:kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義

図面番号
M-12



2階平面図 1/100

● 冷媒配管防火区画 (壁)
【冷媒管・ドレン管の壁貫通部耐火措置材
(国土交通大臣認定番号) 相当品】
中空壁 (PS045WL-0824)



外壁廻り断熱:グラスウール断熱材(100)16K
間仕切り遮音:グラスウール断熱材(50)24K
防火上主要な間仕切り:木造+石膏ボード(12.5+9.5)両面二重張

件名:ゲル・ホーム ヴィレ-B 新築工事
図種:空気調和設備 2階平面図
SCALE:年度:R6

木下建築設計事務所
小豆郡土庄町瀬崎甲2563-5 TEL087962-5626
Eメール kinohiro@rose.ocn.ne.jp
1級建築士登録135647 木下博義

図面番号
M-13